京城日報 五日夕刊

支那にドウス案適用 それには支那政府が大不滿

【北京四日發電】列國が支那に對しドウス案を適用せんとする説あるに對し政府は非常に之れを重大視して二日外交部より駐支外國公使に對して左の聲明をなした
列國の對支ドウス案適用はこれと重大なる關係を有し支那の國權を損するものであるからたとひ列國が支那に關係ある各問題に關して擅に協定する所あるとも支那はその協定に拘束されることなし云々

法制院官制發會

【北京四日發電】四日臨時執政令を以て臨時法制院官制發表され同時に國務院法制局官制は廢止さる

野に下るか自滅するか 呉佩孚氏の現狀

【北京四日發電】陝西第三十四師團長張玉眠氏は二日午後一時完全に漢口を占領したので呉氏は漢口に逃れたが今や呉氏は四面に身の置き所なく野に下るか自滅の外なし

呉氏芳澤公使に泣付く

【北京四日發電】呉佩孚は芳澤公使に使者を送つて自分の現在の立場を縷々述べ公使に段祺瑞氏を訪ふて陝西の對北戰爭の進行を阻止する樣取計らはれたしと依賴して來た

黄河河橋爆破

【漢口四日發電】かねて計畫を傳へられた河南督軍張福來氏の二十四師は三日夜九時半京漢線黄河の河橋を爆破した

北京外交團會議

【北京四日發電】四日午前十時より外交團會議を開催し支那現在の時局について種々意見の交換を行ひ又近く孫文氏が入京するにつれ時局の展開に對する態度につきて協議する所があつた

請訓を仰ぐ

【北京四日發電】四日外交團會議の結果に基き各國公使はそれぞれ支那政局の實狀を其の本國政府に請訓する所があつた

清室優待條件 變更は不可

【北京四日發電】康有爲氏より三日段祺瑞氏に宛て清室の優待條件變更は國際上として恥辱を感ずるものであるが戰後の措置に就て萬全を期せられたしと電報を寄せた

孫文氏は 天津に着いた

【天津四日發電】孫文氏は四日午前十一時四十五分郵船埠頭に熱狂せる群衆に迎へられ支那側歡迎委員に護衞され多數の群衆に送られ十二時三十分張園に入つた

大歡迎

【天津四日發電】滿洲王譚氏張作霖氏等の來往に非常なる警戒をなし市民の反感を買つたが孫文氏は極めて平民的なるため市民は狂喜し孫文は四五兩日は歡迎ぜめにて七日朝上京するに決した

勞農駐佛大使 巴里到着就任

【巴里四日發電】勞農露國新大使クラッシン氏は巴里に到着就任し同大使は露佛相互の各種の要求其他諸問題も兩國の會議により滿足に協定をなすべしと語つた

大使公使 異動する顏觸

【東京電報】外務省は來春早々大公使の異動を發表する筈であるが駐英大使林權助伯駐伊大使落合謙太郎の兩氏は勇退し駐英大使には石井菊次郎子駐佛安達峰一郎駐白有吉明駐伊小幡酉吉氏と云ふ顏觸れで動くだらうと云はれてゐる

鐵道建設費は財源見込がついた 更に線路の選擇に移る

【東京電報】鐵道省では鐵道建設費に伴ふ本省追加負擔となるべき五百萬圓の捻出に關しては仙石鐵相は國債にも依らず改良費からも振替へず來年度運輸收入の増加と事業事務費の節約低減に努むべきによつて辻褄を合せ得る可能性が十分に見込がつき之に依り問題は財源より更に線路の選擇にうつる筈である

義務敎育費增額は絶望か 三相意見一致

【東京電報】五日の閣議に於ては濱口藏相より義務教育費國庫負擔增額問題に關し與黨幹部と會見したる經過に就き詳細に報告したる後大藏當局としての意向を述べ本問題に對する諒解を求むる筈であるが四日藏相と法相及び加藤首相との會見の結果本問題は既に研究を重ね練りに練つて最後の決定をなしたものであるから今更與黨側の希望があつても到底實現を變更して是が增額をなす事は出來ない尚明年度より增額すると云ふが如き盟約をなす譯にも行かないと云ふ事に決し濱田法相も之れに同意を表した由である

郵便料の値上 具體的でない

【東京電報】郵便料の値上問題は與黨の間にも大分不滿はあるが未だ三派交渉會の議題とする程の程度に達してゐないのである云ふ二日の三派交渉會では幹部中に話題には上つたが概して反對説が多く殊に革新派委員が最もこれを拒ばず其の成行を心配してゐたとの事である

宗秩寮總裁 近く更迭する

【東京電報】宮内省宗秩寮總裁徳川頼倫侯は去る九月八日來代々木の新邸で病氣療養中であるが過に久邇宮家と酒井家との御婚約御破棄の際に辭職すると噂され其後に於つたが實は侯の辭表は去月初旬牧野宮相に提出されてあり後任を得た後でなければ決し兼ねたので今回まで保留されてゐたのであるが侯の病症も餘りよくないので近く聽許さるべく後任としては前總裁井上式部長官が兼任説もあるが宮相は他に適任者を決してゐる模樣である

上院議長 徳川公任命さる

【東京電報】五日朝九時半宮中東溜の間に於て加藤首相侍立の上貴族院議長徳川家達公に對し左の官記を授與された
公爵 徳川家達
任貴族院議長

北薩哈嗹撤兵は解氷後でも遲くない 對露最後案五日訓電

【東京電報】日露交渉は今週中に開會さる筈にて交渉の難關たる北樺太撤兵問題に關し外務當局は陸軍側と秘密裡に慎重研究中にて陸軍は日露交渉成立を希望しつゝ日本軍の駐屯に就ても武裝解除等の事は斷然排斥するところにて陸軍部內撤兵時期に於て意見一致せざりしも四日に至り內閣首腦部に於て意見を表した處陸軍とも撤兵協約成立し其調印成ろは日露協約成立し調印後とゝもに撤兵を實施するも調印後の武裝解除等は陸軍の名譽を保持する爲め斷乎としてこれに反對し撤兵は來春四月の解氷期を待ちて斷行するも敢て晩しとせずと云ふに決定した尚利權問題中の油田につきては對露最後案とし油田撤六百町歩を要求するに決し五日露國に確定の上直に芳澤公使に訓電した

日本の回訓遲延原因 ロスタ通信發表

【北京四日發電】四日の露支會議通信ロスタは日露交渉の現狀につき次の如く發表した
十一月二十日の日露會見で芳澤公使は諸種の問題に觸れた外カラハン全權に新交協案を提出すべき事を告げカラハン氏之に同意し芳澤公使は其旨東京に請訓したが既に二週間も經過しながら未だに何答がない日本代表が提議し露國側で同意した事に對して尚遷延させんとする日本政府の遣り方は不可解であるが日本政府部內にて露國問題につき激しき爭鬪が行はれて居るそうである

朝鮮の諸問題 內閣と拓殖局の記者團を總督府出張所に招致して三矢局長意見交換

【東京支局特電】三矢警務局長は松村秘書官古橋所長等同席にて四日午後一時半より櫻田本郷町の總督府出張所に於て內閣及び拓殖局擔當の記者團を招致して最近の朝鮮事情に關して隔意なき意見の交換を兼ね茶話會を催したが記者團の質問に對して大要左の如く語つた
國境警備問題に就ては機密を要するから言明を避けたいが鴨緑江一帶の國境は實に二百里の廣域に亘るの警戒であるから從つて之に洩れなく配置すると云ふことは極めて至難だ冬は氷を渡り夏は船で渡つて來る朝鮮馬賊が常に出沒しては良民や財物を掠奪するのであるから警備に從ふ巡査の苦勞は實に多としなければならぬ殊に嚴冬夜警を勤むる如き寒風に露夜十六時間も勤務するのである大正十一十二兩年度に於ては漸次危惧の程度增加せるも本年は約七八十件に減つたが今後この方面に對しては益々警備を嚴重にして以て安全を期したいものと思つて居る又內地では朝鮮に於ける獨立運動の熱烈なるとか或は上海に根據を有する金冠等の不逞團を稱して動もすれば朝鮮統治上何か不安を懷く如き純然過激のものあるため內地企業家も之を恐れ朝鮮に投資することを嫌ふの傾向あるは寔に困つたものである少しく大國民的襟度を以て朝鮮事業開發の爲めに躊躇せず大いに內地資本家の活躍を希望して已まない世間では上海假政府など誇大に宣傳するも現在は勢力も衰つて微弱で共鳴のみの實際が大きいであるやうだ尤も之は上海の佛租界に居を構へ假政府など君府を出して勝手に號して居るのだが國際信義上之等は何とかならないものかと思ふ思想問題については色々あるが兎に角朝鮮統治の根本は日本の威力を彼等に自覺せしむることにあるのである威力とは暴力にあらず眞正の威力である卽ち自己を確立すると同時に朝鮮人を確立せしめねばならない然るに往々內地人に亂暴の行爲あることを耳にすることあるは遺憾である之等に對しては容赦なく處罰を加へて居る朝鮮人に對してはたとへ輕蔑すべき內容があつても少しく不快の心を以て遇りたいと思ふ人の親が子に對する如き心掛けを持ちたいものである
次いで參政權の問題或は內鮮人融和の問題或は產業開發の記者團よりの質問も出て恰も國會の委員會の樣であつた長時間に亘る質問に對して三矢警務局長松村秘書官古橋所長等交々懇切なる答辯ありたる後一同和氣靄々裡に同四時散會した

滿鐵明年度事業豫算 ―三千四百四十六萬圓決定―

【東京電報】滿鐵來年度事業豫算は三千四百四十六萬圓と決定したが之に社債償還額が到來するもの卽ち九月の二千萬圓及び十五年二月の二千五百萬圓にて都合七千九百四十六萬圓の財源に就ては第一に社債發行に依り支辨するの計畫であるが營業收益は三千六百萬圓の豫定で第一に營業收益、第二に積立金、第三に社債であるが營業金其他に約三千萬圓を要するから餘り多くを期待し得ず目下現金二千萬圓を有し極度の節約方針を採つて居る關係上前年度の六百萬圓に比し翌年度に持ち越さるゝものは一千萬圓餘の見込であるが不足額は少くも六千萬圓を下らない從つてそれ丈けは第三の社債發行に依るの外なく之れを內地市場に求めるは至難なる狀態であるから米國等外國市場の狀況を考慮し外資に仰ぐ豫定である

大連後任市長 川上氏にきまる

大連市長選擧につき過般市會は七名の市長詮衡委員を擧げ其後數々委員會を開催し結局前露國總領事現無任所公使川上俊彦氏、滿鐵理事値賀連氏、現大連民政署長田中喜介氏を選擇し二日の市會に報告し三名の投票の結果（總數三十九票）
一七票 川上俊彦
一一票 値賀連
一一票 田中喜介
の順位となりたるも何れも過半數に達せざるを以て高點者たる川上俊彦氏及び値賀連氏（田中氏と同點なるも年長者たるの故を以て）の二氏に就て決選投票の結果第一候補者を選定することゝなつたが其結果は左の如く決定した

第一候補二一票 川上俊彦
第二候補二〇票 大內丑之助
第三候補一六票 値賀連

總督府の諒解を得て東拓目覺しく活動か 朝鮮米の大增殖計畫

朝鮮米增殖計畫は擴て官民の經營する處にして從來水利組合及水利事業に對しては總督府も約一千萬圓の補助金を支出して居るが其の內外を合し東拓の資金を援助して如き小規模の資金を投じてゐるが斯の如き姑息の手段にては到底六百萬石增殖を以て外米輸入を防止し日本食糧問題を解決するの域に達することは至難であるを以て之が爲め半官半民の土地開發會社の設立擬出あり近くは朝鮮殖產會社よりも更めて同樣會社の設立を出願せる程であるが總督府は能ふ限り民間事業として經營の必要ありとして朝鮮殖產會社の設立を出願したる有志と民間實業家にて大會社の設立に協議中であるが目下のところ朝鮮殖產會社の設立を許可するは不可能として顧みられざる處なれば遂に總督府も此の目的にて設立せられて居る東拓と見られてゐる
而も東拓會社にては今後朝鮮米增殖計畫に全力を注ぐ事を認め更に久保田新總裁と共に從來の東拓其他の事業は殆ど之を停止し一大活躍を試むるであらう
現に於て低利資金も擴略打切り財政の窮乏を來したる民間會社として之に當り總督府の使命に殉じ鮮米增殖に力を盡すべく東拓は他の事業に努力する事とし朝鮮米增殖計畫に東拓會社一千萬圓を投じ久保田總裁の對する東拓の意見は其の目的に於いて全く一致せる譯で今回の整理總督府の方針とも何ら抵觸する所なし

轉出者

京城局監督課長 新具肇
平壤郵便局長 中央電話局長 岡田恭藏
元山郵便局長 遞信局海事課 園中友太郎
仁川海事出張所長 中央電話局監督課長 河野通俊
釜山局工事課長 遞信局工務課 森英太郎
平壤局工事課長

退官者

遞信技師（工務課） 碓井忠治
同（海務課） 島野末太郎
遞信事務官（管理所長） 片桐要治
同（監理課） 小島常世

退官者への退職金は 公債額算定中

整理に依る退官者が高等官三百五十一、判任官八百五十七人、雇傭人二千人程其等に給與する退職金が幾何の多額に上るかは其の算定に關しては總督府としても公債の發行の手續及び追加豫算に於ては各部局の出ず…司計課はこれが賄を俟つて公債發行の請求を理財課を通じて大藏省理財局に申出るのであるが公債利子の計上と共に何れも一月以降にならねば議會に提出し得ぬ關係であるから退官者に公債の交付を見るは如何に急いでも三月頃になると思はれる

南浦稅關は 支署となる

【鎭南浦支局發電】稅關官制改正に依り鎭南浦は支署となり新義州稅關管內に變更せらるゝに內定十五日公布の旨五日今村稅關長より發表した之れに依つて當然管內に大異動を行ふ見込みで今村氏はその後新義州に移るか他に轉任するか不明である

東拓支店長級 久保田總裁歸京後多少動く

【東京電報】東拓の西岡總務部長は總裁更迭の際辭任を豫期されてゐたが辭任せず總裁に留任を勸誘をなしたるも何分社內に不人氣にて留任はものにならず一日附で退社の辭令が出たので目下東拓には金融部二部長の椅子が缺員になつた總務部長は元來西岡氏のため宮尾總裁が新設したもので今日では不用となつた之を廢止すれば延ひて各支店に亘り職制の變更を必要とするにより現狀に止め金融部長補缺と共に各支店長級に多少の異動を生ずるであらうがとは久保田總裁の歸京後行はれるものと觀測されてゐる

司法官大更迭 兩三日中に發表される

京城覆審法院、同地方法院並びに高等法院の司法官の大異動は先年行はれた全鮮的更迭以上のもので百五十名からの異動が行はれる豫定からみても正に稀有の大更迭と言はれるが正式に辭令の交附を受けるのは此兩三日中の間にあるらしい今其の確定した人々の顔觸を記すると
京城覆審法院では前京城覆審法院長藤檢事長が退職し、法院長の後には高等法院より眞鍋判事、佐藤檢事長の後には大邱より京城檢事長、吉田裁判長は京城地方法院で二部豫審係に深田民事二部長は木浦の上席判事に轉じ吉田氏の後に公州の山口部長、京城（地方）の豫審判事長等が入る事に決した。更に京城地方法院側では齋藤院長高等法院の部長となり代りに同院より松本（正雄）氏來り被原檢事正平壤覆審の檢事長となりその後には洋行中の澤田氏來り民事部の宮本民事部長と入り替り務局の宮本氏は刑事部の裁判長となり永島裁判長は光州地方法院長に擧轉、大宰豫審判事は新義州の檢事部長平山次席檢事は光州の檢事正となりその後には釜山より里見檢事轉じて來り寺田松崎檢事は前者仁川、後者水原に轉じ仁川の千種檢事は馬山に根本一部裁判長は渡邊一部長の後を襲ひ咸興の集院山口等の後任が大邱及び地方から來ることになつた而して高等法院の嵯峨檢事は大邱の部長に、岡村（至德）氏は平壤覆審法院長に決定した、其他京城覆審法院の部長以下各判事書記等の退職者等は全部決定し遲くも十日迄には全部辭令交附の筈である

遞信高官 異動內定

遞信局行政整理により退職轉職に確定してゐるものは左の通りである

整理後の遞信局は 今後職員大いに努力して公衆に御迷惑かけぬ心算 蒲原遞信局長語る

遞信局の整理に就いて蒲原遞信局長は極めて悲痛な態度で語る
局內の整理は現職員一萬二千の中高等官以下八百九十人にして高等官九名雇傭人百一名雇傭人百十八人であるが右八百九十名の中約二百五十名は制度の改正郵便局の郵便所改正により解決さるべき人であるが
實は改正による郵便所は國際郵便事務の爲め實際退職者は五百人を超えない見當を附しる、而して遞信事業は民衆の生活と極めて密接な關係を有してゐるので事業の遂行に支障を來さない樣に留意し遞信本局の人々に於ても出來るだけ必要な職員には極少限度に止め殊に電話に就ては全鮮約千二百三十七人の中二十三人に止めた

郵便局改正

は百二十六の中左記二十七個を現況並に事務の實際を鑑み整理を斷行した此の整理により二十六局中には地況其他の實狀より遞送線の一部を整理すると共に郵遞區數を減ぜねばならぬ破目になつたが然し止むを得ぬ事情で今後は職員一致努力と能力の向上を計り一般のお客樣に御迷惑かけぬ樣に期し合せ度い因に郵便局を

郵便所に改正された者

は左の如くである
▲京畿道管內 永登浦局 利川局 ▲忠清北道 永同局、堤川局 ▲忠清南道 禮山局 ▲全羅南道 長興局、靈光局、海南局 ▲慶尙南道 密陽局、金海局、固城局 ▲黃海道 安岳局 ▲平安南道 九龍局 ▲平安北道 寧邊局、博川局 ▲江原道 原州局、金化局 ▲咸鏡南道 端川局、甲山局、新興局、永興局 ▲咸鏡北道 明川局、富寧局、漁大津局、吉州局、碧津局、淵局

行政整理のため十九隻は廢船となる 從業者失職の恐れはない

行政整理に依り廢止さるべき船舶は光濟丸櫻井丸外十九隻にして其乘組員百五十名であるが之等の人々を失職せしむるは政府の財政行を遂に及ぼすを憚かり遞信當局では極力朝鮮郵船其他と交渉して之等失職者救濟に努力してゐたが光濟丸は朝鮮郵船に貸付け元山浦鹽航路に就航せしむると共に職員も其のまゝ現傭給を以て引繼がる事となり櫻井丸も同社に貸附さるべく協議中であるから同時に職員に引繼がるゝ事となるであらう其他の船舶も一月以降は大正十四年一月末までに朝鮮郵船に於て傭ひ入るゝ事に內定成立し其詳細に就ては遞信局海事課より夫々所屬船舶に通知が發し極力努めてゐるので失職者は無いであらうと因に廢止さるべき定期船は左の通りである
光濟丸（一〇一八噸）
櫻井丸（一八八噸）
梅丸（二二三噸）
松島丸（二二三噸）
長丸（一八〇噸）
竹丸（一六六噸）
榮丸（一六六噸）
第二鵬丸（一五〇噸）
第十鵬丸（一二〇噸）
第一華丸（一一〇噸）
岩南丸（七〇噸）
新安丸（六〇噸）
淸寧丸（五〇噸）

旅大存續懇願 首相宛打電

旅順工科大學存續期成會は五日加藤總理大臣宛各大臣に左記懇願の電報を發したと
旅順工科大學の廢止は對支永遠の國策を誤るもの工大創立の根本義に鑑み閣下の特別なる御同情御考慮に依り切に存續方御盡力を懇願す

人事消息

▲原前土木部長 五日總督府を訪問各課並に新聞記者等に辭任の挨拶をした
▲時實京畿道知事 京畿道振威郡外四郡農業聯合品評會、稷多收穫品評會、叺品評會に臨席すべく六日平澤へ
▲張憲植氏（新任全南知事）來る八日頃出發赴任の筈

茶話

◇今回の行政整理で退官辭職者等で（本府內は無論とし）更に京城の地を離れる高等官が三十名內外ある▲總督は此の三十餘名を四日官邸に招待し一夕の宴を催した▲何れも多年京城にあつて朝鮮統治の爲め盡力した人々であり將來と雖も地方に出た人々も夫々朝鮮統治に貢獻するには變ひはないが▲多年住み慣れた京城の天地を離れると云ふ事に就ては誰しも愛着の念の起らぬものはない▲同じ京城內で引越しをするのでさへ御神輿を据る氣持は又一種特別だ、況や內地に引揚げたり地方に轉出するに於てはおやである▲是等の人々の行く先々に幸多かれと祈つて老總督は自ら別れの杯を擧げたのだ▲席に侍つた人々も感慨無量であつたであらうが又杯を擧げる老總督にも心配される事の多かつた事であらう▲サテ是等の人々の前途にどんな幸が舞込むやら▲豫科大學の生徒が放歌して遊ぶ所の巡査からたしなめられて居る▲苟くも一般學生の模範となるべき筈の豫科大學生が傍若無人は、當局が苦心して新設する大學の前途も悲しいものだ▲漢江の河の勇が學生の本分だと心得たら大間違ひだ。

天氣豫報（六日）

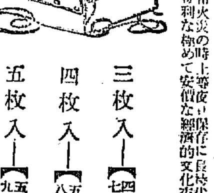
晴 一時曇
五日正午 攝氏 [illegible]
四日最低 攝氏 [illegible]

松美佐雄著 蘆笛の唄 純眞なる少女文學、著者自信の作品十六篇を收む 定價一圓七十錢 郵送料十錢 東京本郷町三丁目 丁未出版社 振替東京七八四七

十二月一日より卅一日まで景品附にて非常なる特價にて提供いたします
京城府本町四丁目（電車終點） よろづや履物店 電話本局二〇九七番

內科、小兒科、婦人科の外に今般「齒科部」を新設し齒科及口腔外科の一般診療に應じます
齒科部開業
大正十三年十二月 京城府本町四丁目二十四番地
內科 小兒科 婦人科 外科 口腔齒科 愛生醫院
女醫 平野須和 齒科醫 菊地壽直男 電話本局三三七七番

文化夜具入
御旅行の時御轉任の節非常火災の時上等夜具保存に是非無くてはならぬ最も便利な極めて安價な經濟的文化夜具入れ



三枚入―【四七、九〇五〇】
四枚入―【五八、五〇〇】
五枚入―【九五、七〇〇】
（外に三木綿革付あり綿革付きの分は各々一圓上り）
京城本町一丁目 鞄製造販賣 高木鞄店 電話本局二一五三四番
（地方の御注文は代金引替にて送ります）

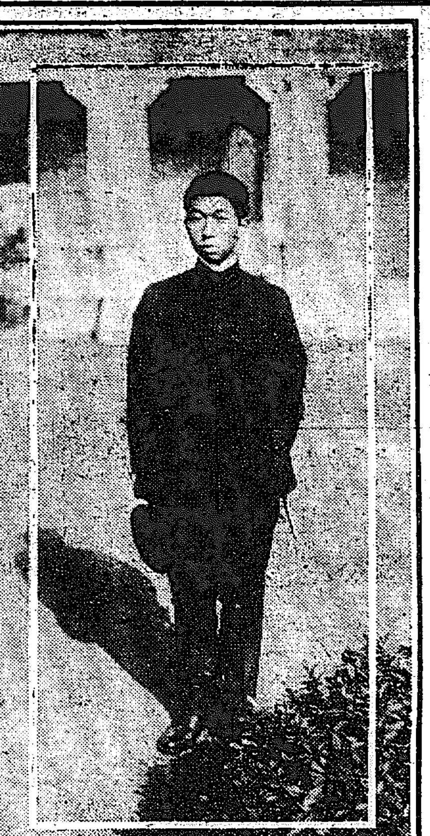
朝鮮料理 食道園大擴張
一千名の御客を容るる
二百坪の大宴會場落成
時下嚴寒の候愈々御清穆の段奉大賀候陳者弊園儀年來特別なる御愛顧を賜り候段難有御厚禮申上候。御陰樣を以て益々繁榮を來し幾度かの增築も遂に狹隘を感ずるに至候間昨年夏秋の交より大擴張大增築に着手いたし候處此の程新築物二百餘坪竣工し其の大廣間は立食宴なれば一千名座食宴なれば五百名以上の賓客を容るるに足るのみならず各般の設備も總て新に完全にし御料理の新鮮なる器具の清麗なる自ら顧みて私に誇とする所に有之候間大宴會小宴會を問はず御批評旁々御利用御來駕あらむことを切望仕候 敬具
京城府南大門通一丁目 朝鮮名物料理元祖 食道園 主人 敬白 電話光局 一四四一 一五一七

クサカベ式無砂精米機
本機獨特の圓筒、出口は精米に粉末類を混らざるを以て酒醸家に愛用せらる

東京市本所區 日下部製作所
本機ノ特長タル圓筒斷面正面圖

有栖川宮家へお引越しの高松宮殿下

有栖川宮殿下の御家督がお絶え遊ばされたので先きに天皇陛下には特に思召を以て第三皇子高松宮殿下を御後繼に定めさせられ昨年の御祭儀にも御喪主を勤めさせられた聖であるがいよ〳〵去る二日午前十時お兄宮秩父宮殿下と共に永らく御起居遊ばされた青山の御殿から麹町三年町なる有栖川宮家へ御引越しになつた（寫眞は有栖川宮の新御殿と御引移りになつた高松宮殿下）



皇后陛下 女學校に行啓
親しく授業を豪覽

皇后陛下には五日午前九時三十分御所御出門自動車にて九時三十分私立京都女學校御著堀田校長の御先導にて御休憩所に成らせられ女生徒と共に伊勢大廟御遙拜の後授業室に成らせられ音樂御聽取の上裁縫にて家事實習の模擬を御台覧夫れより運動場にて生徒の一齊體操御覧の上御休憩の後十一時同校發市立京都高等女學校に成らせられ十一時二十分同校御講堂にて同校附屬幼稚園兒童の遊戲を御臺覧の後校舍の御巡覽あり運動場にて合同體操御覽の上三時二十分同校發三時四十分京都御所に還啓あらせられた（京都電報）

我が公使館に朗らかな 夢を結ぶ宣統皇后
はたの見る眼も羨ましい

【北京四日發電】宣統皇后は二日夜第二夫人及侍女等と到著以來公使館の手厚きもてなしに皇帝と第二夫人と一緒に睦まじく日を送つて居られる皇后は起居振舞しとやかに落つきあり又快活で衣服は粗末なものを着け平民的であるから甚だ評判がよい三日夜公使館内に婦人會あり日本婦人五十餘名集まり席上には皇帝も列せられ愛嬌よく種々世間話をされた。其時婦人達から記念撮影を乞ふと『今はこんな粗末なものを着て居り殊に髮は自分で結びだらしない風をしてゐるから他日正裝の上一緒に願ひ度い』とうまく斷り『公使館の御かげで二日夜は心地よく朗らかな夢を見てやすまれた』と言葉もはき〳〵して心地よげであるが偶には『公使館には召使が二三百人も居るだらう』などと奇問を發して公使夫人を困らせてゐる、皇后は麗しい美人で皇帝の思遣りも厚く側の見る眼も羨ましいばかりに睦まじい

協成學校 又も盟休
今度は學校側の態度が强硬

協成學校の盟休騷ぎは問題の二教師の辭職申出によつて一先づ解決を見たが三日午後學校側が今回の主謀者と目ずべき七名を退學處分にする旨發表したので大部分の學生連は再び盟休を宣して騷ぎ立て五日は出席者百三十八名に及んでゐる。學校側の態度は頗る强硬で若し盟休生にして十二日までに登校せざるときは斷然退學處分に附すべしと宣言し目下盟休生は寄々協議を凝し學校側に對抗中である

賭博罪で 東京市會議員

職事件は市會議員大崎清作氏ほか二名を俎上にあげて檢事局は鳴りを靜めてゐたが市會議員たる左の六氏をやつと賭博罪で起訴された（東京電報）

大崎清作、國枝捨次郎、大野敬[illegible]、村山賢作、竹下[illegible]

零下十度の寒さに 雨が降る珍しい現象

氷點下になれば雨は氷結するものと極まつてた所伊吹山觀測所では零下十度以下に降つても雨が降ると云ふ奇現象を發見したので篩井技師は更に研究の結果五年間九回に亘り此稀な現象を示した事が分つたが日本では初めての氣象で原因は尚不明とされて居る（八日市電報）

爆彈を以て鐵道沿線を 破壞する分黑黨の一味
京都に潜伏せるを發見され 警察に留置中脫走す

京都府特別高等課にては目下秘密裡に大活動を開始してゐるが仄聞するに事件の内容は過日七條署にては京都驛附近にて○○○○を一味の一名を檢擧したが右は京都市鹽小路高倉東入る餅商大野屋方二階に潜伏中の鮮人金谷直二郎（二一）で去月廿四日夜七條署に留置中逃走大騷ぎとなり引續き大野屋方の家宅捜索をなした結果有力なる證據物件を押收し大活動となつたもので共犯は大阪方面に逃れた形跡あり彼は曾に大阪裁判所の判決に附せられた大阪黑鐵分黑黨の一部ギロチン黨と稱する爆彈を以て鐵道沿線の破壞を企てゐたる一味の者らしく事件は未遂であつたが重大なるため斯くは大活動となつたものである。彼は大阪へ逃亡後西陣西島町渡邊方同居久保某なる友人を訪ひたる形跡丈けは判明したが其後行方不明で京都七條署よりは府刑事及高等課員十二、三名出張捜索中であるが何等手掛りなく或は東京大阪の一味と何等か聯絡はありはしないかと目下嚴探中である（京都電報）

學生の氣勢を殺ぐ 露骨な高壓の手
文部當局が高等學校の社會科研究會に解散を命ず

最近に學生運動禁止令を發布して學生の反感を買ひ次いで東京帝大の學生激烈なる實施せんとして學生側の猛烈な反抗を受けてゐる文部當局は此の冬期休暇を利用して大運動を起すらしい共學生側の反對氣勢を殺ぐ爲め主力となつて活動する高等學生の聯盟に露骨な壓迫の手を見せる事になつた、其第一歩は既に十一月末の全國高等學校長會議で各校々内の社會科學研究會を少しでも當局の目に左傾的と見える團體の徹底的一掃を議決したが去る三日熊本五高長瀨山院長は突如文部大臣の名に依り同校社會科學研究會に解散を命じたので之を全國に報告し各校の蹶起を促した、岡山六高でも數日前生徒側より社會科學研究會解散の内命を受けたから遠からず全國に亘つて同樣の事を見るべしと觀測さる、右に對し同聯合會は學生の自由な心理追究に對する當局の態度に憤慨し近く當局の此の態度は反つて一層赤化を誘致するに至る其否を糺彈すべく協議中である、其當局反動の氣勢を助長し何等かの新方策を採るに至る模樣である（東京電報）

燐寸會社火事
損害一萬餘圓

四日午後三時四十分新義州府鴨川町燐寸會社乾燥室より發火し同一棟を燒失して四時半鎭火した原因は鑑燥の火の不注意にて損害は目下取調べ中なるも二三千圓位の材料と工賃七八千圓の損ならんと（新義州）

町中總出で 泥棒を追廻す
龍山公設市場の騷ぎ

五日午前一時頃龍山練兵町公設市場乾物屋に泥棒が侵入せんとして居る所を發見し取押へんとした所怪しい奴は其儘逃走したので附近の者が物音を聞きつけ二日前の火事騷ぎに神經が極度に鋭敏になつてゐる矢先きスワ火事と許りに飛び出し次ぎから次へ波紋を描いて附近一帶大騷ぎとなり犯人は數十名の者に包圍され便所内で漸く逮捕されたが原籍江原道延白郡生れ黃泰榮（二〇）と云ふ奴で確かに餘罪ある見込である

警察を住家に 泥棒を働く奴

釜山府牧の島宗子君（二）は釜山水上署を已が住家と心得てゐる程留置で有名な男であるが去る三日午後五時頃府内南濱町前子市場下に繫留してあつたのを乘り盜り行方を晦まして居たが四日水上署に發げられた（釜山）

大學豫科學生 交番所に押掛く
前夜の巡査を出せと敦圍き その一團本社へも來訪

城大豫科の學生が三日夜本町二丁目の派出所前に於て問題を起したとは昨報の通りであるが右の學生一同に對しては學校でも直に注意を與へ、生徒側からは學校に對して謝罪の意を表し學校側からは又警察に對して諒解を求むるところがあつて問題は解決したのであつた。然るに一部の學生は警察の處置及び新聞の報道が不當であると認めたものか四日夜某所に於て酒を呷りその勢ひを藉り二十八人一團となつて本町を放歌して練り歩き、本町二丁目の交番所に押掛け前夜の當番巡査を出せと敦圍いたが生憎居合せなかつたので他の巡査に喰つてかゝり高等府の學生を侮辱したとか、巡査の態度が亂暴であつたとか散々罵倒を浴せたが之に對して當番巡査も極力諒解に努め嚴しく說諭を加へ押し返したので引揚げた、而して右の一團は十時頃本社に押掛け本社記者と會見し記事に關して强硬な抗議を持込んで來たが本社記者は該記事の不當にあらざることを說明し結局穩便に諒解を求めて引揚げた。右の一團が本町を放歌して通つた時、本町の人々は『それ豫科生が復讐に來た』と本町筋の人々は可なり騷ぎ立つたほどであつた

嚴重に調べた上 相當な處置を執る
默過する譯に行かぬ 小田大學豫科部長語る

右に就て小田豫科部長は語る『一昨晩の事件は新聞に依つて知つたので、學校としては昨日直に關係學生一同に對して注意を與へた處生徒側では代表者を選んで謝罪して來たので、學校としてはそれ以上咎め立てするほどの問題でもなかつたやうであるから許して置いたのです。その晩はクラス會を開いた跡で一部の學生が何の思慮もなくデカンショを歌つたのが、あゝした問題になつたので、事は頗る單純なものである。而し學生が本町通りのやうな場所で警察官と問題を起すやうなことは何れにせよ良くない事であるから、學校では四ケ條に亘つて充分の注意を與へ、警察又は新聞社等に對して決して輕率な行動に出でないやうに注意を與へて置きました。にも拘らず、――多分前晩の生徒とは別の一團と思ふが――酒を飲んで再び放歌して本町筋を騷がせ新聞社や派出所に押しかけ獨斷的の行爲に出でたことは學校として默過するわけには行かない何れ又前晩の學生も共に迷惑であらうと思ふ。學生の處罰は必要であるが時と場所とを考へ又學校の名譽も顧慮に容れた上でなければ猥りな行爲を執ることはよろしくないから更に學校としては右の學生に對して取調べを行ひ然るべき處置を執る考へです何れにせよ甚だ遺憾に堪へないことです』云々

集金人の横領
詐欺も働く

府内玉仁洞七五張裕談（二二）は府内西大門町二の一國際通信社京城支社の集金員として雇はれ中、集金百廿五圓を横領したゝめ支社主任から告訴され起訴猶豫處分に附せられた男であるが、その後横領とは何等の關係なきに拘らずその關係者を知つてゐるを奇貨として、府内太平町の多田工務所ほか十一名から詐欺及び費消したる代金二圓五十錢を詐取費消し鍾路署で取調べの上四日送局された

警察官慰勞會

京城警察部管内警察官の勞苦を慰ふため十三日十四日の兩夜七時より府内各署勤務の警官約一千名を本町通りの實業館に招待し慰勞會を開催し丹羽會長の挨拶があつて音樂、浪花節、劍舞等の餘興を催すと

商品切手賣買 交換

三越、ちふや、明治屋、大和屋其他

御菓子類店商品券 本町二丁目 まんちう店 電本三〇七七

賊電線を切斷

北部山手町馬山線に四日夜匪賊六名侵入し來り電線を切斷したるのみにて警察署員に發見され對岸に逃走した電線は直に修覆した

警察署長の異動
新舊兩警察部長協議の上決定し 四日夜內命を發す

行政整理に伴ふ京畿道警察部の異動は此の十日前後を以て發表される事になつて居たが時恰も年度末警戒に差掛り最も警察力の緊張を要する時期であり署長を空席で置くのは絕對に不可である處から警察部長更迭の時期ではあるが舊部長たる馬野精一氏は新任の大野部長に引繼ぎの關係もあり兩部長協議の結果警察部長級の異動を決定し四日夜其內命を發した

開城 宮原鶴次 加平
楊平 山根熊藏 廣州
一山 小泉太郎
講習所 木村又八 抱川

而して此他に龍仁署長の警部大和田氏の後には鍾路署の藤木鐵藏氏を以て充て高陽署は抱川署の大和田氏の後には東大門署次席警部山口義氏に決定した

本町署司法主任加藤警部は昇進して他道に榮轉する後には長湍署長手賀菅五郎氏が來り手賀警部署長の後は江華署長吉田太吉氏、其の後任は仁川署次席警部阿部正氏、其の後任は龍山署次席警部佐藤兵二郎氏が決定した。又昌德宮警察長に榮轉すべき開城署長松尾三太郎氏の後には水原の原八郎氏、其後警務局保安課屬中原史郎氏が決定し尚刑事課には講習所助教授野村武雄が歸つて來る事に決定したと

夫れに依ると退官警部級は整理人員十名に對して七名退官し此內譯は四警部警察署長に及んだ即ち

新任地 舊任地
驪州署長 廣州 安藤洵郎

爆擊第八號機 鮮かに飛ぶ
密雲の爲め出發を延期し 京城の上空で豫備飛行

五日朝所澤に向け歸還飛行の豫定であつた第八號爆擊機は午前六時各地氣象報に依れば釜山以東朝鮮海峽九州北部一帶に雲深く雨あり飛行不能の狀態であるが午前七時頃密雲は鹿島附近に達したとの報告に接し午前七時三十分毛內飛行隊長は本日の歸還飛行中止の決心をした大好天氣島では麥田大尉河井田中尉以下搭乘者は早朝より天候回復を待つたが依然不良で中止と決定するや午前九時より河井田中尉操縱し六名の搭乘者を乘せ約一時間に亘つて京城上空を盛かに豫備飛行を行ひ午後も同機は飛行する筈で六日天候回復すれば飛行する豫定である

六號機 所澤到著

京城より所澤に歸還の途次發動機に故障を生じ大阪練兵場に著陸した六號機は五日午前十時四十分出發同午後一時卅五分無事著陸した（所澤電報）

仕立屋に泥棒

釜山府寶水町二ノ八七洋服仕立業小西利八方に去る三日午前零時頃賊忍び込みラクダトンビ一點外四點（價格二百五十餘圓）を竊取した旨屆け出により釜山署で犯人搜索の結果本籍馬山府東洞生れ無職朴德守（二七）を逮捕取調べの末犯行を自白した

攝政殿下の 尊影を入れて 禁酒禁煙のポスター
婦人矯風會の宣傳

婦人矯風會の日本少年禁酒會では我國未成年者の飲酒喫煙禁止法の徹底運動を行ふべく今月から來る二月にかけて一般禁酒家から禁酒禁煙の教育費として一口五十錢づゝの寄附を得た上全國二萬五千の小學校に對して攝政宮殿下が禁酒禁煙の實行家であらせらるゝので殿下の御尊影を四倍大にその御尊影を掲げて配布すること…三十三年三月六日發布の未成年者喫煙禁止法と大正十一年三月二十九日發布未成年者飲酒禁止法に關する法令をポスターにし又別に禁酒禁煙の害と煙草の話をパンフレットにしたものを五年級以上に配布し宣傳する事になつた。宮殿下の御尊影をポスターに掲げるのは今回が最初であるについては日本婦人矯風會史が數日前宮內省に伺ひ殿下の御尊影を賜はり…

姦夫と駆落

黃海道瓮津郡北面興得里方仲根（二三）は去月三日實家に歸省中の妻方氏に通じ居た姦夫の趙某（二〇）と長女の英愛を連れて駆落した何れにか逃亡したが京城に入り込んだ形跡があるとて府內各署に捜索方を依頼して來た

龍江面の 八人强盜
被疑者四名逮捕

高陽郡龍江面新正里に强盜を働いて逃走した八人組の强盜は龍山署で署長佐藤警部以下血眼になつて搜査中の處旣報の如く四日朝犯人一名逮捕され更に同夜嫌疑者四名を逮捕し龍山署取調中であるが當局では一切口を緘して何事も語らない

し之を與へよと迫つて來れと言つて聞かないので『今は何の家にも金がない』と云ふを途へ隔てて立去つたが其の足で藤本方に向つたらしい件の男の外二名はどか〳〵と同家に闖入し各自新調の刺身庖丁を突き付け四圓の金を要求するのを見て同家の妻女が拒むとそれを脅迫の上現金四十圓を取り出し與へると彼等は尙も手を緩め品物を出せと迫るので有合せた金時計外數品二百數十圓の品を與へると彼等は悠々と立去つて行つた、その後直に此旨を屆け出でたので本町署では渡邊司法主任以下刑事出動となり活動を開始し五日も引續き犯人の搜査中である

新調の 刺身庖丁 を携へて闖入

犯行に先立ち藤本方前の松永方に至りそれとなく樣子を覗ひ大丈夫と見て直に押入つたものらしい而して犯行の當時の模樣に依り察するに犯人は被害者方附近の事情に通ずるもので所持してゐた兇器は何れも買ひたてのもので庖丁の柄には正札が貼つてあつた、藤本方を訪れると主人は本町署に行つた留守で妻女が出て來た『いや別に縛られたのではありませんでしたが縛り上げやうとするのに反抗して居る夫の身に若し怪我でもあつてはいけないと私が制止して賊に金品を與へましたので何事も無くて濟んだのですがその時はどうなることかと恐くてなりませんでした』

怪しい除虫札

住所不定金澤水（二三）と稱する男は去月中旬府內新漢町古市他方面を徘徊し除蟲札を示しこれを門戶に貼り付ければ害蟲は一日以內に除去されるなどと出鱈目を並べて一枚五錢づゝを捲上て姿を晦ました惡漢が今回本町署內に入り込んだらしいとて警察部に移牒してきた

北米倉町に 三人組强盜
宵の口に質屋に闖入

昨今强盜被害事件頻發し府內各署共に警戒に力めつゝある折柄四日宵の口に又もや北米倉町に三人組の强盜が現れた。同夜九時半頃同町一五〇の質屋陳本常雄方に向ひ一人の男が…時計を示し…

忘年兒童大會

府內旭町三丁目西本願寺內の日宗兒童教會では六日夜六時より忘年兒童大會を開催お話、童話劇ほまれの孝子宗教史劇『聖覺上人』等ある由

鍼灸按研究會

京城鍼灸按組合では六日午後一時より府內本町五丁目武德館內に於て解剖生理其他衛生に關する研究會を開催する由

コヤマの賣出し

龍山元町二丁目コヤマ吳服店にては去る十一日より賣出しを開始し正月用衣裳羽二重紋付物地小紋縮緬金紗等の新柄を直接京都より仕入れ大々的安値にて販賣し居れるが店頭は客を以て埋まると盛況を呈して居る

賞抽戲

東大門外の府營家畜市場が設けられたので府當局は其の宣傳策として抽籤を行ふ由であるが使用者の籤に少き場合等を考慮して目下抽籤方法に就き攻究中である

沙洞の妙心寺に忍込み障子二枚を竊取し黃金町四丁目地先を通行してゐたを寺の修繕請負人に發見され鍾路署に突出された

中これが妨害を予るので制止したるに肯せないので鍾路署に引致された

歐州復興公債

十三號の公債は[illegible]目下各國代表間に協議中である

六萬[illegible]千百二十圓外國爲替三千九百四十五圓郵便貯金三萬四千二百十一圓振替貯金十五萬一千六百七十八圓週但歲入金十六萬八千五百[illegible]

きは四十七萬六千百二十七圓を減し又拂渡にありては內國爲替四十七萬七百九十圓外國爲替八千六百[illegible]

同期の三百四十五萬八千九百四十二圓に對比するときは百三十八萬九百十六圓を增した以上の外郵便爲替資金等の出納額を加算せば本年一月分は[illegible]

大陸高氣壓は支那北部から中國北[illegible]

氣象（五日）

[illegible]

燃料界の最高權威

御家庭及工業家の御要求にピッタリ適合し今や白熱的歡迎せられつゝある最も理想的鳳山塊炭を御勸め致します

無煙無臭 火力强烈 火持の良い 價格の廉い

鳳山塊炭

奉仕値段
一噸 金十六圓五十錢
半噸 金八圓五十錢
一叺 金壹圓三十錢

特徵
無煙無臭＝氣持良く一ヶ年煙突掃除の手數を省き
火力强烈＝コークス火と同等火力を有し他器に移すも滅火せず
火持良い＝他炭に比し二倍の評あり故に煉炭及新代用となる
價格廉い＝自山自營直賣なれば即ち廉價供給が出來ます

以上の如く他炭の追從を許さぬ幾多の特徵を有しストーブ用溫突薪炭代用風呂焚工業用に使用し絕大の賞讚を博し白熱的歡迎の下に賣れてをります弊部は不相變飽くまでも純良のものを提供し斤量の正確廉價を以て誠意と努力を信條として奉仕致します

京城日報社代理部 電話光化門一四〇〇 一四〇五番

保險 大同生命 保險會社

契約高 壹億七千萬圓
諸積立金 參千參百萬圓

京城支部 京城府南大門通

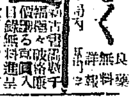
大阪・江戶堀

登錄商標

大阪東區南久寶寺四
澤田幸太郎商會

ふくまく

書畫



老衰眼・近視・視力減退に特効

視力素

眼の若返り藥

ドクトル櫻木先生の創製にして實に稀有の良藥なり

兒玉藥房

平北道評議會【第四日】

【新義州】平北道評議會第四日目の三日も定刻より遲れ午前十時半開會此日の出席議員（新義州）の一名缺席にて出席者二十九名生田議長は開會を宣するや直に議事に入り續き勸業費の審議に入る

▲公錫都氏（楚山）本道の大部分は山林地帶であるから當局は植林獎勵の費を割いて山林繁殖に努める必要はなきか

▲野田勸業課長 當局も左樣の考へで苗圃事業は他道より移入を必要としたのを現在では他へ移出の餘裕を見るの盛況である云々から說き

▲吉田雅一氏（龍川）勸業費中補給十一項目中吏員俸給に一萬四分減額しても施設に於て二萬二分を減額せるは實地指導を重とする勸業の趣旨に反するなきか否やを述べ次ぎに漁業上の水産會に移り本道の水産業が發揮され居るは遺憾なりと語り數次前年度後に水産會の實績を詳述しその水産費補助を割いても水産會に補助して欲しいと希望したのに對して張間內務部長は之を受け要點を避けて頗る巧妙に答辯をなし之が擴大に努める處あり

▲邰潤玉氏（鐵山）漁業組合への補助四千餘圓を本道の組合數二十有餘に配當すれば一組合僅に二百餘圓に過ぎず水産會の事業は消極的で其費用も大部分は人件費であるから組合補助を割いて水産會のそれに充當するは反對である云々とて吉田議員の希望を反駁したこれにて正午休憩となる

午後一時半再開生田議長は日程に餘日が無いから勸業費は是で打切りたいと謂り異議なく可決確定し教育費の審議に移り左の各件をば一括附議する事となつた

▲歳出經常部第四款教育費▲同第五款四項教育費補助▲地方費兒童獎勵資金特別會計豫算案

▲金濟河氏（定州）學校費補助二十三萬餘圓は師範學校を含むか

▲春日學務課長 然り西校所至五校の豫定

▲權埰鍾氏（渭原）宣川義州の兩師範學校を中學程度に昇格して貰ひたい

▲張間內務部長 當事者としては時期尚早と考へてゐる

▲黃履河氏（龍川）總ての教育設備が都邑地に偏し僻地を疏外する嫌なきか

▲春日學務課長 豫算の許す限り僻陬地にも分教場其他を設けつゝあり

▲吉田雅一氏（龍川）龍岩浦水産學校及び小學校補助師範學校等に於て多額の減額あるが支障なきか

▲春日學務課長 水産學校小學校補助は支障なし師範學校に於ては私費生を募集する一方公費新入生徒數を減少したのである

▲金元用氏（泗原）當局の努力によつて大正十一年就學步合百分比八人が現在十三人に增加せるは喜ぶが補助金を見るに普通學校兒童一人當り四十五錢六厘小學校兒童一人當二圓二十五錢は餘りに普通學校に薄く小學校に厚き嫌ひはなきか

▲春日學務課長 普通學校は補助金以外に多額なる學校費が支出されて居るので之を加ふれば不公平はなく又普通學校の設備は小學校のそれに比し劣るとも決して劣つてはゐないと思惟する

右にて教育費審議を打切り一致にて可決確定し午後五時散會

關東廳官制大改正

人員淘汰は徹底的にやる

【旅順】歳出入豫算一千五百萬圓より一割の大削減を餘儀なくされた關東廳の財政整理に伴ふ官制の改正並に人員淘汰はかなり徹底的のものであつて其官制改正の骨子とする所は

一、事務總長制度の廢止
二、勅任官の減員
三、理事官並屬視の減員
四、關東廳官の減員

等であつて右改正案は既に閣府に廻附せられ十日前後までには裁可を得て中央政府の官制改正と共に公布される筈である尚ほ事務分掌規程中改正される主要點は左の通りである

一、長官々房に屬せる會計課を財務部に移く
二、內務局に屬せる財務課を獨立して財務部を置く
三、內務局に屬せる學務課及法務部を內務局地方課に屬せしむ

而して勅任官減員の結果として
一、各民政署長は奏任とす
二、金州民政署を廢止して大連民政署金州支署とす
三、普蘭店民政署を昇格せしめ皮子窩は同支署となし單に減員に留む

群山移出米穀

【群山】十一月中群山より移出せし米穀の數量は十三萬五千五十三石價格百二十一萬二千七百七十圓にして內譯は玄米十一萬八千四百五十石價格四百五十三萬九千四百五十一圓白米一萬五千三百五石價格六十四萬二千三百三十一圓精米二千二百八十五石價格三萬八百九十二圓其他の米十二石價格九十六圓一月以來の累計は九十二萬五千百六十八石價格三千八十六萬五千二百三十圓にしてこれを前年に比すれば前者に於て一萬六千六百二十五石價格百三十二萬六千百四十九圓累計に於て四萬四千三百七十五石價格五百九十萬七千七百八十六圓の增加を示せりと

釜山輸出入穀物

【釜山】釜山港における本年度十一月中までの輸移出入穀物數量を月別に見るに概要左の如き狀況であるが移入滿洲粟は一月中七千八百五十三斤二月中八千三百八十一斤三月中一萬三千四百五十九斤四月中一萬八千二百四十一斤五月中七萬八千八百八十二斤と激增し六月中において俄然九百八十六斤となり七八月の端境期では全然輸入されず九月に入り四百九十三斤の出廻りがあつた

	移入玄米（石）	移出精米（石）	移出大豆（石）
一月	三六、六〇八	四一、一〇七	三、七四五
二月	一三五、〇八五	三〇、八五八	八、〇一五
三月	八六、四四七	三三、三五〇	五、七三四
四月	一二〇、三二九	四五、五〇七	六、一三五
五月	六〇、六五一	四五、八八九	五、四四七
六月	四九、三三七	四八、七八四	一、四四七
七月	四一、九四九	三六、四四九	四、〇六六
八月	二四、七七七	一九、〇〇一	四、五五五
九月	二九、四九〇	一四、八七九	二、七三四
十月	三二、九九六	一三、三三五	四八、八二九

而して移入外米の趨勢を觀るに時季に因り消長は免れ難いが概して夏季に移入多く新穀出廻り季から漸減の傾勢を辿つてゐる月別に擧ぐれば（單位百斤）△一月中二九、四〇〇△二月中一六、二九六△三月中一九、四九四△四月中四七、七四一△五月中三二九、四三〇△六月中三三二△七月中五〇、二九五△八月中三一〇三四△九月中三三二五△十月中一八、八九四

爲替業務取扱要望

【群山】群山府市民各金融組合の資金を增加し同時に爲替業務取扱を

滿鐵線に魚類專用

冷藏貨車設備要望

釜山商議から提出

【釜山】過般の釜山商業會議所評議員會に提案された滿鐵線に魚類專用の冷藏貨車を設備せられんことを要望すとの議案は漁業地として此の釜山に採つては最も重大問題であるといふ點で交通部會では更に調査考究することゝなり之が要望事項として府內における四十餘組合から夫々これが要望について理由の回答を求めてゐるが纏まり次第右回答を基礎として更に協議會を開き當局其他當路方面へ要望書を提出する筈であるが三日會議所へ回答した合資會社釜山丸魚運送部の回答理由の內容は左の如くである

一、鐵道運賃高きがため取引不可能と認める事實

二、鐵道運賃高きがため取引上餘儀なく內地との競爭不能と認める事實

安價なる下等魚類は運賃高き爲め遠距離の鮮內及滿洲地方には輸送不可能であり殊に百斤以上の一尾及斤量の大なるものにして滿洲行は凡て下關經由にあらざれば運賃高き爲めに供給不可能なり現に鐵道において京義線以北行は絕對にその輸送を受託しない不利不便あり依つて滿洲行は內地物と競爭不可能の地位にあり

三、鐵道運賃に關し希望せらるゝ事項

一、釜山驛發午後二時の十九列車は混合貨物列車なるに一定の時間後は小荷物運賃を支拂ふにあらざれば輸送不可能なり之を貨物運賃に改正せられたきこと

二、貨物扱として託送するとも凡て指定驛（運賃五割增）にあらざれば貨車の有無にかゝはらず輸送不可能なる不利不便ありこれを普通貨物運賃に取扱れたきこと

三、鮮魚の輸送は鮮內は勿論遠く北滿地方まで常に輸送せられつゝあり然るに運賃高き爲めその輸送數量尚多からず依つて長距離運賃を低減せられたきこと

四、其の他輸送上の施設に關し不利不便と認める事實

イ、驛指定を廢し何れの列車にも各驛行の託送をなし得べきこと

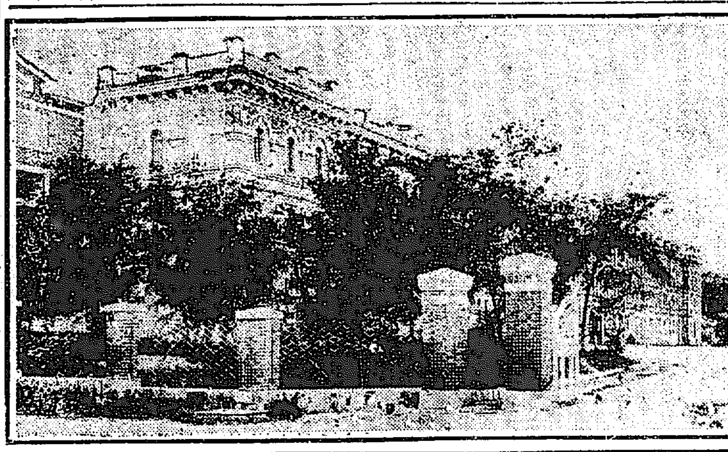
ロ、下關廻し大連行を鐵道に依つて輸送を希望し從つて一尾物の輸送も受託を乞ふこと

ハ、小型冷藏車（十噸十五噸級）の新設を希望すること

ニ、指定運賃額以外は何時輸送せらるゝや貨車の都合にて確定する爲め鮮魚の如き時を爭ふものゝ輸送には不利不便多し之を改正せられたきこと

ホ、滿洲行鮮魚に對する附帶費を撤廢運賃と共に鐵道において取り立ての復活を要望すること

本件は去る大正十年十一月一日以降鐵道局の許可を受けて滿洲各驛仕向け鮮魚は一定の擔保金を納入して運賃及附帶費を著地において徵收方の取扱を繼承致されたる爲め內外の生產地問屋者は勿論消費地の之が仕入先も亦大に利便を受けつゝあり然るに本年四月以後は附帶費の中止致されたる爲め正反對の不便不利を生じ沿岸及遠隔地より送魚する當業者及中繼地取扱店の不便迷惑は一方ならず從つて鮮魚輸送の復活と水產業發展を阻止する事多しく一方附帶費取立ての手數を思ふに運賃支拂と共に取立てせらるゝにつき何等煩雜を要せざることにつきこれが復活を要望すること



存亡の岐路にある旅順工科大學

釜山金融狀況

【釜山】釜山組合銀行十一月下半期現在における金融狀況は左の如くである

△公金預金四十四萬二百四十二圓八十二錢△定期預金八百八萬四千五百十四圓九錢△當座預金二百七十九萬六千三百七十九圓四十六錢八厘△特別當座預金二百七十五萬一千七百四十一圓四十五錢△雜預金三百六十萬二千七十萬一圓△合計一千七百六十七萬四千九百四十七圓八十三錢八厘△貸付金二百三十萬九千三百九十五圓二十五錢△手形貸付八百二十九萬六千四百五十一圓七十六錢△當座貸越六十一萬五千三十五圓五十二錢△割引手形三百九十九萬九千八百四十七圓十一錢△荷付爲替手形二百九十九萬三千八百六十二圓七十錢△合計一千九百二十一萬三千五百九十二圓三十四錢となつてゐるがこの外鮮銀代理店付金六百七十九萬二百四十二圓三十九錢預かり金は三十三萬四千百四十三圓七十錢である

平壤銀行張尻

【平壤】十一月末平壤各銀行張尻預金高は民用千七百七十萬九千百九十五圓貸金六百五十九萬七千八百七圓で別に東拓の貸出金が五百一萬四百九十圓である

家禽品評會

【晉州】三十日晉州郡畜産組合主催の家禽品評會が小學校々庭に於て開催せられた出品總點數百十六點白色レグホンが大多數であつた午後三時から褒賞授與式を擧行し杉本道技手は晉州郡の養鷄が著しく進步發達せる狀況を講評し將來雞卵の輸出を付言し農民が養鷄に注意を要すべき事を付言して品評會の後で郡廳より晉州郡の勸業の途を說き畜産組合及管理者に出席者の希望を述べ午後五時閉會した、當日の受賞者は左の通りである

一等名古屋晉州中島恭一、白色レグホン晉州姜成彥、同大坪面趙鍾祥、白色プリマウス文山面賀鵬岩吉、▲二等晉州柳國萬太郞、平居面李致伯、同晉州三中井吳服店、同晉州趙鍾晚、大坪面曹仲玩、道洞面鄭道運、晉州賈明實吉、同全判烈▲三等平居面鄭文珠、同金基彥、晉州後藤幸治、同山日大苗、琴山面金錫煥、晉州宋致三、同姜松喜波、同武下正一、大坪面朴在容、道洞面朴昌甲、晉州面高降松二郞、朴壽祐、平居面梁在鳩、晉州金學敏、平居面金三世、大坪面鄭秉求

釜山校長會

【釜山】公立釜山八小學校長會は五日午前十時から第二小學校で開かれたが

一、學校衛生に關する件
一、十四年度に於ける各小學校豫算打合せに關する件

其他について協議した（釜山）

吉會鐵道促進運動

清津拓北會の活躍

【清津】支那政變により段祺瑞氏の擡頭に伴ひ氏を共鳴後援者として吉會鐵道問題の促進有望なる當局の歸朝にて歸るゝと一方鮮人五十餘名の期待を期し愈々政治季節に入りたるを以て運動は東京に生れたる拓北會に於ては好機逸すべからずとなし一日其總會を開き滿場一致を以て促進運動の運動を生ずべく決議し中央政府當局に對する運動は目下上京中の拓北會常任理事たる鬪本北鮮日報社長に之を一任し本會よりは別に鮮滿人要路日本各府縣及び間島の支那官民有力者に發電して本鐵道に對する呼應運動を促し爾々相俟つて目的の貫徹を期する事となつたが支那政局の推移と鐵道會社に從ひ本會の活動は益々白熱化するであらう

馬山支廳職員移動說

【馬山】今回の整理に伴ひ全鮮に於て退官すべき判檢事の數は四十餘名の多數に達するさうであるが其波紋は全鮮に波及し來る十五日頃に變動發表と共に新來のことではあるし疾風迅雷的に三日以內に各其任地に赴任するとのことである馬山支廳に於ては判事多田吉鐵氏が大邱地方法院長に檢事津久井利光氏が地方法院檢事正に何れも榮轉すると又判檢事には仁川支廳判事千綿榮吉氏海州支廳判事三田村高爾氏が來任すると云ふ噂である

平南警官異動

【平壤】平安南道警察部は十二月五日附內地人巡査百十名鮮人巡査四十名合計百五十名行政整理を行ひ來る十日には警部補以上內地人九名鮮人三名の整理をなし同時に警視以下の大異動を發表する事になつてゐるが警察部長は語る今回の整理は全員の一割五分に當るので自然警察の機能を維持するとすれば人員の不足を來しはせぬかとも思へるが二三の例外を除き大體は現在所の配合などは行はぬ方針である、それから今回

木浦の退官者

【木浦】行政整理で木浦の重なる官吏中退官異動を見るは府我府尹、鈴務安郡守、布村郡務所長、白石稅關支署長等退官し府の鹽田財務課長も退職、沖谷內務課長は當分居据りらしく寧ろ浦州出張所長は既に更迭し法院支廳の整理は土地の狀況に依つて著しく各署に依つて減員の度を異にしてゐる、例へば平壤署の如きは都市の發展と共に現在の定員では不足を生ずるので退官者の後には直に人員の補充をなし又平安北道に配した各署は物騷な平北の狀況に鑑みて人員の減減は見合せる事としたので自然其他の各署は平均減少率以上に減員される事を免れなかつた譯である云々

埠頭待合室落成式

【大連】大連埠頭船客待合室の落成式及び棧橋の開通式は一日午後三時から同待合室に於いて開催來賓は兒玉關東長官白川關東軍司令官中大連民政署長伊佐大連市長代理柏生商議會頭其他旅大官民五百名に及び盛會であつた

學組管理者任命

學校組合管理者西野伊勢松氏の後任として北嶽孝治郞氏は三日附を以て道知事より任命され直に就職した（淸州）

驚くべき支那織物の輸入

朝鮮機業界の革新を要す

【大邱】朝鮮に每年輸移入せらるゝ織物は頗る莫大の額に達する事は勿論であるが最近二ヶ年の統計を調べて見ると去る大正九年には五千四百十一萬三千九百十九圓內支那生産の織物一千三百三十萬一千四百九十六圓、同十年には六千六百五十五萬二千四百八十一圓內支那織物五百四十萬七千五百六十七圓、大正十一年には五千百五十八萬七千六百九十二圓內支那織物一千二百八十三萬五千四百七十二圓といふ巨額の織物が輸入せられて居る依つて之が對策を講じて朝鮮に織物を獎勵すると云ふ事は最も緊要の事に屬し殊に整經後の實施以後は非常に價格が昂騰し支那織物等は特に甚だしい者さあるのに鑑みて慶尙北道では一層其獎勵を促進する方針の下に今後織布機業に就する改良及び施設要項指針と稱する團體物を配布し大正十四年度よりは各郡の織物主要産地に對し夫々適當の施設と改善を試みる筈である今大正十二年度中に於ける支那産の織物の輸入價額を示せば左の如きものである

官紗	九一四、九六〇圓
紗	一一五、〇六〇圓
府紗	六三三、一五九圓
唐元羅	一六二、五一五圓
甲緞子	三九八、八一二圓
老紡紬	一九五、〇一八圓
寧紡紬	四四二、三七八圓
三八紬	三八八、四一一圓
絹紬	一六三、七三一圓
合計	四一一四、〇三六圓

防備隊廢止反對運動

【旅順】防備隊廢止の聲一度傳はるや旅順市では緊急市民大會を開き防備隊廢止反對の決議をなし同時に作田防備隊司令官宛に其の決議文を送達したのに對して一日大川旅順市長等が面會し陳情する筈が趣きに於て中途撤止するといふ事になつた

鮮人副會頭增置可決

【元山】元山商業會議所では三日午後二時より評議員の協議會を開き定款一部の改正の件を協議した、鮮人副會頭一名增置の件は異議なく可決し一旦本府の認可を受けた上へ選擧を行ふ筈である、尙杉野副會頭より鮮人會議所側よりは本年度評議會の提案があつた件並に鐵道航路汽船增設等に關する經濟的運動を試みた後五時散會したが牛皮檢査所設置問題に就ては議論百出、中々緊張した場面を見せたと

清津電燈値下

一日から實施

【清津】朝鮮電氣株式會社の清津、羅南、鏡城方面に於ける供給電燈料改正の件は二十六日附にて認可され十二月一日より實施する事となつた、在來料金に比し五燭は八十錢の增減なく、十燭が五錢引の一圓〇五錢、十六燭が十錢下の一圓三十五錢と成つたもので新に二十四燭光と云ふのを設け此の料金一圓八十錢である、以上燈に百燭光は一圓引の五圓五十錢と成つて居るが、街燈は最低十錢、最高一圓五錢の値下げを斷行し一般の要求に應ずること〻成つた、尙メートル制も改正されたが、此の方は

大田棉花狀況

【大田】大田郡に於ける本年度の棉作は初め旱魃し漸次恢復しつゝあり棉作は成績は頗る良好で六十萬斤の出荷の豫定であるが先月末日現在の共同販賣は四十六萬斤に達し一斤平均二十三錢として十萬五千餘圓となつて居る全部の出荷を終へると十三四萬圓に達するの狀況なるが動もすれば密賣者續出し不正行爲あるを以て當局にては斯る不正商賣者を嚴重に取締つて居る

平南普校狀況

【平壤】平安南道の普通學校設立は從來人口稠密な個所を選定して居たので現今の狀況は四學級若しくは六學級制の學校を設立すると通學生中には二里三里甚しきは四里以上も通はねばならぬ生徒があるので道では復式教授に依る二學級一校制の普通學校を多數に新設する方針を樹て昨年以來之れに邁進みつゝある、又道は普通教育の普及を圖るため前記の如き二學級制普通學校の新設增加に力を注ぎ新設學校に依る學級の延長は暫らく見合せる事としたので既設の普通學校中には學年延長の實現運動を起す所もあり現に平原、江西郡の住民を代表した鈍谷、祝外二名は平南郡里普通學校學年延長運動のため上道して居た程で此等學校は學年延長を必要に迫られてゐる學校は全部二學級制普通學校の新設に全力を傾注するから當分學級の增加は不可能ならんと言はれてゐる

浦項驛運輸成績

朝鮮鐵道慶南線浦項驛の十一月中の運輸成績を聞くに左の如し（浦項）

一、乘車人員三千四百八十一人
一、降車人員三千二百四十三人
一、乘車賃金二千五百六十七圓
一、不足賃金二十七圓
一、手荷物十八個四百斤
一、手荷物賃金十一圓
一、小荷物賃金五十三圓
一、客車收入合計二千六百五十九圓
一、貨物發送噸數四百二噸九分
一、貨物賃金三千二百七十四圓七十一錢
一、雜收金六圓二十錢
一、貨車收入合計三千二百八十一圓九十一錢
一、雜入金二十五圓六錢
一、收入總計五千九百七十五圓九十一錢

光州驛運輸成績

朝鮮鐵道全南線光州驛十一月分運輸狀況は左の如し（光州）

		昨年同月との比較
乘車人員	[illegible]	[illegible]
發送手小荷物斤量	[illegible]	[illegible]
發送貨物噸數	[illegible]	[illegible]
客車收入	[illegible]	[illegible]
貨車收入	[illegible]	[illegible]
雜收入	[illegible]	[illegible]
收入合計	[illegible]	[illegible]
一日平均收入	[illegible]	[illegible]

樂浪調査會

平壤樂浪調査會では三日午後三時から府廳樓上で平壤博物館設立問題で協議會を開いたが協議の結果調査會側は博物館の設立に熱心盡力する事とし差當り三萬圓を投じて古墳二基の館舍を建築し博物館と圖書館とを併設する事にするさうで尙ほ建築費の醵出は府民の寄附と國庫補助と府費の支出に依る方針であると（平壤）

警部口述試驗

公州道警察部では警部試驗に合格した八名の巡査及巡査部長に對し去る二十八日警察部及警部補考試口述試驗を執行したが成績は明日早々發表の豫定（公州）

▲受驗者 禮山署巡査崔周榮氏洪城署巡査部長小林重好氏同洪原署一氏天安同押川龍次郞氏同同文淵根氏保寧署巡査桐押川氏大田署巡査部長加藤新作氏外一名

警部補試驗

忠北道警察部の警部補詮衡試驗に合格者は左の如く發表したが本年度の受驗者成績は概して優良であつた（淸州）

陰城署朴容禹、堤川署村上義一、槐山署東山進、警察部笠原嘉平、丹陽署小西要明、同平田喜八、鎭川署大島滿喜、淸州署龍口健一、鎭川署南其喆、同永松勝藏

米田知事圖書寄贈

【平壤】平壤府が東宮御成婚記念に新設するといふ平壤府立圖書館は過日來一般府民から寄附金を募集してゐるが目下約千二百圓程醵募され豫定の一萬圓には未だ前途

群山兩紙の革新

【群山】群山日報は時勢の要求に鑑み十二月一日より從來の日曜休刊を廢止し祝日を除く外無休刊となり又雜誌「實業の朝鮮」は從來月刊なりしが十二月一日より週刊となし來る七日の日曜より每週發刊すべしと（群山）

南川より

◇此頃南川驛其れは樂多の意味を持つて居る交驛である先づ平山、新溪、谷山の三郡は勝に此の交驛から入らねばならぬ、又近く改修被成した平山溫泉及び白川溫泉に依る海州への交通にもあたる

◇此の交驛が頗る陳腐なお粗末な驛に依つて代表されて居るのは遺憾であるが更に一驛開業の不潔と水溜と共驛員は餘計な粗說である生々と高價な三度刷り四度刷りの宣傳ビラを作るも必要だらうが實行が之に伴はなければ何等の價値もない

◇新春劈々のプログラムの內へ何はさて置いても此交驛の改築と非衞生的設備の改善を入れて欲しい

地方集會

▲生田知事評議員招宴【新義州】平北道知事生田淸三郞氏は第五回道評議會に出席した三十名の評議員と各部課長藤谷府尹新義州署長課員通譯等關係者並に新聞記者等八十餘名を三日夜錦新館に招待し親睦の意味の酒宴を催し席上一場の挨拶を爲したに對し義州郡官崔鳥夏氏御禮なる謝辭あり頗る盛會であつた

▲西野氏送別宴【淸州】元淸州面長兼學校組合管理西野伊勢松氏は堤川郵便所長として淸州を辭去するにつき三日ほへとに於て盛大なる送別宴を催した

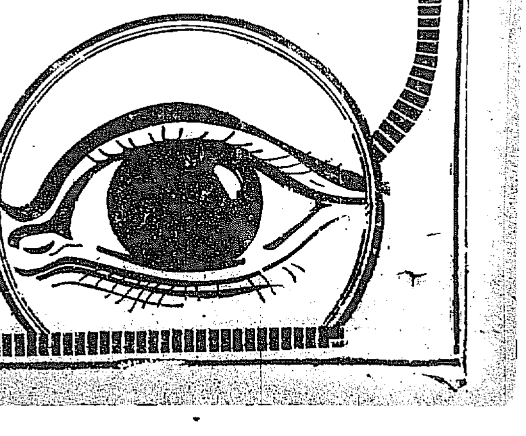
▲朴知事送別宴【全州】全北道參與官から江原道知事に榮任した朴榮喆氏は任地に於ける事務の都合上急遽赴任の要ある爲め六日單身出發することになつたので五日午後四時から公會堂に於て官民合同にて盛大な送別宴を張つた

▲谷村郡守惜別宴【全州】今回退任する谷村全州郡守は四日午後六時より料亭末廣に於て在全官民關係者其他を招待して惜別宴を張つた

地方人事

▲小島七郞氏（政友會代議士）二日來連遼東ホテルへ投宿（大連）
▲井上常太郞氏（正隆銀行常務）三日奧地へ出張（大連）
▲稻田拓殖事務局長 四日夜九時聯絡船で歸東（釜山）
▲齋藤安二氏（大田警察署長）四日鎭海へ八日歸任の豫定（大田）
▲金英鎬氏（全北參與官）十一日大邱出發途中一泊十二日著任の筈（大邱）
▲高宗勝喜氏（大田郡高島川張所長）五日赴任（釜山）
▲秋山泰松氏（道警部、清津署長代理として在任中有名な清津疑獄の摘發に辣腕を揮つた同氏は今回國境西水羅署長に榮轉後任清津署係は新阿山署長たりし奧山鋼十郞氏である
▲池內猪三郞氏（慶南水産會副會長）鎭營方面に出張（釜山）
▲前田善次氏（濟州島々司）海女問題の爲め來釜（釜山）
▲寺島利久氏（馬山府尹）三日土地賃取交涉の爲め來釜即日歸任（釜山）
▲小西喜介氏（釜山府尹）三日大府に出頭（釜山）
▲吉岡重實氏（釜山府協議會員）內地へ旅行（釜山）

大學目藥（ダイガクメグスリ）



大學目藥は トラホーム、はやり目、こり目、星目、打撲目、かすみ目、たゞれ目、血目、其他眼病一切に今も第一である

十歲以下には小兒用大學目藥あり

參天堂合資會社 大阪市北濱

賜宮內省御買上之光榮

竹鶴 吟釀

特約店 京城 島屋 奉天

資本金 壹億五千萬圓 本店 東京市麴町區永樂町

頭取 安田善次郎 副頭取 結城豐太郎

安田銀行京城支店 支店長 三原梓

爲替取引先は內地各方面に朝鮮滿洲等要の地に有之候銀行一般の業務は最も便利に御取扱可申上候

かをりよき文化的美髮料

香油 ジマンポマード

三共組製油所 釜山支店 本舖 東京 大阪 釜山辨天町三ノ九 主任 丹波甚八

レントゲン診斷科 レントゲン治療科

泳仁醫院 京城レントゲン診療院

冬に多い腦溢血

豫知も豫防も出來る
―斯くの如き人は用心せよ―

醫學博士 佐多芳久

寒さの嚴しい時候には夏とちがつて流行病や傳染病は殆どないが、然しそれより恐ろしい腦溢血が續發する。近頃社會の柱石となる樣な知名の士や、一家の大黑柱である人に

腦溢血 で斃れる方が多い樣である。私共專門醫が十數年の經驗に徴して、この恐るべき腦溢血は年々殖えて行く傾向を認める。これは社會の狀態から腦の過勞を來すことが多い爲で、今年の冬季には恐らく昨年の震災直後よりは更に此の病氣で斃れる人が多いことが豫想される。

傳染病 は重態に陥るまでには長い經過を要するし、他の疾病も死に陥るまでには相當の時日がある然し腦溢血は卒倒すると家人がかけつける間もなく醫師の手當をうける暇さへなく、所かまはず死なねばならぬ場合が多い。或は癱瘓で生命はとりとめても後に半身不隨を殘して、長からぬ餘生を

不自由 に送らねばならぬ。斯樣な恐るべき、いまはしい病氣がどうして突發するのであるか、何等身體に今の今迄故障も苦痛もなかつたものが、人と談話中に、又は入浴中に或は便所の中で、或は寢食中に、突發するといふのは、何か既に以前から發病の準備が體内にありながら、本人が少しも氣付かずに居るに違いないのであるこの腦溢血を起す

原因を しらべると色々あるが、第一は遺傳の體質である。これは遺傳的に卒中體質を備へて四十、五十の年頃になると、デブデブに太つて大黑樣の樣に腹が出つ張り首が短く、頭が禿てくる。恰幅はよいが斯樣な體質の人はポカリ卒中を起すことが多い。第二は酒である。若い時から、左が利き過ぎ飯を晩酌はなくとも晩酌にホロ醉ふてゴロリと床に臥る癖の人は

五十代 頃には長年の酒の爲に血管硬化を來して腦の血管が脆くなり、何かのハヅミで腦に急激な充血を來すと血管がバッチリ破れて出血を來すのである。第三は梅毒である。若い時にシシ喰つた報いで梅毒を感染しながら充分に驅梅をしないで毒が少しでも殘つてると長い間に血の中の

毒の爲 に血管はやはり硬化を來すか、血管の内膜が梅毒に犯されて破れ易くなつてくる。第四は慢性の腎臟炎である。腎臟炎のある人は血液中に尿毒が何時もあるので、その爲に血管がやはり硬化する。腎臟炎を起すか腦溢血を起す基となる。第五に

糖尿病 である。糖尿の出る人は血液中にもやはり糖分が多いので、その爲に血管が犯されて弱くなり、皮膚の榮養がわるくなつてヨウが出來たり、又は腦溢血を起す。

其他色々の原因から腦溢血は起るが何れにしても腦溢血を起す樣な人には血壓の亢進といふことを認める。近頃では血壓といふことが一般に宣傳されて、素人でも用心深い神經質の人は

血壓計 を備へておくかチョイチョイ主治醫に血壓を測定して貰つて用心してる方がある。然し多少血壓恐怖の傾向である。勿論血壓の高いといふことは腦溢血の前提となる場合が多いので、大に注意しなければならぬ事であるが少し血壓が高いからといつて、今にも

腦溢血 で斃れる樣にビクビクして、外にも出られず夜もロクに安眠が出來ない程神經過敏になる必要はない。血壓の高いのはなほす方法はない樣に一般に思はれてる樣であるが然しそれは間違ひで房事を謹しみ養生法を守れば血壓は下げることも出來るし、腦溢血を豫防することも出來るのである。

豫防法 それで第一、四十、五十の年齢になつて腦溢血の遺傳を有する人卒中體質を備へてる人、第二に酒を飲み過ぎる人、第三に若い時梅毒を患つて徹底的な治療を怠つた人、第四に慢性腎臟炎又は糖尿病を患つてる人は相當の年齢になつたらたとへ、自覺的には何等の苦痛も、徴候も感じなくとも健康診斷を受けて豫防法を講ずべきである。腦溢血の起る迄には色々の

自覺的 前兆があるものである。他覺的には勿論醫者が診察すると既に發病の以前に色々の變化を認めるものである。それで腦溢血は豫知も出來るし、從つて豫防法も講じ得るのである其自覺的前兆や他覺的變調に就いては他日詳細に機を見て述べたいと思ふ

日本ライン 三戸萬象氏筆

微小な塵埃が人體に與へる害

工場は殊に慘害が甚しい

醫學士 佐藤正

(下)

ケムブリッヂのデイクソン教授はその木綿から一種のアルカロイドを驅出し之を實驗して見ると、それは心臟の機能を痲痺して筋肉の内に在る神經の終末部を痲痺させる作用を有すると報告して居る私は曾て或紡績工場の一部を視察したことがある、專門家の談に依ると印度綿や亞米利加綿はそれよりも更に上等な埃及綿に比較すれば塵埃を含むことが多いと云ふことである。

紡績工場では棉花の塵埃を取り除く際に塵毛工或は梳毛工が先づ第一に塵毛を浴びると云ふことだが棉花の纖毛や塵埃は極めて微細な綿狀をなして空中に舞ひ上りそれが機械の運轉と共に雲霧のやうに作業室を立て籠めるので、紡織に從事する職工の程度に依つて揚塵生する塵埃の發散には種々の程度がある。

だから各工場の紡績程度も其の職工する塵量の異る如く多少の差異があり從つて塵埃問題に關する調査も各地方の種々な工場に就て調査する必要があらう。

綿布工は喘息樣の症狀を有し鼻や咽頭カタル性な病狀が之は主に棉花纖維及び之に紛れる一種の粘狀固なる微細な纖維を吸入するから起るのだと云ふ。

化膿的な礦物たる砒素を含んだ色素を取扱ふときなどには特に注意しないと、砒素の顆粒が皮膚や衣類の隙間から入り或は衣服の裾部分が刺戟され殊に人指と中指の股に潰瘍を來すことさへあると云ふ。又砒素の微粉末を吸入すれば鼻の粘膜に沈着してだんだんと進めば鼻中隔の穿孔をさへ來すことがあるが、この穿孔をする前には勿論潰瘍が生じそれは可なり大きくなつて、決して治らないと云はれてゐる。

斯くて鼻中隔の穿孔や體部殊に其側部の皮膚に潰瘍を生じたり

男の子も頭に應じて

◇刈り方と分け方の注意◇

男の子の髪のかたちも婦人のそれと同じで、ヒトがよく似合ふからと云つてその形が又自分にも似合ふと云ふ譯には參りません。矢張り自分の顔、殊に頭の形に應じて考ふべきで、さうすれば頭の形の缺點もかくされ借物でない髪が出來上ります。一々の形につき申上げますと、後頭部の出てゐる人は、後頭部だけを短くして、前頭部から後方へ及び頭頂部の毛を長くします。中高の頭の人は頭頂部を短くして前頭部から後頭部へかけて長くします、ビリケン頭の人(天頂の尖つた人)は毛を適宜に伸ばして分け、兩側の低い部に肉を持たせてゆきます不偏頭の人は頭頂部を輕く刈り、前頭前後頭へ毛を伸ばし、殊に後頭部に肉を持たせてゆきます、頭の小さい人は全體に毛を伸ばしてふつくりと見せてゆきます。毛の分け方はどなたでもつむじと形に從つて、分けて行くべきで丸坊主は外國では囚人の頭とされてゐて行はれません(大場秀吉氏談)

火保のよい石炭

鳳山炭が經濟的

從來主として會社工場で消費されてゐた鳳山炭が近頃一般家庭に歡迎され需要を充たし得ぬ事があるといふ人氣だが鳳山炭は無煙炭に比べて火付けがよく、而も一旦燃えつけば火保ちが長くて燃燒時間三十分(無煙炭二十分)冷却まで四十分(無煙炭十五分)即ち燃えついてから七十分間溫度を保ち無煙炭の三十五分に對する二倍の保溫力があり且火力が強く無煙無臭でコークスの樣に他の火器へ移しても消滅せぬので工場は勿論銀行會社及び一般家庭から歡迎される所以であるが此の石炭は燃ゆるに從つて火力を増す故火付が長くかゝるとて無煙炭に石炭をくべる人は大變物である、鳳山炭も無煙炭も本社代理部で取扱つて居り鳳山炭は一噸十六圓五十錢で申込次第配達すると

傳書鳩

…投稿歡迎…

◇紙上の匿名は差支なきも別に住所氏名を明記する事◇中傷や筆者不明の投稿は採らず◇字體は明瞭に十五字詰五十行以内

朝鮮教育會へ

守井三千也

◇あまり從然のまゝ朝鮮教育會發行の教育參考資料第三冊を開いて見た。所が讀むに從つて誤植脱字の多いことに實に驚嘆した次第である試みに數へて見ると九十九頁と百頁に四つ二頁とんで百三頁に二つといふ數である百七十頁ある本の凡そ半分の頁には一ヶ所か二ヶ所誤植のない頁はなくなるわけである。全鮮數萬の會員に頒布する書物として、ことにその中には國語に未熟な鮮人教員を多くふくむものであるから會員として當事者の猛省を乞ふ次第である

◇自分は今年會員に加るを得た新參者である今迄如何なる事業ある歴史に本會が飾られてゐたかは知らない。だが私の入會以來朝鮮教育會の事業として自分の眼に入つたのはこの册子一部である。汽車も知らない海も知らない子供を敎へねばならぬやうな私達の眼に觸れない所に何か本會の事業があるのかは知らないが。

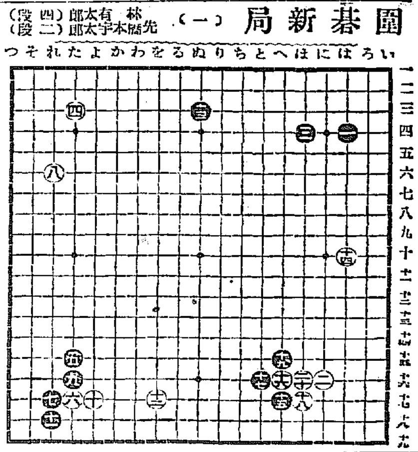
◇その唯一の私に接した朝鮮教育會と銘うつたこの冊物のあまりに無責任なのに驚いた次第である。苟も文教にたづさはる者の仕事としてこのやうなことは許して置けないものと思ふ殊に冊子を異にする朝鮮教育に對する非禮も甚しい。

◇尙それが一言一句も苟めにしないで述べられたる桑木先生の筆記なるに於て、私は講演者に對しても禮を失するこれに過ぐるものはないと信じる。

◇私は當事者の眞面目さの何所にあるかを解するに苦しむものである。事は小である、併しその現はれたる態度に於て當事者に猛省を希望する所以である

圍碁新局 (一)

先 (二段) 本因坊秀哉 / (四段) 林有太郎



●	○	●	○
一 は四	二 に十六	三 ほ四	四 た三
五 た十五	六 た十七	七 れ十七	八 れ十六
九 た十六	十 よ十七	十一 れ十八	十二 そ十七
十三 ぬ十三	十四 は十	十五 へ十七	十六 へ十六
十七 と十六	十八 ほ十七	十九 へ十五	二十 ほ十六

サツマ揚料理

手輕な食べ方

サツマ揚は秋から冬、丁度此頃魚類の脂が乘つて來た時分が一番おいしく食べ頃であります、それにサツマ揚は其儘食べても甘味しく、家庭で人手の少い時などには持つて來いであります。が、二三手輕な食べ方を紹介しませう

一、サツマ揚を適宜の大きさに切り、火にかけて少し焼き、大根おろしに醤油をかけて喰べます

二、茶碗蒸しのたね物には四つ程に斜に切り、他の品物と一緒に入れると揚の味が他の品に浸み込み一段おいしく喰べられます

三、お澄しの種には一遍熱い湯を通し油を拔き、適宜に切りだし汁を入れゝば即席お澄が出來ます

四、オムレツの牛肉代用に細かく切つて種にすれば風味はりな御惣菜の御菜が出來ます

味噌の成分

生で食ふがよい

日本人が味噌と離れることの出來ないのは、その歴史より見ても明かであるが。實際において榮養價値の多いものである、この味噌は醱酵作用に依つて出來たものであるから大豆の中に含まれてゐた蛋白質の一半は分解されてアミノ酸といふものになるこれが即ち味噌の美味なわけである。なほ味噌には消化作用を促すところのヂアスターゼ、ペプターゼ、チターゼ、リパーゼ等の酵素を含んでゐるから生のまゝ食べれば一層有効であるその味噌の成分はといへば

	田舍	江戸	赤	白
水分	五〇	四八	五〇	九九
蛋白質	一八	一五	六五	五五
脂肪	一一	一〇	一三	一二
纖維	五	三	四	五
灰	二六	三三	二五	一九
澱粉	一〇	三	五	一六
食鹽	一三	二〇	一二	一四

少年少女諸君へ

皆さんが學校やお家で作つた童謠や綴方自由書、書方を募集しますから、どしどし送つて下さい◇童謠綴方はあまり長いのや一枚の紙に『うら、おもて』書いたのはいけません◇一枚ごとに自分の姓名と學校學年を忘れぬやうに書入れて下さい◇送り先は『京城府太平通り京城日報社編輯局こども係』とはつきり書いて下さい(學校で纏めて送つて下さる兒童成績品も一々校名學年を記入して下さい)

軍隊毛布 特別處分
極大判二枚掛 一枚タツタ貳圓也

癌 いがん子宮がん食道癌舌癌 兵庫縣明石市相生町 森末家

名譽常置員
全國三等郵便局所在地駐在 非職中の官吏軍人教職員及在郷軍人分會長靑年團長の收入を確保す、高等官相當以上の理想的職業、希望者履歷書送れ諸規則書贈呈す 東京市京橋區一新富町二三 貯金組合聯合總務部

金剛饅頭
千老長生松の家本舗

ほまれみそ

資本金 八千萬圓
拂込濟資本金 五千萬圓
積立金 一千五百四拾三萬圓
本店 京城南大門通
預金、貸出、割引、為替、海外爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務竝ニ朝鮮、滿洲及香港ニ於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱申候
朝鮮銀行 總裁 野中清
支店出張所 東京 大阪 神戸 下關 内地 朝鮮 滿洲 支那 露領 米國 紐育 其他内外樞要ノ地ニ銀行取引先有之候

宮内省御用達 大久保商店 徽章部 帽章 正服釦 門標 メタル 徽章
電話本局二一四番

朝の花 朝鮮酒造株式會社
朝の花の誇り!
第九回全國酒類品評會に於て又々朝鮮出品酒中の最高位に入賞しました。他酒の追隨を許さぬ品質の善き證據。内地酒を愛用する時代は去れり。年末年始の御酒は是非とも内地酒に優る朝の花の御使用をお奨めいたします

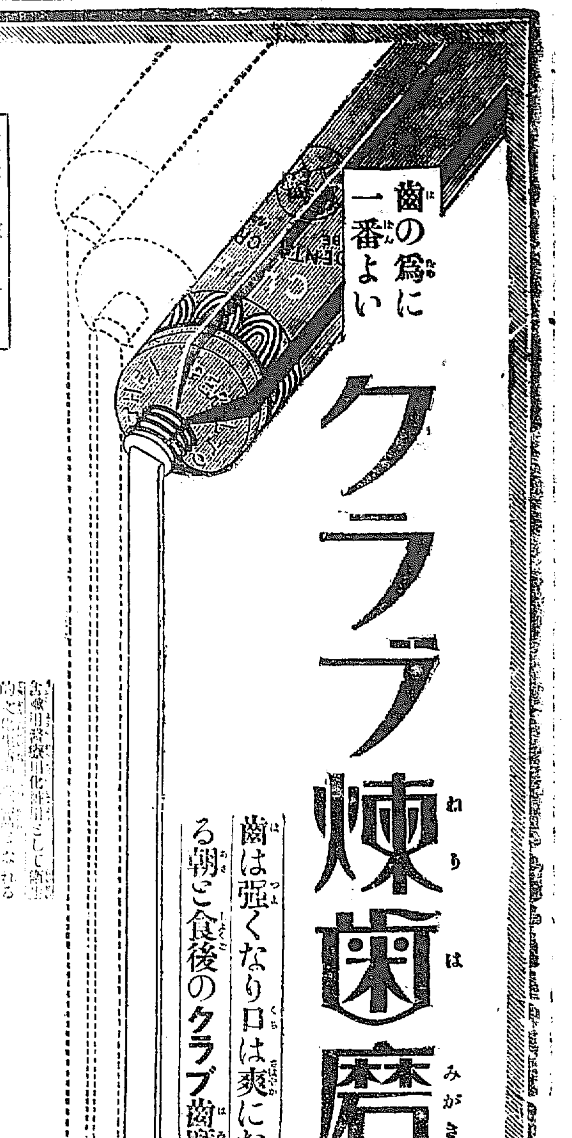
頭痛といへば! 一も二もなくノーシン

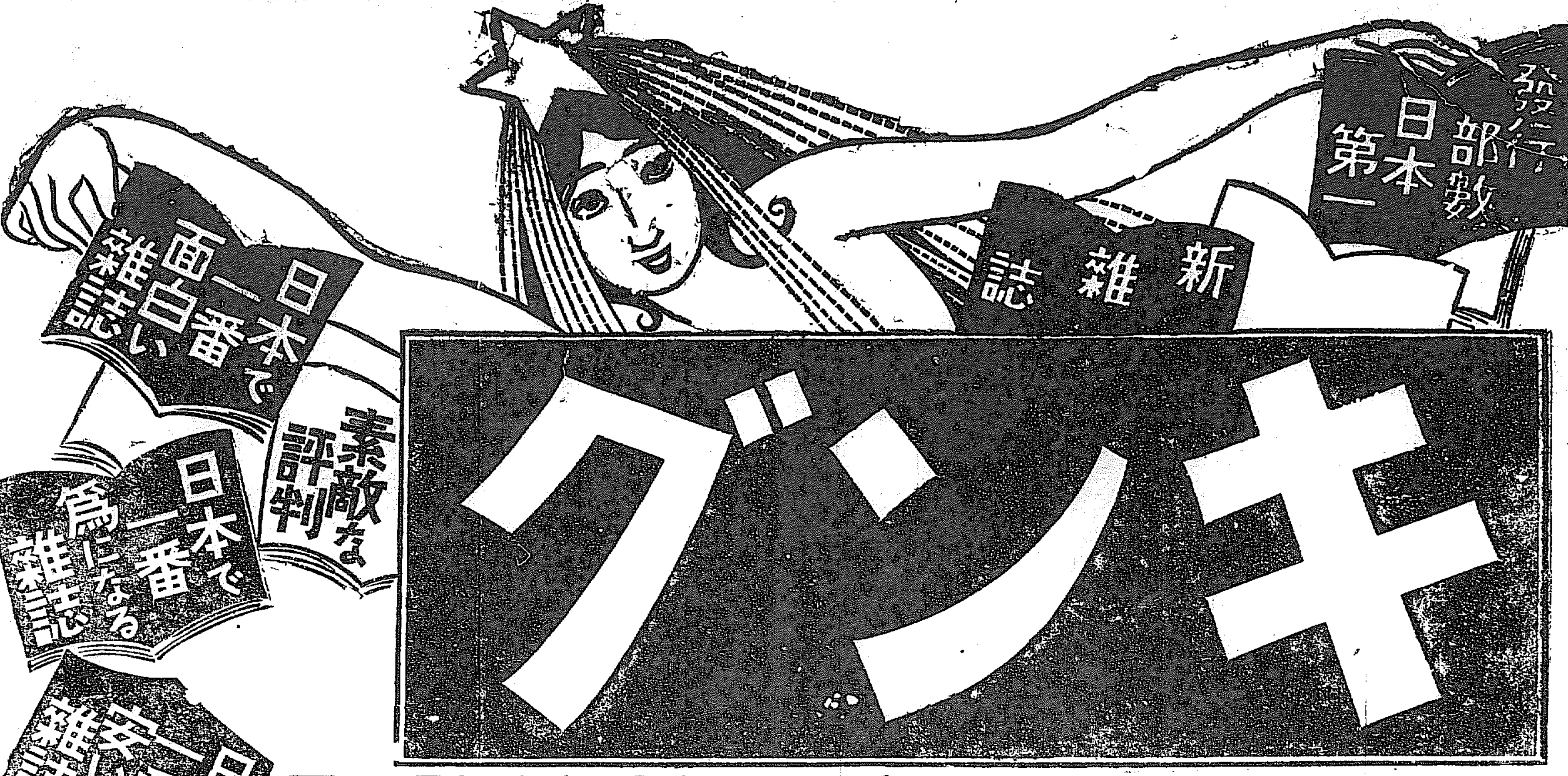
鐵鋼鋲釘鐵線船舶用品材料其他工業器械附屬品商 角野商店

産婦人科 小兒科 遠山醫院 女醫 遠山瀧子

最有効強壯藥 次亞燐
補血に 次亞燐のんだ 力を見よ
強壯に 次亞燐のんだ 肉を見よ
略効 肺病 肋膜 心臟 神經 胃病 産後 衰弱
本舖 大阪道修町 小西久兵衛

クラブ煉歯磨
歯の爲に一番よい
健康の第一義は口腔衛生に初る
歯は強くなり口は爽になる朝ご食後のクラブ歯磨
過酸化水素液



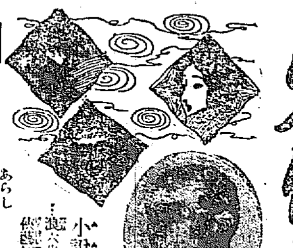


新年創刊號

出た！お待兼のキング！素晴しい雑誌！

定價僅かに五十錢

誰が讀んでも面白い雑誌！



◎近来稀有の大傑作！

人間味……村上浪六

……人生為すべき事の多き中に世路を誤りて、いはゆる紙田を耕し筆を執る事こゝに三十三年間、但し雑誌に掲載の小説は之を以て最初とし之を以て最後とす……浪六先生が絶筆の意気を以て執筆、これならと云ふ会心の傑作。快男子、快美姫、幾多浪六式人物の活躍に依つて本篇は新春第一の好読物となる。

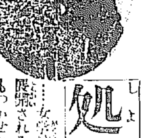
◎歴史小説 **嵐を衝いて**（勇士美女悲壮の大活劇）蘭笙之助
……絶世の美人を背景とした無双の勇士と絶世の美人の哀艶悲愴な物語。

◎長篇講談 **大久保彦左**（附り一心太助出世物語）松林伯知
……我家御代の大久保老人殿中の大鬪き将軍家を閉口せしむる痛快振。

◎探偵小説 **罠の罠**（神出鬼没悪漢の怪手腕）奥田野月

◎童話 **金出ろ銀出ろ**（とても面白い新作快話物！）宮原晃一郎
……死んだ筈の織田傑臣が突如二人現はれて来た！不思議、不思議、いづれが贋物か？

◎落語 **お喋舌小僧**（抱腹絶倒腹の皮）松廼家緑



処女（長篇小説）中村武羅夫
……女学校を卒業した二人の処女！この二人を繞り、展開される事件は中村氏の得意の筆に描かれて息をもつかせぬ面白さ。可憐な処女に襲ひかゝる魔の手は？

獅子王（家庭小説）渡辺霞亭
……瞬の結婚式の晩、花嫁は忽然姿をかくしてしまつた。事件は迷宮に入つて然し思はからずも上流家庭の恐るべき秘密が暴露した。見よ霞亭先生の大傑作！

◎傳奇小説 **酒中仙**（酒仙の脱……丈夫の貧乏地）……前田曙山

◎武勇小説 **剣難女難**（無体の恋慕に退ツ引ならぬ美人の運命！）……吉川英治

◎怪奇小説 **肉饅頭**（稀代の妖婦と無双の勇士が魔力くらべ）……伊藤銀月

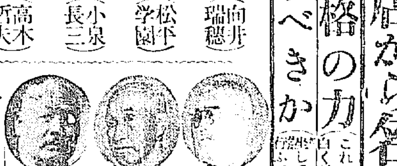
長篇熱血小説 **悲願千人斬**
……逆臣に謀られ罪なき身を居城の奥庭に切腹し果てんとした太郎君！
忽然現れた魔神天狗！　瀕死の武士を奪ひ去つて何処へか……戦国時代を背景に痛快悲壮な事件はこゝから展開される。血湧き肉躍る大物語。

創刊記念　大懸賞募集

新年特別讀物

◎**加藤虎之助**（少年時代の大手柄）向井瑞穂
◎**東郷平八郎**（日本男子の覚悟！）松平学園
◎**直江山城守**（智勇兼備の大将）小泉長三
◎**鬼将軍リー**（偉人の半面）高木哲夫
◎**天海と忠弥**（怪物と怪物の智慧くらべ）

◎通俗訓話 **富の力・智の力・人格の力**（これこそ万人必読の処世秘訣）農商務大臣 高橋是清
◎**如何にして希望を達すべきか**（出世の要決）……野間清治
自治の眞精神（キングを通じて全国民に贈る子爵の赤誠！）……子爵 後藤新平
脚下を照顧せよ（日常坐臥の心の持ち所）……曹洞宗管長 新井石禅
野田卯太郎傳（豆腐屋の伜から大臣にまで出世した立志物語）……風雲学人



◎**何時も若々しく快活に暮す**工夫
◎名士名流**結婚ローマンス**

口絵とグラフ

△麗に天下一品！一流大家執筆の名画オフセット版、原色版、写真版。
△苦心蒐集、或は外国から直接に輸入し、或は本社の写真班が百万奔走撮影する等多額の費用を投じた一大画帖。
△各種各様、面白い写真、珍しい写真、不思議、美談写真数十種……二十八頁。宛然社会の縮図……大パノラマを見る心地。

◎**英雄リンコルン**……外務参与官 永井柳太郎
……世の偉人リンコルンの生涯を詳しく述べた弁論界の驍将永井先生の大雄弁！

◎**不老長寿熱望者に**……医学博士 二木謙三
……誰でも出来る不老長寿の健康法を親切に詳しく述べられた博士苦心研究の発表。

◎**名人達人決死の大試合**（竜攘虎搏熱血物語）
◎**軍神を泣かしめた孝子美談**（一読袂を絞る事実哀話）
◎**屋台店から名舗となる迄**（現代稀に見る成功美談）

△古今珍歌競べ△一ト口誌話
△キング笑話集△数字遊戯
△壇上縮尻話△一行知識
△弥次傑作集△主権者調べ
（海外見聞）**洋行みやげ**……坂崎教授
◎世界一づくし
◎政界名士似顔展覧会
◎千金一語 名士曰く集
◎**趣味の科学物語**
◎日常礼法絵物語
◎一寸した心掛けから意外の幸福
◎各方面キング総捲り
◎漫画ビルデング
名士の腕白時代
△各地方言競べ△小ばなし集
△家庭セクション△家庭心得歌
△マヽーと亭主△少年十訓
△紅茶の後……△少女十訓
△不破数右衛門△主婦十訓
人物掘り出し物語
◎大事件小事件（時事百態大パノラマ）
◎古今東西逸話の泉
◎丑年名士一人一評
◎十二家合作「春の光」

五千名当選
◎誰にも出来る面白い問題！◎一等賞金……◎賞品……五千名いづれも優秀賞品……奮つて御応募下さい！（詳細本号）

見よ！破天荒の四大附録

絶対無類の新案づくめ！眞に日本一！到る処大評判！

趣味実益 新案番附六十種
これは便利 家庭重宝
△新年……其他素敵に面白い番附正に一読千金！

人々よ醒めよ！祈れ！歌へ！
処世修養の大経典
至誠天に祈り地に訴ふる時、偽らず飾らず人間の眞骨頂を……日常必誦すべき名文句、祈禱歌の粋！

古今東西 金言・名句・修養訓
現代五十五名家選
一字血となり一句肉となる燦爛として光りを放つ千古の大教訓！朝々誦すべく日常服膺すべき金玉の文字！是ぞまことの活教訓！万人必読の大附録！

新東京名所巡り競争双六
新春娯楽の親玉！
美しい絵、新しい遊び方。居ながらにして新東京の見物が出来るといふ仕組。面白い〳〵始めたらやめられない素敵な双六！新春家庭団欒はこの附録から

◎今直ぐ近所の書店へ！（非常な評判！飛ぶ様に売れる早く買はぬと売切れる！）
——全國書店にあります——

◎定價金五拾錢（郵税参錢）　發行所 東京本郷 大日本雄辯會講談社　振替東京二三九〇番◎

六名起訴さる
家畜市場の懸…
爲替貯金受払状況

朝鮮を視察して（三）

東京山一合名會社長　杉野喜精（寄）

而して此の增收計劃の爲めに投資の資金を要するが、と云ふに約二億八千萬圓の資金を投じて約一千萬石の增收が得らるゝのであるが、之れで見ると今日の米價を基礎として年々約四億圓の生產を殖やし得る譯であつて、其の有利なること殆と疑ふべき餘地なく實際潮らかに嘗つて見て其の然る所以を知り得たのである

今假りに此計劃を內地のそれに比較して見ると朝鮮では二億八千萬圓で濟むが內地ではこれが約六億五千萬圓を要するのである其の原因の主なるものは朝鮮に比して勞銀の高價なるとであつて同じ金を出すならば能率の上がる方の仕事に投資する意味からして寧ろ朝鮮の農事改良に投ずる方が確實にして有利であると考へる。實例に就いて少しく述べて見ると朝鮮の水利組合の仕事であるが、現に出來上つて居るものは五十七個で事業費の總額は四千百萬圓に達して居る。而して四千百萬圓を負擔する土地の面積は七萬七千町步であつて、これを換算すると一段步當り五十三圓六十錢になつて居る。此の五十三圓六十錢と云ふ僅少の資本によつて今日まで天水を賴みとし、一六勝負でやつて居た耕作が安全を期せらるゝまでに變化し而して收穫の方はどうかと云ふと概略して土地によつて種々の等差はあるが、現に一石五斗以上の增收を示して居る

殊に本年はその邊を調べるのに好都合であつたのは旱魃の影響で水利組合から水の供給を受けた所と受けない所で著しい相違を見ることが出來た、で大體一石五斗と踏んでよいが假りに極く內端に見て收穫一石としても今の米價では約四十圓の收入となるが若し一石五斗と見れば六十圓となるが、僅か五十三圓の投下資本によつて年に四五十圓の差額を齎すと云ふ事は有利の事業と云はずして何んであらうか、これは水利組合から見たのであるが、地目變更開墾干拓は勿論更に能率が高い故に二億八千萬の投下資本によつて四億の增收を得るといふことは決して過大の見込ではなからうと思はれる

尤も水利組合の仕事の如きは極めて簡單で水のない所へ遠方から水を引きさへすればよい。よく技術的には六ヶ敷い點があるとしても事柄は甚だ簡單である。果して然らば此れまで日本の資本家は或る先見家を除き一般的に何故に朝鮮の農事の爲めに力を注がなかつたのであるか否かなかつたのであるかこれは畢竟一般に實際が足りなかつたから見なかつたのであるが要するに實際の事情を知り得なかつたからである。

而して此の利廻りは如何といふに概括して一割以上に廻ることは確である。朝鮮の土地は赭土で仕方がない樣にいふ者もあるが事實は決してさうでなく位置、氣候、地質とも內地に比し決して遜色はない現に內地では全國平均反當二石の收穫であるに比し朝鮮は九斗七升で則水田總面積百五十四萬町步で平年作千五百萬石となつて居る。水利の便あるものは其內一割十萬町步で他は天然を賴りに耕作をして居る。しかし又無肥料時代であるのだから部分的に耕作の改良せられた處を見ると三石の收穫も上げることは至難であるまい。現に鐵原地方は高原地帶で一見石河原の樣な土地であるが[illegible]耕作が立派に出來て其成部分には三石三斗一升の收穫を擧げて居る實例がある。況んや南朝鮮の如き從來よりの天然的良耕地を有する方面では其の收穫率は推して知るべきである。而も其土地の價額を見るに熟田にして反百五十圓乃至水利組合の出來たばかりの土地で反七八十圓、これから水利を起さうといふ土地で反二三十圓で小作は大抵叩き分けだが水利のある所は地主六分の小作四分となつて居るそれは地主が水利資金借入を負擔するからで大體を通じて地主の收益は一割には廻る。少し氣長に經營すれば二割にも三割にも廻るのである而已ならず朝鮮全體の富が進めば自然土地の價額の上るは當然である韓國時代の農產物は年產二億にも達しなかつたものが今では十二億にもなつて居る。將來之が增進して二十億ともなれば地價は今の二倍になるは經濟的理論の上から毫も疑ふ餘地はないと思はれる

社外船の切崩して　鮮米運賃低減實施

各線を通じ十圓方引下げ

山下汽船、朝鮮郵船、三井、大阪商船、社外船の切崩しに其步調を亂して居た朝鮮郵船間の鮮米運賃同盟は既報の通り一部移出業者側の運賃減額と相俟つて協定社側の腰を弱らしめ遂に日米協定社に於いては寄々之が對抗策につき協議を凝し遲くも明春早々までには折衷的なる六十五圓見當にまで低減すべき傾向にあつたが其後社外船側の切崩し運動は逐日增強され猛襲を開始したので流石の協定社側も妥へかね今回愈々各線を通じて十圓方を引下ぐることに決し即ち

	現運賃	改正運賃
釜山阪神間	六十圓	五十圓
仁川阪神間	七十圓	六十圓
群山阪神間	七十圓	六十圓
木浦阪神間	七十圓	六十圓
鎭南浦阪神間	七十五圓	六十五圓

に改正し明日實行する旨五日朝大阪商船より朝鮮郵船に左記運賃を電話り一般移出業者に夫れ〳〵通知する所あつたが元來鮮米移出盛期に際し一部海運業者が其利益を壟斷せんために締結協定せるものであるが當初此協定各社より除外された社外船側では昨年來[illegible]此の獨占的行爲に拘らず不滿を抱き折角切崩し策に出でた結果であるが其事情の如何に拘らず斯く運賃の低減を見ることは鮮內移出穀物商としては寧ろ望外の福音と見るべきである

對支貿易

最近二ヶ月の對支那貿易額は輸出三百九萬七千餘圓輸入は百九萬七千餘圓合計一千百四十一萬一千餘圓で之を前年同期に比すれば輸出に於ては增加二十一萬七千餘圓を計上せるも輸入に於て減少八十三萬六千餘圓に上つたので結局合計六十一萬九千餘圓の減退である更に輸出について其仕向地別を觀るに南滿洲及山東省は共に減少を告げたが關東州北滿洲直隸省及其他（上海を主とす）は增加を示した次に輸入の仕出地方別に於ては各地方共夥しく減退を示し就中山東直隸等が減退步合に於て比較的大なるを見た

殖銀低資融通出願

年內に實現せん

殖產銀行にては豫て有價證券取扱上京中其助に諒解を得たる大藏省預金部低利資金融通の件につき差當り金四百萬圓を前月下旬先づ總督府に出願したるが近く大藏省に出願年內に融通實現を期待して居る

預金協定實施は

明年一月より

京城組合銀行の新預金協定案に付いては四日午後委員會の席上案外銀行にも成案を示し多少修正の協議ありし事せしめたる上交換日中に組合銀行會議を開き決定する筈であるが右は明年一月より實行の豫定である

全鮮銀行商品擔保

鮮產品增輸移入品減

十一月中に於ける全鮮各銀行に於ける商品擔保は朝鮮產品一千五百五十三萬二千四百六十二圓輸移入品二百二十八萬三千九百六十四圓計一千七百八十一萬六千四百二十六圓であつて前月の鮮產品八百十二萬六千二百五十六圓輸移入品二百五十八萬五千五百四十圓計一千七十一萬[illegible]圓に比する時は鮮產品に於て七百四十萬六千二百六圓の增加を來し移入者に於て十七萬五千二百九十圓の減退にして總計に於ては差引七百二十三萬九百十六圓の增加を示し更に前年同月に比し減少を來して居るものは鮮產品では牛皮、綿布、明太魚、葉煙草、木材、輸移入品で米粟、砂糖、木材、綿絲、綿布、絹布類其他である

京取商議員會

京取商議員會は既報の如く四日午後四時一同會合を市場樓上に開催して川崎渡邊田中仲買委員長の二名を選し十名先づ會則の細目を協議決定會長に田中を互選し細則は追つて決定することとし建株變更に關しては

一、短期取引建株變更に關する件

右は東新、朝新、滿取を建株中より排除するに決定

二、長期取引建株變更に關する件

右は滿蒙毛織、釜山水產新、圖們鐵道、東亞煙新、滿取、大新を建株中より除斥する事に決定

三、長期取引に對し當分の間獎勵金交附の件

右は從來市場一株に付き五厘仲買人二錢五厘宛の積立金を廢止し手數料の三分の一を市場より仲買人に獎勵金として交附するに決定

四、建株以外の雜株臨時取引開始に關する件

右は手數料を極めて小額とし市場と仲買人と折半取得するものにて可決

而して以上決議事項の實行期に付いては天日社長の語る處に依れば豫め仲買人には諒解を得置きたれば只市場の都合により決定すべきものなるが月半よりするは支障あり又細則につき多少未定の點もあれば明年より實行する事となる見込なりと

鮮米移出殘量

各港の集散力

新米出廻期に入りて以來朝鮮各港よりの鮮米移出高は今日までに先づ五十萬石と豫想され本年度の總移出高三百萬石の約二割を輸送して居るが某業者の談によれば右殘額二百五十萬石を從來の率によつて各港に振り當てると先づ今後の移出能力は

釜山	七十萬石
群山	七十萬石
仁川	六十萬石
木浦	十萬石
鎭南浦	一萬石
元山	十萬石
馬山	十萬石

見當であるが今日迄の移出高中最も多く移出せるは仁川の三十萬石が最上位であると

麥粉商狀一服

二興工場燒失後の京城麥粉界は一時供給減に對する買當筋の買進みと相俟つて粉價の昂騰を誘引し目先五圓五十錢見當出現を豫想されたが次いで綠ダイヤ（內地粉）三馬印（上海粉）雲雀印（滿粉）の三巴戰を豫測してゐるが一方買當筋は御合に鈍調を告げ殊に燒失せる製粉工場にては手持原料を神戶某工場に委附して製品として移入し外米品の侵入を防ぐ方針を目論見つゝあるので思はしき賣行なく二興印工場燒失後半月を經過せる今日麥粉相場は綠ダイヤ五圓二十五錢乃至二十五錢雲雀五圓十五錢乃至二十錢所を唱へ吾人の豫想を裏切つてゐるが斯は主として購買力の減退と値頃の關係に依り目先別として年中は思はしき手合せもなく此の儘推移するものであらう

板硝子高見込

板硝子は一般建築期末の需要期に際して小口ながら弗々賣行きあるが在荷は久しく不振裡に在つて問屋筋の買控への結果滯物は減少し赤函十二圓見當黑函十二圓見當と高合であるも年內は既に餘日もなく大に需要としては殆んど年越しの狀態に在り從つて本年の相場として此の邊を往來し來春頃より弗々値上實行するであらう

殖銀大阪支店

明春設置實現

過般有價證券取扱の東上と共に當局の諒解を得た殖銀大阪支店設置は明春正式出願實現を見るであらう

安信配當五朱

安信會社は三日午後四時取役會を催し今期決算に關し協議する所あつたが結局配當は年五朱と內定し十九日午後二時定期總會を開催

商工聯合役員會

商工聯合會にては來る十一日午後四時より朝鮮ホテルに於いて役員會を開き小林會長就任後最初の顏合せとして新方針に就て協議すと

海外經濟電報（五日入電）

倫敦銀塊	三十二片十六分の十五	
米棉	三十錢安	
印棉	七十錢安	
英米爲替	四弗六十八仙八分の七	
スチール	一一七弗四分の一	二仙四分の一高
アナコンダ	四二弗八分の一	四分の一高
		一弗高

鮮銀帳尻（四日）

發行高	一〇四、七九四、〇
正貨準備	夫、三元、五五、六〇
保證準備	六三、一八六、四八、三

現株出來値（五日）

長期

銘柄	前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
京取 引寄	—	—	—	—
仁取 引寄	—	—	—	—
新同 引寄	三・六	—	—	—
鮮銀 引寄	七一・〇	—	—	—
同新 引寄	一七・五	—	—	—
殖銀 引寄	四七・五	—	—	—
同新 引寄	一二・〇	—	—	—
商銀 引寄	三四・二	—	—	—
新同一 引寄	九・九	—	—	—
新同二 引寄	三六・〇	—	—	—
商銀 引寄	六・五	—	—	—
同新 引寄	—	—	—	—
殖銀 引寄	—	—	—	—
東拓 引寄	四二・〇	—	—	—

銘柄	前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
同新 引寄	—	—	—	—
鮮土 引寄	—	—	—	—
朝紡 引寄	—	—	—	—
瓦電 引寄	—	—	—	—
京電 引寄	一四・八	—	—	—
同新 引寄	—	—	—	—
電興 引寄	三・四	—	—	—
釜瓦 引寄	—	—	—	—
朝郵 引寄	—	—	—	—
鮮新 引寄	—	—	—	—
新同一 引寄	—	—	—	—
新同二 引寄	—	—	—	—
新同三 引寄	—	—	—	—
新同四 引寄	—	—	—	—
南門 引寄	—	—	—	—
京南 引寄	—	—	—	—
金剛 引寄	一八・〇	—	—	—
鐵道 引寄	—	—	—	—

短期

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前	二五・〇〇	二五・〇〇	—	—
京取 後	—	—	—	—
仁取 前	—	—	—	—
同新 前	三・六	—	三・五	—
同新 後	—	—	—	—
鮮新 前	—	—	—	—
鐵新 前	—	—	—	—
滿取 前	—	—	—	—
安取 前	一一・〇	—	—	—
大新 前	八五・六	八五・五	八五・九	八四・五
大新 後	八四・六	八四・五	八四・七	八四・四

銘柄	寄付
同新 引寄	—
東新 引寄	—
同新 引寄	—
朝新 引寄	—
電興 引寄	—
朝新 引寄	四・一

株式（五日）

稍々軟調　氣迷ひ模樣

▲前場下押　昨低落の氣先今朝は大阪大新八十五圓ドタから四圓八十錢引のヂリ安を入れ氣配ありしもマバラの買物に消化し京取も釣らず大新は田中筋より大口賣物ありし取は買方の見送りに從らず仁新は市川筋の買物に二圓六十錢を繰返し結局大新は四圓五十錢京取は五圓ドタ仁新は二圓六十錢安取は十一圓ドタと何れも軟調を呈し鮮新は三圓五十錢ヮリ二圓七十錢カイの氣配を示し大體不味の商狀作らドげ邊り模樣に大引（短期前日止値比較）

▲京取十錢安▲仁新二十錢安▲安取三十錢安▲大新四十錢安

後場保合　後場は大阪變らず双方見送り場面至極閑散を呈し仁新下押した外諸株保合のまゝ大引した（短期前場止値比較）

▲京取保合▲仁新五十錢安▲大新十錢安

出來高

▲長期		一〇〇枚
	累計	二三〇〇枚
▲短期		二、五〇〇枚
	累計	一四、一一〇枚

長期戰に入る

結局大新次第か

京取は大新の反落步調と共に一と先づ落付模樣となつたが今朝も買方依然見送りの態度を持し二十五圓ドタの寄止めを告げたのみで頗る不氣乘の商情を呈したが場面の模樣から見て賣派は兎角目先的に安値を付けたがる風があつたが去りとて此際突込まんとの振合はなく賣方の手控へから自然見送るの態度なき姿であつた從つて此鼻とても大新に變化のない限り双方の見送り來を續けるの外なきものと見られて居る併し斯く長期戰に入り而かも腰入深きに拘はらず代引のまゝに置くことは尠なからず買方の玉は其豫定の數量に達せず玉取り關係から本日步のまゝに放置せるもので高値は見送るが恰好の安値に落ちれば尙三千乃至五千位ひは買進む方針であると傳へられて居る果して買方の方針が前記の如くであり賣派が安値賣りを警戒して居ると稱されて居る以上此鼻乘り出すとしては京取は相當長期に亙るとの覺悟を要する豫期の如く財界が陽轉するか否かは別問題として目先的には何等の材料なく一つに大新を標準とせる關係から京取今後の成行は結局大新相場の如何に依るものであらうと見られて居る

押目か反落か

大新氣迷模樣

大新は昨低落の氣先今朝も大阪ヂリ安を入れ氣配は大體變らなかつたが頃來徐々利喰をなしつゝあつた田中筋が今朝俄然態度を一變して約六百枚近く賣り越しを爲し市人の注意を惹いたが右賣り物は小口の手詰めとマバラ新規買に消化し結局四十錢安の八十五圓五十錢と止め賣買共田中筋以外には目立つたものもなく人氣は聊か氣迷模樣に見受けられた併し頃日來軟調を呈しつゝある割合には下落の步調は緩漫で人氣程には下げ盛り安値には弗々乍ら小口の買物を見つゝあるので現は押目を作つて居るものであるか或は反動安の場面に推移せんとするものであるかに付いて可成氣迷ひつゝある模樣であるが漸次反落の原因が主として仕入關係に因り格別の惡材料が湧出した譯ではないので結局頃來能く買付いたマバラの買玉整理の爲めではないかとも見られ尙一段の安値を見越させて居るが大體財界四圍の事情から見て新春相場の準備的底堅めを爲しつゝあるのではないかと解するもの多く强氣は好個の押目を作りつゝあるものと見て居る樣である

仁新機づむ

仁新は昨强調を呈した氣先今朝三十二圓六十錢と寄り付跡市川筋旺んに買進んだが此邊賣物多く之れに應せられて結局三十二圓五六十錢處を繰り返しに止まり値は伸びなかつた、殊に三十二圓六十錢處には尙相當賣り物あるらしく買方が能く之れを消化して買進むか否かは聊か疑問とされて居たが後場は二圓ドタと低落した

仁川米豆取引所仲買人　〇ウ　仲買店　電話　六三一五番

安取下押す

安取今期の配當は略五朱見當に傳へられ二三日中重役會に於て決定する筈であると云ふが今朝の安東は先物十一圓ドタと小安く當市場も十一圓十錢と下押しして一圓處には倚賣物潛在せる模樣であつた

大新日步七十錢

頃日來漸增しつゝあつた大新代引は賣派大阪寄付の分網々到着提供され今前場現在の代引三千三百十枚に激增し日步七十錢に增額した右代引は相場が案外强調を呈した下擲を打つて居る關係から當分續くらしい模樣である

短期喰合尻

▲大新取組高一、三一〇

田中	一、一五〇
成渭	二〇
新田	七八〇
南	三〇〇
白渠	三〇〇
外	二店
有田	六六五
白井	六七〇
金能	二九〇
孝福	二五〇
定渦	一六〇
市川	一〇〇
外	四七店

▲仁新取組高一、九六〇

田中	四八〇
成渭	一二〇
新田	一二〇
南	四八〇
外	一店
白井	二九〇
市川	一四〇
外	四店

算定と日步

▲五日　算定代引日步

銘柄	算定	枚	代引日步
京取	二五・〇〇	八三〇	一
仁取	三・〇〇	（不）一〇（逆）	一
仁新	三・〇〇	六五〇	一五
朝新	七・〇〇	三七〇	五
鮮新	一・〇〇	（不）五〇（逆）	一〇
安取	一・〇〇	一二〇	五
鐵新	一〇・〇〇	（不）四〇（逆）	五〇
大新	八四・〇〇	三三五〇	七〇

東京現株

▲五日

銘柄	値	銘柄	値
鮮銀	七〇・三〇	同新	一六・四〇
臺銀	四七・六〇	同新	一一・四〇
滿鐵	一〇八・八〇	同新	三二・九〇
東拓	四〇・一〇	同新	一九・一〇
富士紡	六八・三〇	日石	八一・五〇
朝紡	……	鐘毛	二一・五〇
東株	一二〇〇・〇	東新	一〇一・四〇
五分利公債	八七・五五	速取	一五・七〇

大阪長期取引

▲五日　前場

銘柄	寄付	大引
大株	一〇二・一〇	一〇一・五〇
同新	八七・五〇	八六・七〇
郵船	八二・二〇	……
同新	……	……
商船	四〇・八〇	……
同新	……	……
鐘紡	二三六・五〇	二三五・二〇
同新	一〇三・一〇	一〇二・五〇
東新	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]

▲五日　後場

銘柄	寄付	大引
大株	一〇一・五〇	一〇一・二〇
同新	八六・九〇	八六・八〇
郵船	八二・三〇	……
同新	……	……
商船	四〇・八〇	四〇・七〇
同新	……	……
鐘紡	二三六・〇〇	二三六・〇〇
同新	一〇二・四〇	一〇二・六〇
東新	一三一・〇〇	一三一・〇〇
日魯	一〇九・七〇	一〇九・一〇

大阪短期取引

▲五日前場

銘柄	寄付	大引
大株	八五・〇〇	八四・八〇
大新	一〇三・一〇	一〇三・一〇

▲五日後場

銘柄	寄付	大引
大株	八五・〇〇	八四・四〇
大新	一〇三・八〇	一〇三・三〇

安東株式

	寄付	大引
▲四日後場 安取 當	一二・〇〇	一二・〇〇
安取 先	……	……
▲五日前場 安取 當	……	……
安取 先	一一・一〇	一一・二〇

鎭平銀

	寄付	大引
▲四日後場 當限	一・九九七	一・九九九
先限	一・九八五	一・九八六
▲五日前場 當限	一・九九四	一・九九五
先限	一・九八一	一・九八一

仁川期米

米況（五日）

前場落付く

前日引際の模樣といひ大阪前寄三十九圓五十二錢と十三丁安の移りと云ひ劣一段の不勢を思はしめたが何分買方㊈の腰入れが深い丈けに其等も存外感じ鈍く當三十四圓五十錢中四圓四十五錢先七十錢と堅き持合ひに始め大阪跡六十錢に戻り買方の手控へと俟つて六十九錢み八十錢と締り戻りは㊉盟より買進み六十錢止めを入れ引直り思ひの買物に當三十五錢中五十錢先八十八錢と强調に大引

後場小競り合

大阪後寄三十九圓六十一錢と十錢安を入れ中三十四圓四十錢先八十錢と八丁安に寄付大阪跡六十錢高の持合ひ移りに中三十五錢を安値に四十六錢より四十二錢先七十九錢より八十一錢の間に小競り合ひ結局七十九錢と釘付狀態に大引

賣方腰を入る

丸々の腰入れ買に對して賣向ひ居るは㊉であるが其の他㊈を中心の手口も前日來見克く當進み其の建玉小一萬石に達したが㊉の賣玉は主として自己にて渡米は手當米準備に着手せる模樣にて㊉も又た相當腰入れの深い手口なるやに傳へられて居る

賣拔けを案ず

阪地當中の兩限は㊉五萬石からの大取組であるが之に對する賣派㊉力が如何なる苦肉の策を講ずるかは今後の問題で傳ふる所に依ると山田筋は群山釜山に於て現物及延べを約六萬石を買附け居れりとの事であるが山田と步調を一にして居る株式筋の賣玉十萬石は全部空賣りと見做され賣方の態度如何は賣方の崩れ上げは免れないとも云はれて居る一面買方側は成可受米を避けむとして先限へ乘替を急ぎ居る模樣なれば十一月限と同樣結局解け合ひ內に終るであらうとも云はれて居る何れにせよ今少し經過を見んと何んとも云へないが買方が之れ迄で意地づくで受けたる占米を賣拔けるには此の二限が絕好の月であるから賣拔け策を講じやせまいかと懸念せる向もあつた

各店の俵合せ

	賣方	買方
當限 金益	一二〇〇	㊄ 一二〇〇
㊃	八〇〇	㊃ 一〇〇〇
㊆	三〇〇	五〇〇
丸玉	一〇〇〇	
中限 ㊉	三九〇〇	㊉ 一〇〇〇
㊀	三〇〇〇	㊅ 二〇〇〇
丸米	一六〇〇	㊈ 三〇〇〇
丸平	七〇〇〇	丸米 二〇〇〇
丸夕	二〇〇〇	
㊃	一〇〇〇	
金益	一〇〇〇	
先限 ㊉	一三六〇〇	㊉ 一三五〇〇

米界餘聞

米其物の材料切に替り今度は株式が高いと云ふてはピンと跳ね綿絲が安いと聞いてはドカと拙け思はぬ波紋を描く樣になつた丈け其れが面白さに又たどんな石が投ぜられる事やら▲束に角銀樽の杵は上げたらドろされるもの下げたら上げるものに決つて居るがそこに勢と機みをつけるのは臼取りの手加減だ隨分勘氣をつけて行るが好からう▲阪地では賣方㊉力の山田が當中で五萬石株式筋が十萬石岡半が二萬石之れが分悲觀されかけて居ると云ふ▲散派の賴みとする鮮米が近地以上にピンとつく樣な事では悲觀されるのも道理である▲若し豫定の手當米が集らぬとなつたら各自の持玉が木ッ葉微塵に吹飛ばされる事にならうも分らないと他人の痂瘡を頭痛に病んで居る跡人もある

期米

	當限	中限	先限
▲五日前場 ㊀	三四・五〇	三四・四五	三四・七〇
㊁	三四・五〇	三四・四五	三四・七五
㊂	三四・五五	三四・五〇	三四・八〇
㊃	三四・五五	三四・四八	三四・八〇
㊄	三四・五〇	三四・四二	三四・七九
㊅	三四・五〇	三四・四二	三四・七一
▲五日後場 ㊀	三四・五〇	三四・三八	三四・八〇
㊁	三四・五〇	三四・四〇	三四・八〇
㊂	三四・五〇	三四・四五	三四・八〇
㊃	三四・四五	三四・三五	三四・七九
㊄	三四・四二	三四・四六	三四・八一
㊅	三四・四二	三四・四二	三四・七九

取組高	八萬三千二百石
出來高	二萬二千六百石
累計	三八萬三千九百石

群山方面の正米

米仁中の群山某の語る處によると同方面は產地よりの出廻り捗なく地廻り米は滿潮每に一萬叺以上の着荷ありしもの最近四千叺內外に減じ其の上東拓が作得米の不良と減收に買將への意味を以つて同地榮氣の手を經て籾を買入れつゝある關係上精米筋は原料買付至難に陷つて居ると更に山田の買附米物は某商人との間に約二萬石の商談成立し其內一萬石は當地丸マに轉賣の約が成立した樣で更に角俵山奧地は凶作の爲め新米期の出廻も既に一巡を謂はれ人氣は頗る强硬である

受渡表彰決定

京取引所では從來取引獎勵の意味にて一ヶ年最高取引仲買に對し一等より三等迄の表彰を行ひ來りしが今回更に受渡しを獎勵すべく一ヶ年を通じ受渡し最も多き仲買に對し一等より三等迄表彰すべく重役會の協議により本年度より之れを實行する事に決した

京城正米　鼓一寸初著途切れの觀あるも多少在荷需みの模樣にて小口賣物絕へず尤も荷主は安値に應ぜざる爲め精米筋も高値不引合ひより買見送りの體にて三等合格三十五圓九十錢四等三十三圓四十錢地搗玄米三十三圓舗みの持合ひ唱へである

仁川正米　丸キ角チ四等三十五圓四十錢南市四等三十四圓四十錢省北三十三圓五十錢信川三十四圓二十錢龍尾三十五圓二十錢赧神力十錢七分在來種十錢六厘大豆龍山二十四圓四十錢長端二十圓二十錢白川十九圓九十錢見當なるが賣物と買人の見送りに小口取引のみである

釜山正米　現物神力三十六圓八十錢大豆十九圓九十錢一月中限三十五圓七十五錢より八十二錢一月末限三十五圓七十五錢より八十錢

大邱正米　現物改良都三十六圓二十錢神力三十五圓五十錢一番一月末限三十五圓三十五錢より四十二錢▲二番一月中限三十五圓四十錢▲三番一月末限三十五圓四十五錢より四十二錢より三十五錢▲四番一月中限三十五圓四十錢一月末限三十五圓四十五錢より四十七錢出來高一萬八十石

鎭南浦正米　十二月末限三十四圓七十錢一月中限三十五圓五十錢一月末限三十五圓八十錢出來高七十石

江景正米　四日夕場十六圓六十錢より五十五錢十二月末限三十五圓六十五錢一月末三十六圓七十五錢五日前場十二月末限三十六圓十錢より一月末限三十六圓七十五錢

仁川期米　福

	前場	後場
▲五日 東京 一節	四一・二五	四一・二五
二節	一・〇〇	一・二二
三節	一・〇〇	一・一四
四節	一・〇〇	一・〇八
五節	一・〇〇	一・〇五
六節	一・三一	一・〇〇
七節	一・二三	一・〇五
八節	一・一七	一・四〇

	先限	後場
▲五日前場 大阪 寄付	三八・七二	三八・六三
寄め	三八・六三	三八・五七
止め	三九・〇六	三九・〇九
中寄	三九・〇九	三九・一〇
止め	三九・五二	三九・六一
一節	三九・六〇	三九・六〇
二節	三九・六二	三九・六四
三節	三九・六六	三九・六四
四節	三九・六三	三九・六四
五節	三九・六〇	三九・六四
六節	三九・五二	三九・六九
七節	三九・五三	……
八節	三九・六六	……
九節	三九・六一	……
十節	三九・七二	……

	前場	後場
▲五日 神戶 寄付	三八・八八	三八・八三
止め	三八・九〇	三九・七九
▲五日 下關 寄付	三八・七〇	三八・六四
止め	三八・七一	……
▲五日 桑名 寄付	三九・九〇	三九・八九
止め	三九・八〇	三九・八三

▲五日 大阪三品	前場寄付	前場大引
十二月限	三七一・五〇	三七五・〇〇
一月限	三六四・〇〇	三六四・二〇
二月限	三五六・九〇	三五九・九〇
三月限	三五五・九〇	三四六・三〇
四月限	三三九・一〇	三三八・四〇
五月限	三三四・八〇	三三八・〇〇

▲五日	後場寄付	後場大引
十一月限	三七六・九〇	三七四・九〇
十二月限	三六七・一〇	三六八・一〇
一月限	三四八・六〇	三四九・五〇
二月限	三四二・二〇	三四二・二〇
三月限	三三七・六〇	三三九・一〇
四月限	三三五・〇〇	三三六・二〇

津の國屋小染（二十七）

小金井蘆洲

けれども自分が悟つたからと云つて決しておくびにも出す譯はございません、當分といふものは三人五人寄ると此の噂で持切りでありましたが、斯んな事は自分の身に掛つたことでありませんから、人の噂も七十五日、いつか噂も立消えになつてしまひました、原兵右衛門は口を拭つて布屋吉兵衛方へ相變らず遊びに來て、それとなく源次郎に逢つて萬端の打合も出來て、四月の中旬になると、成田山へ參詣をバタ〱と仕舞つて、ドロンと姿を消してなくなりました、態と近所へ買ひ掛りなどを拵へて逃げたのは、苦しくつて世帶を張切れないといふ風を見せるために態事には拔け目のない奴でございます、布屋吉兵衛が　吉『アヽ、

世話甲斐のないものだ、鶴原大助と云ふ奴はア、云ふ死方をするし原兵右衛門と云ふ奴は嫌にベタ〱お世辭を使ふ奴だと思つたら涇脆に買掛りを殘して何處へ行いたか夜逃げをして仕舞ふ、モウ人の世話はしない』と獨りでつぶやいて居りました、スルとそれから十日ばかり立つと源次郎が改めて布屋吉兵衛の前へ出て　源『意外に長く御厄介に相成つたがモウすつぱり快復をいたしましたから出立をする』斯う云つて玆を出立をした、其前におあさには嚴しく言ひ含めてある、何れ江戶表に出で改めて人を遣はすから……堅く約束して、御聽い物を取交はせをしてあるんだから、姑に網上を立つて雕路用澤の米澤の城下本町一丁目笹屋仁兵衛方を志して參りました、前回にも一寸申上ましたが、今では笹屋は米澤で一二と云はれて居る立派な旅館だが、仁兵衛と云ふ男はテキ屋上りで諸國を放浪して步いて酸いも甘いも何でも心得て居る强か者だ、其放浪中に原兵右衛門と深い交りを結んである、此處へ平右衛門が源込んで來て源次郎のことを物語り、萬々を相談した、よいことなら遠巡りもするだらうが、惡いことや金儲けの事に掛けたら五分も跡に退つたことがない、仁『ウムーン、好いとも、然んなことは譯はねえ、のう、踏り癖くつてならねえから、來てもしたんだが、其の寒見をした人間が立派な侍になつて、それまで偉い職業にまで上達をした、この上もねえ譯のねえことだ、おまけに親父が何十萬といふ身上なら苦勞はありやアしえ、阿彌陀も金で光る世の中とは古い文句だが、何だつて世の中のことは金だ、萬々何か次第になつてお前が江戶へ連れてつて、然うして其處で源次郎と云ふ人に出世をさせりやア好いのだらう』甚『サア、僕もさう思つて兎に角相談相手になつて貰はうと思つて來たんだ、何うか何分ともにお賴み申ます』仁『委細承知をした』種々打合せて居る處へ源次郎が飛込んで參りました、一夜泊りに宿いた浪い容色の好い武士、座敷へ通つてから茶代祝儀をたつぷりくれた上で　源『アヽ鳥渡尋ねるが若しか當家に甚打で原兵右衛門といふ者が泊つて居らんか　女『ハイ……』兼ねて主人にも吩咐つて居るか　女『ハア、お見えになつて入らつしやいます、只今左樣申し上げますから　源『アヽ左樣か、鳥渡面會をいたしたい』女『畏まりました』下へ女中が飛んで行つてこれは日世のお客ぢやない、主人の內容の方ですから今仁兵衛と酒を飲んで居る　女『あの旦那、若い好い男のお武士樣が貴方にお目に掛りたいと云つて入らつしやいます今奧座敷へ二分、女中に一分茶代を呉れたお客か　仁『來たな、甚右衛門『御料理』

江戶趣味　蒲燒　川長

寫眞は　旭町一河野へ

ストーブ　燒失並用百個限　實費提供
研究的當座付一組四圓ストーブだけ二圓（地方送料一圓）京城貞金町三の二九一　根岸工場

青柳會川柳會報（寄）

題『醫者』

醫者の子の病は外の醫者に掛け　夢遊坊
診斷を受けて新妻赤くなり　土龍坊
美味中の美味は醫者も喰ふ　千柴
[illegible]女醫者手を握り　竹の家
醫者の子の子供眼鏡かけ　金甘坊
三味線の撥は醫者の流行り　土龍坊
目を醫してる姉醫者　千柴
醫者だと一寸に出れば　竹の根
蕃遊びお白粉の顏へ寄り　菓花島
磯室で三味ひく醫者に粹れ　息落坊
醫者の子でも[illegible]　金甘坊

題『算盤』

算盤の珠ぢや解決つかぬ戀　千柴
算盤は辛いが男は甘い後家　同
算盤を捲つて息子又遊び　士龍坊
算盤を有る事に見て保險　金甘坊

日本自動車學生募集　各地自動車界の近況は驚異に値し東京に於ては既に一萬臺を突破し加ふるに東京市電氣局は交通整理として此際乘合自動車を一層擴張せむとし鐵道省は自動車を各地に利用せんとの計畫あり前途頗る多忙なる時東京蒲田驛前の公認日本自動車學校及其姉妹校たる民間三等飛行機操縱士校長協會で最優勝し帝國飛行學校の卒業生も在學中であるから甲種運轉士技術者又は飛行家志望の人は先づハガキにて申込み自動車飛行機案內の規則書八十頁の無代配付を受け熟讀し必ず參加見學すべきである

將棋新手合（九）

於釜山幸町二丁目　釜山棋友俱樂部

香落△七段早川　挨敬（京都）
▲四段岡本　數一（釜山）

圖は前號指了迄の局面

▲持駒　岡本氏　步

三十四手　早川　時刻▽

△八四步▲五步△二六角▲六二金△同角▲七二桂ナル△二六角▲一七銀△同角▲同桂△八三銀▲九四步△七二銀▲九三步ナル△同桂▲九四步▲九八步▲九三步ナル△同玉▲九八香（以下次號）

十二月七日

（舊十一月十二日）

▲四綠▲暗劍殿巳
▲庚午▲佛滅▲成▲壁宿

▼四綠▲表面は運氣大なるごとくなれば迷ひ多き日坤と北と吉

▼五黃▲努して徒步き日他人の世話事は失敗に終る北と艮と西が吉

▼六白▲肉親の間柄にも爭ひを生じ易い日が安全南と艮と西が吉

▼七赤▲外に出ると禍もすれば起る日凶南內は利南と東と西が吉

▼八白▲足下の見えぬ事がある釣合するが宜い東と西が吉

▼九紫▲目頭の誦ひ事は大抵成就する日大に進んで吉內と巽が吉

▼一白▲勇氣に充ち障碍に勝る日すべて大吉待人來る西と西が吉

▼二黑▲邪道に踏み入易く而も散財の日大取引見合せ北と南が吉

▼三碧▲氣運づく日目上の援助を得けて出世の端緖を得坤北が吉

京城日報

論說一覽 （各新聞より抄錄）

上院改革如何

貴族院改革のことたる、大勢の已む可らざる所である上に、三派護憲運動に際して、之をその大眼目としたるに止らず、加藤首相は、其施政演說に於て、貴族院改革を行ふの意あることを明言し、之に賛同する旨を聲明したるに依りて、愈々改革問題は、護憲三派の政綱たる選擧法改正及び行政財政の整理緊縮と共に、現內閣及び與黨三派の最重要なる政綱として、天下に公約したるものと認めらるゝ所である。然るに憲政會關東大會の宣言と言ひ、その所管委員會に亙るに拘らず、貴族院改革のことに關しては、一言の及ぶもの無きは、自から誤解を免れざるものとして、我輩の甚だ遺憾とする所である（時事）

三派拘束さる

今春以來の我國の實際政情は、貴族院の頑冥を抑止するの根本手術が、眼醒めたる民論の支持に依て容易に行はるゝ迄に漕ぎつけてゐるのである。然るに衆議院既に民衆と行動するも、貴族院內閣の首班たる加藤子が、此の民意を察して、衆と俱に行動するを欲せずと言ふならば、民衆實現の府たる衆議院は先づ、貴族院改革斷行の前に、加藤內閣と闘つて、之を平內の事業とするに何等の躊躇を要せぬ。第四十九議會最終日の建議案は、今日も明日も明かに衆議院、就中三派を拘束し居ることを國民は忘れてゐない（國民）

綿糸關稅問題

綿糸關稅を永久に撤廢すべしとの說が今や斯界の一問題となりつゝある。撤廢論者の主張する所は、紡績業は最早何等關稅の保護を要しない迄に發達した。之れはその利益配當率が斷然他の事業に頭角を拔いてゐること[illegible]から見ても明かで[illegible]上今後は原料綿[illegible]の輸出を主とす[illegible]綿糸を原料とする[illegible]の爲め、內地[illegible]何によつて自由に[illegible]需用し得る途を開くべしと云ふにある。要するに撤廢反對論者の議論には幾多の矛盾がある。吾等は當業者が徒に現狀維持に囚はるゝことなく、大所高所より我國產業の將來を達觀して、先づ太糸の關稅撤廢から始めて、次第に中糸及び細糸に及ぶの方針を以て、その事業の改良に努力せんことを望んで已まぬ（大每）

暖房裝置の衛生的知識（二）

醫學博士 高野六郎

然らば室內の温度を保持するには如何。先づそれには室內に人工的熱源を設せしめる必要がある。熱源としてはいろ／＼あるであらう。極普通一般のところでは炭を焚くとか、薪を燃やすとか、瓦斯暖爐、石炭暖爐、石油暖爐、電氣暖爐などがある。即ちこれらの熱源に依つて、一方、熱を起して室內を暖める傍ら、戶外の寒氣の侵入を防ぐやうにする。

◇戶外の寒氣は室內の熱を奪つて行くものである。熱の喪失が甚しければ如何に大量の熱を發生させても追つかない。開け放した大伽藍の中で焚火をしても建物の暖まる理由が無いやうに、温かい家を造るためには、先づ以て家屋の保温裝置を適當にしなければならない。トタンのやうな熱を傳導することの速い金屬類で屋根や壁を造つたり、又隙間風の絕えず拔けに通るやうな家屋の構造は、この意味で適當でない。

◇概して云へば、日本の家屋は夏向きに造られてゐるので、夜分は雨戶を締めるとしても、晝間は障子一枚で寒い外氣と接觸するのである。しかも障子の配置は極めて廣大である。その他床板も、壁も、天井も、熱も相當に空氣の流通を助けてゐる。大體に於て、日本家屋の構造は開放式であつて、換氣法は適當であるが、保温法の點では不適當である。

◇從つて、この保温裝置の不完全な日本家屋を充分に暖めやうとすれば、澤山の燃料が要り、不經濟たるを免れない。日本式の家屋の構造では、室內を充分溫めれば、シヤツ一枚で仕事が出來ると云ふ程になるまでは非常に困難である。それ故、なるべく限定した場所を温めて間に合せやうとするので、その點の工夫はかなり發達してゐる。

◇爐燵の如きは最も經濟的な暖房法で、身體を蒲團で包んでゐる爲、寒氣が防められるので、非常に澤山の熱量を蓄込んだ球成に暖かい。たゞ危險なことは手足の先までは温かくならないことゝ、櫓中で發生した不潔な空氣が腰部を包んで上昇し鼻口に入る缺點がある。働くに不便のないやうな機關であれば、衣服の經濟であり、燃料の經濟であるが、どうも大體に於て、閑人の玩具のやうな氣がして、衛生的には適當しない。

屑屋の籠

殿汀生

ミレーの名畫（四）

貧乏なるミレーが、家族を伴れてバービゾンに入つた時の行裝といつたら、實に珍奇な異樣のものであつた。本道だけは、どうにか荷馬車を雇うて旅行したが、それから後は、彼が二人の小さな娘を肩に乘せて前にてくつて歩くと、妻は赤ん坊を抱いて其の後に隨ひ、さうして一人の召使が食用品を籠に入れて殿したとのことである。彼が其の畫材を、佛國の農民に見出したのは、これからであつた。農民が田畑に働いて居たのは、數百年の昔からであるが、未だ曾て何人もこゝに氣附かなかつたのである。彼は農民の辛抱づよく働く狀を描いたり、耕したり、束ねたりするのを描いて、農民の大きな立派な形體や、其の結節だらけの能く働く手や、最も强い力を表現した。

ミレーが『晩告げの鐘』を描いたのは、矢張其貧乏時代で、買値は凡そ二百圓餘であつたさうだが、其後轉々所有者が變つて、約二十年前には二十萬圓にて賣買された。此の畫は普通に『ミレーの晩鐘』として知られ、農民夫婦が畑に出でゝ、共に耕出して稼いで居ると、日暮の祈禱を報ずる遠寺の鐘が、淋しく濁たる夕の空に鳴り渡つたので、夫婦は野良仕事を止めて、敬虔なる默禱に一心を籠め居る狀である。場はシェーリーといふ村に在る。此夫婦が遙かに鐘の響に聞き入る。夫が熊手のやうなフォークにて、土を除けては馬鈴薯を掘ると、それを妻が籠に入れて居たところ、鐘の響を聞いて、夫はフォークを落し、帽子をも被らないで立つたまゝ、妻はまた其手を前に組んで恭しく合掌して居るのである。ミレーは、幾度も幾度も此の繪に手を入れた、さうして畫が初めゆるやうになるまでもと、言つて非常に骨を折つたのださうだ。

半島・文界

△朝鮮農會報（十一月）三十五錢 京城黃金町二ノ一九五朝鮮農會

△朝鮮佛教（十一月）十錢京城若谷川町一七朝鮮佛教社

△パカチ（十一月）二十五錢京城本町四ノ一〇三パカチ社

△教育參考資料（第三輯）昨夏總督府主催の金剛山講習會に於て桑木嚴翼博士が『現代哲學思潮』に就て講演したものを當時の記念にもがなと茲に刊行されたものである（朝鮮總督府學務局內朝鮮教育會）

△教育參考資料（第四輯）中等學校に於る各學科教授法要綱に就き高橋總督府視學官が執筆されたもので歐米學事視察の結果彼と我とを比較し中等程度以上の學校に於ける各科目の教授要綱を區分詳細に論議された極めて有益なものである（朝鮮總督府學務局內朝鮮教育會）

△朝鮮遞信協會雜誌（十一月）五十錢京城光化門通遞信局內朝鮮遞信協會

△朝鮮鐵道協會雜誌（十一月）五十錢京城龍山鐵道局內朝鮮鐵道協會

△滿鮮之醫界（十一月）榮養の測定（佐藤剛藏博士）萬國同盟衛生血（滿鐵引朝光博士）ヴイタミンA缺乏症と腸器硬化に就て（片岡八束）其他（一ケ年三圓京城本町二ノ七一滿鮮之醫界社）

△朝鮮及滿洲（十二月）卷頭釋尾社長の『平非教育批判講演を聽く』は身惜かも現地にある如く批判決も又見逃す事が出來ない其の他渡邊默日子氏の『疲勞せる歐洲を覩て』更田教授の『鮮人青年授職の急務』等の外內外の重要記事全誌に溢る（六十錢京城長谷川町九七朝鮮及滿洲社）

△同民（第六號）二十錢京城若草町三五同民會

△朝鮮土木建築協會第七回秋季總會講演集。非賣品京城旭町一ノ六三朝鮮土木建築協會

△東亞法政新聞（十一月十五日）月二回一部二十錢京城貞洞一東亞法政新聞社

△金泉商工會報（第三號）十二錢金泉本町金泉商工會

△朝鮮教育時報（十一月）十錢朝鮮總督府學務局內朝鮮教育會

隊商 旅物語（33）

ファトメの救助（A）

昇太郎

私には弟と妹がありました。弟をムスタファと言ひ、妹をファトメと申しましたが、二人共同じ位の年格好で互に二つとは違はない歳でした。然も二人とも心の底から仲よしで、何時も一緒になつては病身な父の世話を能くしてゐました。此のファトメが十七の誕生を迎へた日、弟は仲よしの妹のために盛んなお祝ひを催しました。そして妹の友人を大勢招待して、庭には御馳走を出すやうに用意して待遇ましたが、夕方になつて御馳走にも倦きた頃には、誰から發議してあつた小船を綺麗に飾つてそれに一同を乘せ、美しい海の中へ漕出しました。ファトメも友達も大そうこれを喜びました。丁度其日は空も晴渡つて、殊に眞紅な夕日を受けた町の影が波に搖らめく景色は繪のやうでした。あまりの面白さに娘達は弟を勸めて沖へ／＼と漕いで行きました。然し弟は二三日前にも、海賊の船を見たりしたので沖へ出るのをあまり好みませんでした。此の時からそんなに遠くない所に一つの岬が海の中へ突き出して居ります。娘達はそこへ行つて海の中へ沈む太陽を見やうと言ふのです。處が船が此の岬の側を通らうとした時、すぐ眼の前へ一隻の小船が現れました。それには武器を持つた人が一杯乘つてゐましたので、弟は氣味惡く思つてすぐ陸の方へ引返すやう船頭に言ひ付けました。實際又弟の心配はあたつたのです。小船は有る丈の力で漕ぎまつしぐらに弟の船を追掛け、やがて船と陸との道を塞いでしまいました。此の娘達は大へんでした。船の上を走り廻つたり跳び上つたりして泣き叫び、いくらムスタファが靜かにするやうに言つても何の役にもたちません。驚く暇も無く船は大波に揺られたやうになりました。海賊の船が無暗に流寄り、皆が船の艫に一團になつた時、とう／＼船は海賊に捕つてしまひました。此の有樣を見た陸の人々は海賊を恐れてゐた折でもあるので、小船をあやしいものと思つて直樣澤山の船を出して救ひに來ました。然しそれもやつと沈んだ海賊が上るのに間に合つただけで、海賊の船は此處に紛れてもう何處かへ姿を隱してしまひました。助け船の方でも一人も濟れなく救ひ上げたかどうかよく解りませんでしたので、方々から寄合つて調べて見ますと、悲しい事に妹と友達の一人が見當りません。その代り誰も知らない男が一人船の中に居ました。ムスタファが此の男を脅かし附けて白狀させました。これは一週間ばかり前から碇泊してゐる海賊船の者であつて、仲間が捕へて逃げる際遅れて行つてしまつたのでした。そして又、二人の娘が船の中に居るのを見たとも申しました。

年老つた父の悲しみは例へやうもない程でした。ムスタファとて生きた心地もありません。自分の愛する妹を失つたばかりでなく、この災難の罪はすつかり自分で負はなければならなかつたからです。殊にファトメと共に災難に會つた娘は、父にこそまだ許しを得ないが、娘の兩親には許された許婚であつたのです。父は嚴格な人でした。それで悲しみも少しおさまつた時、ムスタファを呼び出して申し渡しました。

新たに發明された 整色寫眞乾板用色素

理化學研究所 鈴木庸生

この色素の使用法は先づ蒸溜水二五〇瓦の中にエリスロシンP〇、五瓦をまぜ、その結晶が全部溶解して透明な溶液となるまで振盪して原液を造る。この原液は赤色瓶に移して置くと長期間の保存に堪へる。次ぎにこの原液二〇瓦と蒸溜水一〇〇〇瓦を混和する。原液の操作は暗室でする必要はない。次ぎに暗室內でこの溶液中に乾板を二分乃至三分間浸し、絕えず液を動搖するか乾板を動かして斑點や泡の生じない樣に注意する。乾板は一枚宛浸しても、また數枚を一緒に浸漬しても差支ない。溶液を盛る容器は一時的使用としては鐵器でも差支ないが、最も理想的のものとしてはガラス製か陶器製のものが宜い。溶液から出した乾板は、これを乾板かけにかけて絕對の暗室で乾燥する。電氣扇、又は特殊の構造を有する乾燥箱を使用しても好いが、小數の乾板を取扱ふ場合には、アドソール又は鹽化カルシュームを入れた容器の箱が最も便利である。

◇

又ゼラチン乳劑を感光せしめんとする場合には、良く水洗ひしたアンモニア乳劑一〇〇瓦に、この原液一、五瓦を混入し、よく攪拌した後硝子に塗布するのである。又た煮沸乳劑、又は煮沸乳劑で造つた乾板に塗布する時は感光力は極めて微弱である。以上述べた操作はすべて寫眞撮影前に行ふべきもので、撮影後現像する前などに行つても何等の効力もない物である。

◇

次ぎはシアニン色素について述べて見よう。このシアニン色素を寫眞乾板に用ひた場合には、黃綠色は云ふまでもなく、赤紫色まで感光することが出來る、即ち赤紫色は白、黃綠色は黑く寫る普通の乾板の缺點を一掃して、太陽スペクトルの七色を完全に純化し、實物と等しい光線を表はすことが出來るのである（未完）

百科全書を兼ねたる 大正拾四年度 ライオン當用日記

新しき內容は彌々光彩を添へてデリカシーに富める本文の美とその趣味深き附錄とは新時代の若き紳士淑女方の鍾愛の的となるでありませう。

▽定價金壹圓 ▽送料金拾貳錢 全國各書店にあり

▽發行所▲ ライオン商磨廣告部 東京驛前丸ビル一階 振替東京四八三五五

最新刊

三浦義道著 保險學
鈴木正則著 兩性論
江見水蔭著 蛸蛉集
島木赤彥著 太虛集
中島南著 亡國行
松村英一編 萬葉集
三樂建治著 工業簿記論義
和氣律次郎 與生の呪讓
田村直臣著 信仰五十年史
菅原作著 民法判例批評
小野寺良則 神酒熟大集成
平野岐馬引 モルグ街殺人

京城 大阪屋號 振替京城二五七三番 電話六八四番・一〇八六番

準禁治產宣告取消

江原道春川郡西上面西上里八四番地 右ニ對シ大正十一年八月三十日京城地方法院ニ於テ準禁治產ノ宣告ヲ爲シタル處大正十三年十一月二十五日之ヲ取消シタリ

京城地方法院 春川支廳

金山マル 肥料會社

タンス 材料乾燥安心して買へる 京城本町四丁目 津村筆筒店 電本二六七〇番

新聞公論

▲內鮮を通じて十五年間の新聞社生活に飽いて今度月刊雜誌新聞公論を發行することに致しました

▲普通の人には解する事の出來ない新聞社の內幕や秘密の多い新聞記者を素破拔く痛快な雜誌です

▲無冠の帝王も此雜誌には靑くなるでしよう一月に創刊號を發刊しますがお祝廣告は掲載しません

新聞公論社 主幹 池畑健二郞 本社 東京 支社 大阪、京城、大連

▲吾身を抓つて人の痛さを知る、私が今日廣告を依賴する者の立場になつて始て利目の無い新聞紙に廣告を掲載する程愚なことは無いと知りました

商業登記公告

[illegible]

右大正拾參年拾貳月參日登記

鎭南浦地方法院 兼二浦出張所

商業登記公告

[illegible]

平壤地方法院

商業登記公告

[illegible]

平壤地方法院

商業登記公告

[illegible]

平壤地方法院

商業登記公告

[illegible]

平壤地方法院

商業登記公告

[illegible]

右大正拾參年拾壹月貳拾四日登記

平壤地方法院

官民合同の大送別會
來賓を代表して西村殖産局長挨拶を述ぶ

官民合同の 退官及轉任者 大送別會
五日夕公會堂にて開かれ 主客三百餘名に達す

行政整理に伴ふ退職者並に轉職者四十餘名に對する京城府官民合同の大送別會は豫定の如く五日午後四時半より長谷川町公會堂に於て開催された。此の日來賓は今回の行政整理による退官者又は榮轉者であつて西村殖産局長、原前土木部長、張新任慶北道知事、矢鍋新任慶南道知事を始め水口、[illegible]、下田、目賀田、矢野、藤原、鈴木、西本、河野(節)、新貝、岸上、小島、古庄、碓井、島野、片桐、甘粕、田中、都澤、大木、山下、井上、深川、岡本、桑原、陶山、李鍾國、高橋、山澤、河野(節)、上瀧、澤の諸氏四十名に達したが主人側としては松寺法務、和田財務、草間財務、青木內務の各局長並に時實知事、閔李王職次官を始め在城の官民主なる者三百餘名出席し設けの白布長卓子に着席し四時四十分開宴されたが、宴中デザートコースに入るや杉京城府尹主催者を代表して左の如き送別の辭を述べた

今回官界の異動に際し御退官又は御轉任になつた方々に對し在城の官民相語り此の粗宴を設け惜別の微意を表する事となつた處多數御出席を辱ふし深く謝意を表する次第である。今回御退官の各位は多年官界に在り殖産に司法に土木に遞信に其他各般の行政に携はり少からぬ寄與功勞のあつた方々である。一例すれば新附の同胞をして我內の神聖にして侵すべからざる絕對に信頼出來るとの確信を與へられた方、又朝鮮の幼稚な產業の面目を一新し、又道路、港灣、水道等內地に對しても誇るべきものあり、又困難なる時局に際して治安の宜しきを得、遞信に於ても亦然りである。是等の事績は多年努力の記念として殘されたもので、必ずや是を回顧する時官吏としての任務を盡したる事に對し滿足と喜びを感ぜらるゝのである。昔ネルソン提督は自分は自分の義務を果したと叫び微笑して瞑目した。今回の御退官の方々は退ふに其の任務を果したと云ふ確信と喜びに充ちて居ると信ずる。其の最後の日迄任務に盡されたる立派な態度の如きは宛かも昔城將が開城に當り城を淨めて開城せる美談を彷彿せしめ誠に床しく思ふ處である。殊に後進に途を讓りて御勇退の御胸中は光風霽月悠々たるものがあると思ふ。又御榮轉の職に就かれる方々に對しては益々多大の期待を抱くものであると同時に健康を祈ると述べ一同起立乾盃し次いで西村殖産局長來賓側を代表して左の謝辭を述べた

退官の御挨拶に對して一同を代表し御招待に預つた一同を代表し厚く謝意を申上げたいと思ふ今回自己の希望に依り或は政府の都合に依り退官轉職する一同に對し斯く盛んなる宴を設け御送り下さる事は我々の最も光榮として深く感謝する處である。私共は永い間京城に住み此の朝鮮の變化があつた。殊に大正八年以來は朝鮮の山河は急激なる變化を遂げつゝある秋に當り職務は多種多樣であつたが此の變態多端な時局に直面して幸ひに今日迄大過なく任務に盡す事を得たのは是れ偏に皆樣の後援の賜ものとして深く感謝する次第である。唯今主催者より御懇ろなる御辭を頂いたが是は過當な御褒辭であつて私共として若干の功績が有つたとすれば悉く皆樣の力である私共は何等誇るべき功績は一も持たぬのである。唯將來も變らず御後援を願ふ次第である。朝鮮の將來は益々多事多端である。皆樣の今後の御努力に依り既往六年の功蹟の發展を遂げ得るやうに帝國の爲め將來益々御健康あらん事を希望して止まぬ次第であると結び一同起立乾盃して更に萬歲を三唱し主客互ひに打解けて談笑し五時半宴を閉ぢたが近來稀に見る盛會であつた。

吳佩孚氏 野に下らん
蕭氏に意志通告

【漢口四日發電】吳佩孚氏は三日午後四時定州を發し四日朝三時四十分信陽州に到着した蕭耀南氏は二日午後急電を以て氏を解き野に下り靜く休養せん事を勸告したが四日朝吳佩孚氏から野に下るの意志を通知して來た

湖北軍退却か

【東京電報】漢口より河南に派遣された湖北派遣軍第二旅河南第二十四師の團隊は續々定州方面に退却し來り同地にある湖北派遣第一旅の軍隊も既に鄭州に乗込み若し陝西省軍三十五師が定州方面に進攻せば退却せんとしてゐる

佛國の 對支通告
借款賠償は現銀で支拂へと

【北京四日發電】佛國駐支那公使は外交部への電報に依ると佛國外務長官は金法問題に付外交團總會を開いて聲明することは佛國政府が一日閣議の上は駐支佛國公使の提案に依り定めた通り支那側は現銀にて支拂ふべきであると通知し來つたと佛國の主張は海關銀を標準の金支拂所に改めず其の儘銀にして支拂ふことを承諾せず

自由黨分裂か

【ロンドン四日發電】ロイド、ジョージ氏が自由黨院內總務に選擧された結果同黨內に分裂問題が起りしもの、如く二三の議員も之に贊成してゐる

大連市長 候補選擧 無効說起る

【大連電報】既報の如く大連市長第一候補川上常郎氏、第二候補大內丑之助氏、第三候補板賀連氏に二日の市會で決定したが右は關東廳市制第四條、同第十六條、同施行規則第三十六條に依り無効であるとの說起り目下關係當局に於て研究中であるが疑義の要點は新市制に依る市長は名譽職となつて居る而も市規則を以て之を有給とする事を得ると雖も大連市會は此市規則を議決するに至らず有給市長を豫想として選擧したのは違法であると云ふにあり又前記三候補の選擧に當り十七票川上氏十一票大內氏(現民政署長)十一票板賀氏であつて何れも法定數に達せざりしを以て決選投票を行ふたが此の時は長老により川上、板賀兩氏の決選投票を行ふべきを[illegible]川上、大內兩氏に就て行つたのが間違ひの基で從つて決選投票は無効であると云ふ議論がある[illegible]

義務教育費の 負擔を增額せぬ
五日の閣議で決定す

【東京電報】五日の閣議に於て義務教育費國庫負擔増額問題を協議したが結局增額しない事に決定す

政友會の 態度強硬
與黨三派で財源を考慮すると

【東京電報】政友會の岩崎幹事長は五日午後二時半司法大臣官邸に横田法相を訪問し義務教育費增額問題に付閣議の模樣を聽取した上今後の對策につき種々協議する處あり同二時五十分辭去したが聞く處に依れば政府にして若し財源の都合上この問題を解決すると云ふ事が出來ないと云ふならば與黨三派で財源を考慮して政府に實行を促し而も政府に於て之れを容認する事が出來ないならば餘儀なく斷然の一策として第五十議會の劈頭首相の施政方針演說中に於て今後財政の許す限り成るべく早く本問題を解決する事を聲明せしめ以て一時を糊塗し與黨三派が從來各地で聲明して來た面目を繕ふことにして置くらしい

定例閣議

【東京電報】五日の定例閣議は午前九時半首相官邸に開會幣原外相より外交經過に付き報告の後濱口藏相は義務教育費國庫負擔増額問題に付き三派其他との交渉顛末を報告の後種々協議を爲した後行政整理關係の勅令人事を決定の上正午過ぎ散會した

決定事項

【東京電報】五日の閣議にて左の件を決定した
一、樺太廳官制改正の件
一、臺灣總督府官制改正の件

上院改革案成る
憲政會特別委員會

【東京電報】憲政會では五日貴族院改革に關する特別委員會を開き左の成案を得た

一、組織に關する件
皇族議員は現行法通り、華族議員は定員百二十五名以內、勅選同上、公選議員の定員又同じ、公侯爵議員の世襲制度及多額納稅議員を廢す
二、有爵議員選擧資格は二十五歲以上とし公選議員の選擧人は衆議院選擧人に同じ
三、被選擧權に關する件
有爵者並に公選は三十歲以上とし勅選は現行法通り
四、議員の任期に關する件
勅選議員の任期は決定せず有爵者及公選議員の任期は六ヶ年とす
五、選擧及詮衡方法に關する件
有爵議員は各々その同爵中より選擧す、勅選議員は適當なる詮衡機關を組織しその勅任を奏請せしむ、公選議員は一府縣を一選擧區とし人口四十五萬に付一人を定員とし選擧は單記無記名とし(比例代表主義を考慮す)議員は一時に全部が改選せずしてその三分一を選擧するを可とする說と全部の改選說とありて決せず
六、議員は政務官を除く外、官吏を兼ぬるを得ず

上院 改革案
革新派の 十分に政府へ提方を申合す

【東京電報】革新俱樂部は五日午後一時より本部に貴族院改革特別委員會を開き各委員協議の結果組織をなし左の如き改革要綱を決定した上政府の右問題に對する態度は極めて微温的にて動もすれば回避的ならんとする傾向あるより政府をして此の重大事項を決行せしめんと申合せをなし午後四時散會

改正要綱
一、貴族院令十三條を廢止し同令を法律とす
二、貴族院議員を三百九十名とす
三、公侯爵の特權を廢し有爵者全體を通じ單記無記名式に議員數の三分の一を互選す、
四、勅任の期間は七年とし詮衡機關を經て勅任す
七、貴族院令第九條中貴族院が議員選擧に關する訴訟を判決する部分を削除し選擧訴訟は司法裁判所に管轄せしむ
八、貴族院議員選擧方法は別に之を定む

貴族院改革と 義務教育費問題に
一向煮え切らぬ政府と政憲兩派 到底ものになりさうもない

【東京電報】義務教育費問題の一段落後に於て新に政府と與黨三派との交渉議題となるべき問題は彼の貴族院改革並に義務教育費問題であるが之に對する三派側の態度如何と云ふに政友會憲政本黨とも略ぼ揆を一にした狀態にあつて兩派の幹部は何れも問題の核心に觸れる事を避け恐れてゐるものゝ如くである殊に貴族院問題に對しては二日の交渉會に於て革新俱樂部から政府貴族院の期日も問題に迫つて居る今日速かに其調査を進めて直に三派の具體案を作製すべしとの提議があつた際だが憲政、政友兩派共に政府が直に今期議會に於て貴族院問題に手を觸れんとする考へを有するか何うか殊に其出身閣僚の內心意が奈邊にあるか頗る疑問とされて居る三派が餘り踏み過ぎたる態度に出づるに於ては鐵道問題に對する政府對與黨の不一致を暴露した以上其の醜態を世間に曝し[illegible]事態を惹起するに至るべきを以て[illegible]三派の交渉委員總會に於て協議する事にして政友會では既報の如く特別委員と幹部の聯合會を開き改革案を作成した、されど果して今期議會の間に合ふか又間に合はせる意向であるか何うか頗る怪しいものと見られて居る。加之政府側に於ても鐵道問題や豫算問題で多忙を極めた際でもあらうが貴族院問題は其後少しも手を觸れず關係閣僚は多く旅行勝ちで議會切迫の今日未だに何等纏まつた成案も持つて居ないと云ふ樣だから政府の決心底意のほども略想像するに難くない

義務教育費「國庫負擔」の問題

も二日の交渉會に於て政府の態度を容れしいが既に政府が財政上之を容れない意嚮が明瞭となつて居る今日となつては種々の事情から見て義務教育費國庫負擔の實現は至難と見られて居るので三派としては結局政府に於て相當の誠意を盡さしめて一時を糊塗せんとするものではないかと見られる節に政友會の如きは曩に政府と非常なる確執を重ねて來た政友會の努力に依つて解決したいと腐心し幹部は專心本問題に對して相當努めて居る狀態であるが要するに之等の問題は目下の財政狀態と國庫財政共に從來の主張や地方の狀況との關係を考慮して如何に之を斟酌して其實現を政府に要求すべきかに就き種々苦慮して居ると云ふのが眞相と見るべきであらう

外交團は文書にて 段執政承認に決定
芳澤公使より請訓來る

【東京電報】既に執政を各國は事實上承認してゐるが文書にて確認に承認する事に北京外交團にては決定し芳澤公使より其旨請訓があつたので外務省は右に付閣議を經た上の實務履行に付正式に外交團に協調するであらう

朝鮮に移住を奬勵
淘汰された軍人に對し內務省で

【東京電報】昨年來の不景氣と擬職の技師又は軍人の淘汰に依り就職難に苦しむ官吏の淘汰に伴ひ行政整理に依る軍人の淘汰は非常な數に達し實に大正十年以來の損傷とされて居るが內務省はこの時に際し整理淘汰の下士官以下に北部道移住を奬勵し官職の技能教師又軍人の斡旋に努めて居る更に朝鮮總督府にも諒解を求め朝鮮內地への移住に十分便宜を講じ彼等をして耕作事業に當らしめんとして居る

鐵道用品資金は 特別會計として貰ひたい
種々の點より是非 澤崎鐵道部監理課長語る

直營後の朝鮮鐵道用品資金會計を依託前の滿鐵局時代又は現在臺灣鐵道に於けるが如く是を特別會計となすべきや否やに就いては引續き鐵道部當局に於て研究中であるが同部としては勿論特別會計の設置意見を支持し近く大藏當局に對し總督府としての意見を提出して極力其の通過實現に努力するものと觀測されるが澤崎鐵道部監理課長は曰く『鐵道の經營上には貯藏品を設くる必要がある。其の貯藏品の購入加工の費用に充つる爲めには資金を持つ事が必要で、既に資金を設くる以上は是を特別會計とするを以て利益であると考慮されつゝある、更に是を詳言すれば鐵道の建設改良の事業及營業をなす爲には永續的に

用品の貯藏

を爲し置く事を要し而して貯藏品は年度を跨りて持越し行く事を必要とするものである。此の貯藏品は用に充つる爲に種々雜多な品種を要する事が必要である、次に用品の貯藏を必要とする理由に就き概要を擧げて說明すれば
一、適當の時期に於て營業用品又は各種工事共通材料を一括購入貯藏するを利益とする事
二、災害時變の際の需要に應ずる爲め豫め用品の貯藏を要する事
三、擱鐵事業の爲めに使用すべきものを一時に調達するを利益とする事
四、材料に依つては例へば車輛用木板の如きものに在りては使用前相當永き期間貯藏の必要ある事
等を擧げる事が出來る次に用品資金會計を特別會計とするの理由に就き說明すれば上述の如く鐵道經營上其用品の購入貯藏其他製作修理に充つる爲め用品資金を設け其經理に依り是等の事業を辨ずる事が必要である。而して此の資金の運用に依り用品勘定の會計を立つる上に於て其歲入歲出は是を一般會計と區別し

自己の收入

を以て自己の經費を支辨せしむる事とし收支の對立に依り其規定を明かにする事が本勘定の特殊の性質即ち自己の收入に依り自己の經費を支辨し其の收入は鐵道建設及び營業の爲めにする上に於て經費と過不足無からしむるを方針とすべき性質に適應し一般會計との混同を避くる上に於て便宜なるの利益がある最後に資金を設くる事は勅令(勅令)を以て改正して其中に本資金の爲めに朝鮮總督府特別會計規則に非ざれば爲し得ない處であるが

資金會計上

に必要なる條項及び設備の條項を設け特に用品資金特別會計規定を設けざる事も絕對に不可能には非ざるべきも既に本資金の設置を必要とし經理上別段の會計は法規の規定を必要とする以上は特別會計とせず總督府特別會計の中[illegible]

地方官の 更迭は 已むを得ぬ
若槻內相語る

【東京電報】地方長官更迭は內務省として徒らに行ふものでなく行政整理の結果豫算の削減に依り已むを得ず又行政整理の人員整理も漸く決定した譯でない次回[illegible]知事の更迭の時を[illegible]問題にしてゐるものがあるが之等は今の處知事の更迭をなすは已むを得ぬ而してそれは從來の成績及び各種の[illegible]を考慮せねばならぬ十名位に限られ[illegible]府縣會に掛けるや否や未定であるが許可選擧は內務省案も殆ど成案を得たから近く正式に法制局の審議を經て決定次第議會に提出する筈だが年內に審議が終了するや否やは判らない云々

トロール漁業許可

【東京電報】農商務省は新規トロール漁業許可の願を認め朝鮮釜山淸水漁業外二名の支那海及びオホツク海を操業區域とする企業認可の指令を發した

電工認可申請

京城電氣の平壤及安城を電力の供給區域とする城南電燈會社は今回資本金十萬圓を以て五十五キロワツトの發電設備をなし電氣工作物の施行認可申請を提出した

市外通話增加

京城市內より市外通話を爲し得る個所は電話局百十九箇所であるが京仁間の通話のみに限らず一般に市外電話を[illegible]平壤の通話數は遞信局調べ千三百五回[illegible]十六回[illegible]兩個所の通話數は左の通り

仁川	四六八	三五四
釜山	三四〇	二九四

藝術的 編物講習
七日から特別科

既報で六日迄で普通科の講習を終り七日から九日迄の三日間は特別科の講習會に移るが特別科とても難しいものでなく多少編物に心得のある[illegible]

浦鹽要塞 競爭入札
深澤領事

艦物を處理する事となり入札を行ひ[illegible]者に要塞內部の從覽を許してゐる[illegible]

[illegible]北の道路は數時間交通を遮斷し[illegible]に邦人小學生が登校を遮ぎられ又[illegible]邦人に及ぼさぬ樣[illegible]た(奉天電報)

鍾紡配當三割八分

【東京電報】鍾紡は五日の重役會に於て配當を三割八分と決定

公會私會

◇西村氏の送別宴 前殖産局長西村保吉氏は六日午後一時より南山町京城ホテルに官民約百五十名を招待謝職の宴を張ると
◇石川博士講演會 帝國學士院會員東京帝大名譽教授理學博士石川千代松氏は目下滯城中である朝鮮教育會は朝鮮博物學會が主催の下に六日午後三時より京城中學校講堂に於いて「生物學上より見たる胎教」と題して一般の講演を催す教育家其の他一般の傍聽を歡迎すると
◇在鄉憲兵總會 在京城在鄉憲兵神田大佐以下約二百餘名は親睦を目的として團體を組織すべく計畫中であるが來る十三四日頃總會を開くに至らうと
◇工聯合會長就任披露 小林源六氏は今般京城商工組合聯合會長に就任を披露する爲め十一日午後六時半朝鮮ホテルに設宴
◇京取監査會 京取では五日午前十時より今期決算に關する監査會を開き午後三時終了した

人事消息

▲中野寅吉氏(代議士) 五日午後七時內地より入城
▲淸水新義州地方法院檢事正 五日朝入城
▲菊地陸軍少將(奉天特務機關長) 五日朝列車にて內地に向け通過
▲東鄉鐡氏(吉林敦化稅關徵收府局長) 四日夜咸興より入城
▲金性洙氏(東亞日報社長) 同夜東京より歸着

京日案內

五號活字十五字詰五行一回壹圓[illegible]拾錢增料金

公債 債券特別高價に買受申候。御報次第參上 京城黃金町三丁目 若草町停留場傍 佐野商店 電話本局六七六番

公債 特別高價買入地方へも御照會次第 京城明治町 便所筋向 竹下金融 電話本局二二四〇番

採用 高給社員年齡三十歳以上但し相當經驗者は年齡不拘 履歷書持參午前中來談 京城永樂町二丁目 大正生命

乳母 入用 府內[illegible]町 [illegible] 原金旅館

助手 採用十七歲より二十歲まで明治町の助手二名を募集す希望の方は御來談 實業[illegible]

教師 女子家庭教師雇入度 希望者自筆履歷書持參[illegible]

銃修 理多年の經驗に依り確實迅速 本年度輸入品多數入荷致居候 京城明治町 [illegible]銃砲店

賣地 住宅向好適地八十坪賣却致したし御希望の方は[illegible]

事務 員數名募集 能筆者履歷書持參來談あれ 西小門町 朝鮮人蔘[illegible]所

店員 年令十七八才より二十才迄內地人數名確實なる[illegible]京城太平町二 [illegible]

開業 內鮮人を不問勞働次第無限の收入ある外資本不要[illegible] 京城櫻井町[illegible] 商工社

貸工場 蓬萊町三丁目[illegible] 御通知 在室地[illegible] 電話本局一四一番

貸家 旭町[illegible]番地 專用水道付木造瓦葺二階建[illegible] 御照會あれ

募集 火災保險の代理店自力支拂の先驅者 非協定標準料率 大成火災保險 京城府黃金町[illegible] 朝鮮總代理店事務所

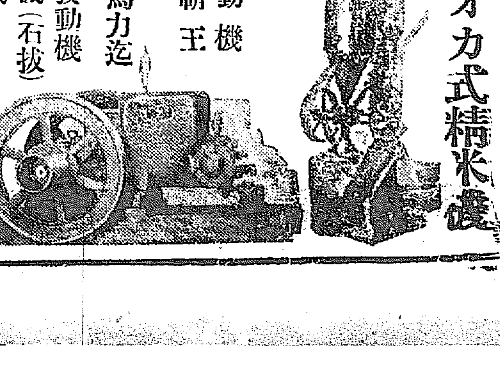
電話 賣物あり 本局八二[illegible] 京城鍾路四ノ五〇 宗廟越便 電話商會

[illegible]

牛乳 品質本位 [illegible] 御見舞に牛乳券が[illegible] 京城東[illegible] 平山牧場

福井縣物產 白羽二重 日生地と京染 京本町 城二 丸紅商店 電本二五四七

專許マツオカ式精米機 高級機械 模範 名譽大賞牌受領
米國製 Z石油發動機 發動機の覇王
壹馬力半ヨリ拾五馬力迄
一、吸入瓦斯發動機
一、㊂式撰穀機(石拔)
一、各種籾摺機
(カタログ進呈)
合資會社 井上商會 釜山池ノ町 電話長二三七番

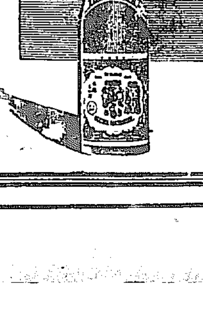


大正十四年度新製品 香筆墨三種桐箱入 壹圓五十錢 內地送料十二錢
京都寺町 振替大阪六三八 鳩居堂

(十二月號) 鶏の研究
見本一部三十錢 誌代一ヶ年四圓 會員內規 呈
名古屋市南武平町 鶏の研究社 振替名古屋一〇七二三番

ケガワナメシ
毛皮鞣
弊所は老練なる技師監督の下に羊、獺、狐、熊、虎、豹、其他何動物の毛皮にても完備低廉且つ完全に製鞣のお需めに應じます。
優良靴皮製造 仁川製革所 仁川府萬石町 事務所 工場 電話 三二六六九七

天辰齒科醫院
東京齒科醫學士 天辰親夫
仁川本町三丁目 電話九六八番



サクラ正宗
山邑酒造株式會社 京城支店

年の瀬の街頭から

不良學生の妄動は斷乎たる處分をする

血氣に逸つて學校の名譽を汚すな 切に自重を望む＝鈴木本町署長語る

東角町に上りがちな學生の風紀問題が又しても京城帝大豫科の學生に依つて持ち上つた之は勿論同校の生徒の一部分の學生等の爲したことに止まる問題であるから城大の名を表面に出すことは大部の學生にとつて甚だ氣の毒なことであるが此種の者に最近甚だしく亂の傾向が強い學生一般の風紀問題に就いて當局者の意見を徵いてみた所鈴木本町署長は左の如く語つた。『三日夜大學豫科生の事件に就いて直に小田部長が見えて話されたことであるから一寸聞き込んだものだと思つて居た所へ又もや昨夜本町二丁目の交番からの報告に依ると學生が多數押しかけて來て騒ぎを起し論したさうだ何故新聞に出したかと言ふので當方では絶對に出してはないが然し多數の群集が集つて居たことだから多分其處に記者が來合せて見て居たことだと思ふと言つて追返したが更にその一隊が京城日報社へも押しかけたと言ふことであるが何れにしても困つたことである。小さな子供でもあればいざ知らず、苟くも大學豫科の學生ともあらうものがあんな風では甚だよくない。勿論實氏は學校にあるから若し今後問題を惹起するやうな場合は斷乎たる處置を學校としてもとるだらうし又警察としても斷然たる處分に出る覺悟である警察と言はず新聞社と言はず兎に角今回のやうなことで妄動を繰返さぬやう自重して貰ひたい』

社會に對する恥を知れ 學生の本分を守れ 民間某有力者語る

近來一般學生の言動が稍もすれば常規を脱することの多いのは甚だ遺憾である現に最近内地では高等學校の學生が女學生と醜關係を演じその事實を報道したる新聞社を怨み徒黨を組んで襲ひ多數を恃んで亂暴した事實があつて識者をして顰蹙せしめしが京城に於いてもこれに類似した事件が起つて而もその學生は朝鮮の最高學府たる大學豫科の學生であつた事は誠に遺憾千萬である即ちその事故に至つた原因その他周圍に如何なる事情あるとは苟くも學窓に在るを忘れ國家の秩序安寧を保持する警察官に反抗してこれに暴言を浴びせるが如きは斷じて許すべからざる行爲である、而も大學豫科は近く開校さるべき京城帝國大學の豫科にしてその學生たることを誇りとして學生の本分を守り以て他の學生に範を示すべき地位なるにも拘らず斯くの如き事件を惹起するに至りては甚だ那公八公と何等異る處がない大醜態である、もとより事茲に至りては多數學生中の一部不良分子の輕擧妄動に依るものであらうが一部不良生のため學校全體の名譽を毀損することは誠に遺憾の極みである、元より學生には一種壯氣の氣骨稜々たるものがあつて欲しい然しこの壯氣は斯くの如き妄動を云ふのではない、飽までも正々堂々たる元氣であつて欲しい、やがて國家の智識階級として起つ學生に自重を望むものである云々

朝鮮のスポーツに最も記念すべき年

逝く年の運動界（二）＝守田生

野球（2）

朝鮮球界の革命といふのは、本社主催全鮮野球爭覇戰に於ける京中俱樂部の優勝である。全大邱の出現が球界の驚異であつたより以上に京中俱樂部の出現は一大驚異であつた。京中俱樂部が中央豫選に於て中央の京鐵軍を驟破し更に爭覇戰に於て全大邱を屠つた花々しい戰歷は今尚ファンの印象に新たな事實である。唯同大會に釜山の參加を見なかつたことは遺憾であつたが遙く咸興、平壤等の各代表チームが遠征して、眞に全鮮的の試合を演じた事は、空前の壯觀であつたと共に將來の球界に對する一大警鐘であり一大刺戟であつた

◇

全鮮的の大試合によつて俄然として活氣を呈した球界は、幾多の外來チームを迎へて一層の活況を呈した。曰く門鐵野球部、曰く海軍チーム、曰く寶塚協會、曰く鐵道俱樂部、曰く京大軍、曰く早大軍、曰く長崎高商と應接に忙しかつたが殊に特記せねばならないのは早大軍が數年振りに來鮮して久しく渇望して居た朝鮮のファンに滿足を與へたことであつた。殊に京鐵局が多大の犧牲を擲つて京鐵軍との試合を無料で開放したことは、運動界の美擧であつた。惜むらくは時日の關係上早大軍が眞價を發揮した試合を見せなかつたことであるが、多大の刺戟を與へたことは事實である。

◇

寶塚協會は圓々圓熟した試合振りを見せて之又學ぶべき多くの模範を示してくれた。斯うして本年の球界は華々しい試練を受け躍進を遂げたのであつた。來るべきシーズンにはファンが期待する訓練院の大グランウンドも竣成する筈であるから更に活氣を呈するであらう

歳晩の社會相（5）

山と積んだ新年號の雜誌類 不景氣だと零しても賣行きは減らぬ

大京城に住む内地人側の智識階級は大阪屋號、日韓書房を始めその他の大小書肆から市に流れ出る雜誌本月刊雜誌に依つて滿たされる道行く人の足なみも何處となく氣忙しげな歳暮の街の人の雜踏の中に一丁目の大阪屋號には毎日大きな婦人雜誌、常用日記などの大きな荷梱が山積され、新年號雜誌の陳列には平案の三欄位な各種雜誌の新年號が天井近くまで積上られ傍らには博文館、誠文堂、春陽堂等の常用日記、懷中日記家計簿婦人日記簿がこれも堆く積んである

◇不景氣故に賣れる◇

店主内藤さんの話を聞く『雜誌店の利益と言ふものは極めて薄いものである。然し他の事業が一般市況不振のために何うにもならないと言ふことを聞きますが、私どもでは不景氣だから別に讀む人が減まなくなつたと言ふことを聞かない樣です、寧ろ雜誌物が賣り不況になつた爲めに、好況時代には料理屋で藝妓を相手に札ビラを切つて遊んだ人々が以前のやうに料理屋遊びをする元氣はなし、家にゐる所在なさに好きな本でも買つて讀まうとする傾向はある樣です人は好況時代には一般に氣が浮いてゐますが斯う不況になると眞面目に家へ歸るやうになります、私ども本屋と言ふ商賣は好景氣だと言つて左程賣れるものではありません、不景氣になつたからとて讀書癖のついてゐる方が俄にお止めになることもありません

◇出版業者の同志討ち◇

今年の雜誌の新年號は今度現代社から一百萬部を初刷すると言ふ講談社『キング』を初め一般に激しい出版業者同志の競爭の結果、撰擇された内容の雜誌を續選するとか頁數を普通號の二倍三倍にするとかして非常に進大なるものになつてゐますが何れも發行元でも非常な馬力で新年號の注ビラに、新聞廣告に激しい競爭をしてゐるやうです。いま京城に入荷された主な月刊雜誌を調べて見ると、一般向きでは例の現代社の『キング』に百二十二枚の寫眞版を入れて定價が僅に五十錢で之などは優に七八十錢に價する雜誌であるから之が約四千部『講談俱樂部』二千五百部『苦樂』『東京』が五百部『太陽』が三百『中央公論』『改造』が一百部位である

◇よく賣れる婦人雜誌◇

婦人向雜誌としては『主婦の友』の四千部が斷然で『婦女界』の二千五百部『婦人俱樂部』の一千五百部『婦人の友』『婦人公論』の五百部で少年少女向きとしては講談社の『少年俱樂部』『少女俱樂部』の一千五百部『少年世界』『少女世界』『日本少年』『少年』『少女の友』の各五百部位で幼年ものは誰しも小さい子供は可愛いゝと見えて『幼年俱樂部』『幼年の友』『幼女の友』『コドモノクニ』等は何れも一千部以上を入荷してゐる最近の傾向としてキネマ方面の雜誌に科學方面の雜誌のよく賣れることでキネマ雜誌では『活動』に『映畫雜誌』『キネマ』科學雜誌では『科學の知識』『科學畫報』等が三四百部宛出てゐる文藝雜誌では『文藝俱樂部』の五百『文藝春秋』の二百五十『文藝俱樂部』の三百位で斯くに於ては大したことはない

◇四萬圓賣れる日記類◇

日記類は博文館、誠文館、ライオン、春陽堂、婦人の友社等から出る常用日記、懷中日記、ポケット日記、卓上日記、文藝日記、文章日記、小學生日記、英文當用日記、英文懷中日記等約八萬冊で金高にして約四萬圓位であるが以前はポケットがよく賣れたが近來は當用日記の中型がよく用ひられるやうになつた、當用日記の新趣向の種が行詰まつたのか本年の分には日記の末尾に日記應用質を附し極めて簡單な附錄を掲げて殆ど二錢近くの贈品を附してゐる出版元もある

京城の電車賃 値下運動

京城鐵工組合の電車賃値下運動は他の團體にも波及してそれぞれ各組合共に電車賃値下に關し協議中であるが未だ具體的に聯盟會社に申込んだ樣子なく何れ各團體と一致して共同行動に依り會社に談判するものと觀測さる

鮮銀副總裁 鈴木氏告訴さる

私文書僞造行使 東京地方裁判所で取調中

鮮銀副總裁鈴木穆氏と同行東京支店次長の兩名は東京牛込區五軒町斯業家大槻永藏氏から私文書僞造行使の告訴を數日前東京地方裁判所檢事局に提起され北條檢事指揮となり秘密裡に活動を開始した、理由は大槻が曾て鮮銀から數萬圓の借金をなし返濟期が迫つたので自己の財產處分に關する委任狀を銀行へ出したところ鈴木及次長の兩名は其委任狀の餘白に無斷にて『直に强制執行をなすことを得』との一項を插入して執行した一方大槻は憤慨して其不法を詰つたところ鈴木氏は十數名の行員や守衞を集めて大槻の腕を捻ぢ上げ柔道三段の腕前で投付けたと云ふ問題もありて政友系の大槻を苦しめんとしたのもとも傳へられこれ迄に澁澤榮一氏等が仲裁に這入つたが和解出來ず遂に告訴するに至つた大槻は慰藉料一萬二千圓並に謝罪公告の請求訴訟を起すと云つてゐる（東京電報）

故嚴妃の遺產訴訟

原告の敗訴

故嚴妃殿下の遺產で黃海道の信川安岳と平安北道陽川の各郡にある土地二百餘町步の所有權に對し府内瑞麟洞嚴柱益氏と其の親戚嚴斗永兩氏は府内昌信洞故趙東澤氏を相手取り前記土地の所有權確認訴訟を京城地方法院に提起し一部嚴氏の所有となつて居る前記土地を假差押をしたので世間では此の訴訟事件の成行を注目して居つた處遂に原告の請求は棄却された

◇

斯に於て故趙東澤氏は訴訟に依る損害を取戻すべく永野辯護士の三輪辯護士を代理人として前記の嚴柱益氏と嚴斗永氏の相續人なる嚴稿翰氏を相手に二十一萬八千五百圓の損害賠償請求訴訟を起し長い間京城地方法院で審理中であつたが一審では趙氏側が敗訴となり其後趙秉澤氏が死去したので其相續人趙映熙氏が其訴訟の承繼人となり京城覆審法院に控訴したが今般京城覆審法院に於て一審判決を廢棄し原告の請求は正當であると判決されたが此の事件は四年間にも掛つた事件で趙氏の方では上告もしないそうである

丈なす黑髮を切つて

故三島太郎氏の寵妾 初代波奈奴の死

三島太郎氏が亡くなつてから早五年の月日が流れた去る六月二十六日が丁度滿四週年に相當したのである未曾有の好況時代、今の殖産銀行が創設されんとするに際して鮮銀の最高理事であつた氏は矢表に立つて盡力した。その功空しからず漸く成立を見たのが今の殖産銀行であつた。

◇

殖銀は同氏の手に依つて完全に成立したが然し三島氏は副頭取にして空しく敷衍に飽立たねばならない運命を歸向けられたのである。忘れもせぬ大正九年六月二十六日午前七時……三島氏の生涯を全く終へた此の日、勿論旭町の三島邸には夫人をはじめ多數の子息や知人等が涙にかき暮れながら氏の枕頭に詰めきつて居たのであるが、その際に一人潮しく悲しみに泣き暮れた一人の美しい女性が居たことも三島氏の死が生んだ一つの哀話だつたのである

◇

美しい女性とは誰のことか……知る人ぞ知る藝園にとゞめられては居たが當時京城の花柳界に一つ話題となつて取沙汰された評判だけあつて今も一部の人々の噂話の種となる波奈奴事泉本マサ子のことである。花柳の好況時代に同亭から賣り出して全盛の名を高からしめた初代の波奈奴には馴染から三島氏がパトロンであつた。而して屢々三島氏の爲に彼女が花柳界から足を拔くと言ふことになつた時彼女を見ひ去られるやうに惜んだ者も尠くはなかつた。然し波奈奴にとつて之以上の喜びはなかつたのである悲嘆色々な噂が傳へられ種々な話が持ち上つたのも此時……然し二人の幸福は短かつた

◇

卒然逝いた三島氏の病患が同じく彼女の身體にも深く喰ひ入つて居た。彼女が氏の終焉を待ち受けたな十黑髮を切つて永遠に氏の冥福を祈りながら一人靜かに平塚の別莊に暮しはじめてから五年の月日がたつた。突然此の三日のこと彼女の悲しい死を報じた電報が老母のフデは直に平塚に向つたがその謂れむ南山町の病房に入つた。老母が十二、三日頃に持ち歸つて京城で葬に附ふと言ふ。三島氏が此の世に遺して行つた可憐な花も四年と六月の今日又氏の跡を追ふやうにして終焉を告げたのである（寫眞は死んだ波奈奴）

總督府を新廳舍へ

移轉せしむべく工事を急いでゐる 來年十月末迄に

内務局に合倂後の土木部の各課が倭城臺に引移るか又は現在の内務局が比較的少人數であるから光化門新廳舍に引移つて來るか又は財務局全部と其一部と現在の土木部とが入居るかと云ふ樣な噂が種々行はれて居り又總督府官房會計課でも目下此の問題を研究して居る樣であるが土木部の都井會計課長は曰く何れ適當に配置へが行はれる事とは思ふが兎に角財務局が倭城臺に入らうと何れにしても既に一年足らずの問題である當局は來年十月末には總督府の全部を新廳舍に移轉收容する積りで工事を急いで居る譯である。倭城臺の引越しが十一月に掛ると燃料を二つに分けねばならず不經濟なので急いで居る次第だ。來年六月中に西半分を仕上げて現在の二部二局が引移り直ぐに東半分を十月末迄に仕上げて倭城臺全部が引移ると云ふ事にする豫定である。唯來年秋に全部移轉する爲めには十五萬圓ばかりの金を要する十五年度豫算より繰上げる必要がありて大藏省に交涉中だが隨分困難の模樣である。然し繰上げが出來ねば他から遣り繰つても要するに來年十月末を以て全部移轉する筈で夫れ迄に各事務室は完成し殘る處は中央の廣場、正面、食堂及び各室の裝飾的設備位いふ事になる。顧みれば光化門の新廳舍は前後十年を費す大工事であつた云々

賭場で盜む

山口縣佐波郡西浦村字開作當時住所不定古谷友之（三〇）は客月二十三日午前十一時半頃牧之島遊廓娼妓綿介事阿田實代松方で入身藤吉外三名が賭博開帳中那部に踏み込まれたドサクサ紛れに前記入身が遺失した現金三十二圓餘入りの懷中物を拾得橫領してその儘府内遊廓町に遊廓し後之に登樓してゐた處を怪しまれ警察に御用の身となつた

安藝丸の火事

五日朝横濱二號繋船十五號ブイに繋留中の日本郵船歐洲航路船安藝丸（六千二百二十二噸）より發火し機關室の木材及び船倉を一時間に亙り燒き危く沈沒を免れ鎭火した原因は酸素瓦斯の發火に依るものであると（横濱電報）

遷羅皇弟が嚴島の要塞地帶を撮影

それを本國へ送る

去る二日嚴島に御來遊あらせられた遷羅皇弟クラジアトビク殿下及同妃殿下は同島滯在中同島の風光に憧れ盛んにカメラに納められたが同島は要塞地帶で撮影禁止區域であつたので其際警戒中の廣島憲兵隊が之れを阻止したところ殿下に隨行中の撮影官がこれを拒否して撮影せしめその寫眞は全部同地から遷羅本國に發送された事實があつたので廣島憲兵隊では大に狼狽し直に長崎郵便局に打電し右郵便物發送中止を命ずると共に其旨憲兵司令部に報告した（東京電報）

青森海岸に數千の白鳥群

其羽音が十町先に聞へる 村民は神の使だと保護

青森縣東津輕郡仲手村の海岸には毎年北海より數萬の白鳥が飛來して冬を過ごすのが例になつて居るが本年も既に五千餘の白鳥が來て奇觀を呈して居る數日中には海一面に白鳥の群を見るべく村民はこれを神の使と稱して保護を加へて居るが其羽音は十町先の民家へも聞へると（東京電報）

爆擊八號機

歸還飛行延期

爆擊機第八號機は六日朝所澤へ向け歸還飛行をなす豫定の處内地の天候不良の爲め延期された

師團幹部演習終る

師團幹部演習に實施中なりし二十師團の幹部演習に關し同師團管下各聯隊に對しては演習終了せるを以て六日夜歸任の筈

岡崎町小火

五日午後五時十分府内岡崎町三ノ二番地朝鮮人方から出火し大事に至らんとしたが消防隊の驅け付け直に消し止めた損害輕微

棚からボタ餅

一人で三千圓三木當籤

この不景氣な歳の暮に復興債券一等三千圓が三枚も當つた人があるこの幸運者は市外世田ケ谷三軒屋二〇八勝又貞吉氏で一等五萬圓の籤後に當つたものである之を取扱つた淵川債券店も初めは何事ではないかと疑つたと（東京電報）

株式競賣公告

京城府二村洞二九五番地朝鮮天然氷株式會社代表者取締役後藤虎雄ノ委任ニ依リ來ル本月十二日午前十一時右會社ニ於テ左記株式ヲ競賣ス

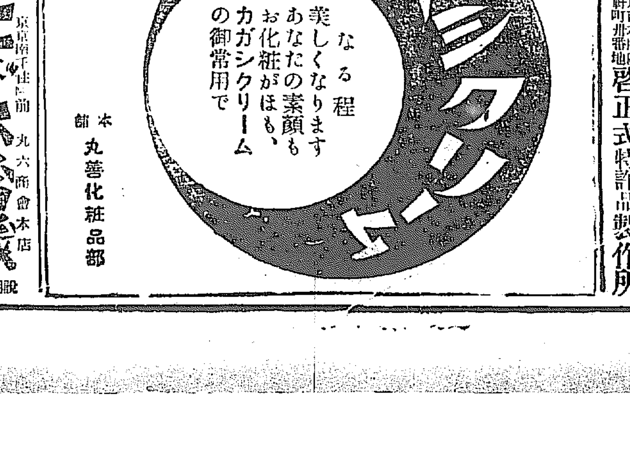
大正十三年十二月五日

京城地方法院執達吏　川越晴平

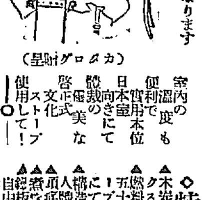
朝鮮天然氷株式會社株式（株券番號）[illegible]

購買　龍山軍倉庫　玄米　精米　朝鮮米　詳細ハ十二月五日以降

なんでもひける　丸六裁縫機　說明書進呈
東京南千住町前　丸六商會本店
支店　東京淺草區南元町四十二



新案特許　家庭用木炭暖爐
だん／＼お寒くなります
お互に改良致しましやう



（カタログ贈呈）

室内の溫度も便利で實用本位日本室向きにて體裁の優美な啓正式文化ストーブ使用して！
定價十圓より一〇〇

◇特長◇
▲木炭文化炭コークス使用自由
▲燃料一時間木炭五十匁ノ三分ノ一
▲構造上危險なく人體無害
▲頭痛や埃なし
▲煮炊きも出來る
▲婦女子供も自由に運ぶ
▲おしめも乾かせる
▲間に干く知らぬ
▲器家の理想暖室

市内販賣所　白木屋外金物店在
東京市本所區八軒町卅番地　啓正式特許品製作所

バブコック水管式汽鑵八臺
汽壓二百封度附屬品一式付
右各特ニ仕候に付御照會被下度候
東京市京橋區木挽町一ノ二
沼田商店
電話銀座長六〇八五番

一點三火の名灸
脚氣、中風、喘息、肋膜、疾病、消渴、外科諸病
左記に於て西森氏の御來診に應ず
出張所永樂町二丁目市場隣　原田方
日午前八時より午後六時迄出張所

エッキス光線專門科增設
イケタ內小兒科病院（兒童保健相談所）
京城三越吳服店前へ入る南山町一丁目
院長　池田
電話（病室二三二四番　自宅參參〇四番）

雲を破る　(14)

山田松琴作　清水三重三畫

威壓（七）

「お兄樣、お兄樣をどうぞ許して」と、絃子が云つたので、定子は顔を無理矢理押れ出して、自分の部屋へ入つた。

「直、お前は何故そんなに、お父樣の御機嫌を損じるやうに仕向けるのです？」情ないと云つた表情を寄せた眉の間に表はした。

「私が仕向けるのでありません。お父樣が御無理を仰しやるからです」直は心外らしく云つた。

「お父樣がどんな事を仰しやつても、それは親と子の間ぢやありませんか。少し位の御無理があつても、素直にお受けするのが子の務めです」

「他の事なら大概の事は反きは致しません。けども、私には一度の御相談も無く、久世田伯の娘と結婚を……社會で居本のできた時代は既に過ぎて居るんです。お父樣は御自身の轍を、私にも踏まさうとなさるんでせうが、今後の社會は、階位やサーベルを價値あるものとは認めません。武士の娘を嫁に貰つて、その階級で箔をつけたらと云つても、もう、誰も目もくれようと云ふものはありません。時代が變りました。社會の人間と云ふものが要求するのは實力です。社會で立派な働きをしようと思へば、實力を以て進まなければなりません。それを古い習慣で拘束して、進まうとしても進ませない、動からうとしても動かせない事ではありませんか。白御所しの階位やサーベルで生きた仕事を居ろと仰しやつても、金貨や寶石を背負つて居れば、飯を食はないで生きて居れると云ふそんなものに拘泥して、活きた人間を縛らうと云ふのは、間違ひも甚だしいと思ひます。私は、お父樣が何と仰しやつても、私の選ぶべき途を進まうと思ひます。お父樣にしても、嘸てお眼覺めになる時があるでせう。がどうあつても、お父樣が御自身のお心のまゝに、私を服從させやうとなさるんなら、私は、飽くまでそれに反抗します。事に據つたら、お父樣のお目を晦ます爲め、否、世間の盲人の目を晦ます爲め、私は斷然に、斷行斷を執るかも知れません。血の繼れて居ると云ふ、特權の者の仲間になつて、威張する者と闘ふかも知れません。私は、既に決心して居ます」直は熱して、顔に血ひさへ見せて居た。

噂しろなんて、そんな事を一概に命令されては堪まりません」

「それもお前の身をお案じなすつての事ですよ。あゝして吾久野の事もありますし、重ねて間違つた事があつてはならないと思召してのお處置をなすつたんですよ」

「私の身をお案じ下さるだけのお心持がありましたら、私の意思と云ふのも、暫しは御猶豫下さるだらうと思ひます。けども、お父樣は、私のお願びする事は一言もお取り上げ下さらない。たゞ御自分の意のまゝに、何事も、命令通り服從させやうとなさるんです。お父樣は、決して私の身をお案じ下さるのではありません。たゞ、御自分の御都合だけをお考へなすつて居らつしやるんです」

「さう言ふ風にお考へだから、ものが間違つてくるんですよ。お父樣はどうかして、お前に身分のある娘を持たして、將來、社會に出て立派な働きのできるやうにして遣りたいと思つてあゝして御心配をなすつて居らつしやるのです」

「華族だの、貴族だの、冠者だのさう云つた態の繋ぎを笠に被て、お心か知らないが、金錢を背負つても身體の重寶にはなりますまい。生活て働かうと思へば、やはり金錢を米や麥に代へなければ、食つて生活る事はできないでせう……」

「いゝえ理窟ではありません。實際です。お父樣は光つた金貨やダイヤを背負つて、それで生きろと仰しやるんですが、私は、麥を食つて生活やうと云ふんです。お父樣は夫をお聽き下さらないんです」

「お前の云ふ事も理窟はありませう。けども、お父樣の御名譽も、また、家の名と云ふ事も、貴兄考へないではいけません」

「私は、そんな事を考へたくはありません。お父樣の御名譽はお父樣の御名譽です。私にとつて何の價値がありますか。お父樣が偉いから、僕も偉いと云ふたつて、他人はそんな事を恐れはしないでせう。元來、家柄なんかを、何の功績も無い子孫が承け繼ぐ事が間違つて居るんです。家名なんて云ふものも、澤山な人間を壓服する爲の、一つの符號に過ぎないもんですよ。犬に、ジョンだの、エスだのと云ふ名のあるのと一つです。

短歌　尾上柴舟選

「夏雜詠」（四）

◇ 津　敬子（宜寧）

すずろにも女歩みぬ月草の白く光りて月すさせる岡

ひからびし濱の刈藻にまつはりて鈴蘭の咲く小屋のかたへに

◇ 大和比呂實（安東）

屋根の上にはひまつはれる蔦の葉の若葉明るく雨は降りをり

あし引の山のとかげに月いでゝ林明るく藤の花見ゆ

◇ 田淵　丘人（仁川）

朝あけのアカシヤ林さまよひて心ゆくまで花の香嗅ぐも

大空ゆ風渡めるものとアカシヤの花さく林香にぬしも

◇ 花田さつ（沙里院）

きりこむるあしたの川の水の面に白き鳥のてさゞなみうごく

背草と土の匂ひにひたりつゝ夏のあしたを野にさまよふも

◇ 三根　竹醉（京城）

背嵐ビールを酌めば泡だてるこのぎやまんの色のよろしき

夕立はまつたくはれて落日の反射するなりポプラ背巣に

◇ 越路耕女子（京城）

とろみたる水深くして夕ながら折々底に魚の腹ひかる

山腹の岑草叢のひとところ白百合の花はほのかに咲けり

◇ 河原崎晩星（京城）

ながあめのはれて明るきポプラの樹巣立つ鵲に親まれけり

夏まひる土のいきれに蜜蜂の翅音しるけく花めぐり居り

俳句　内藤鳴雪選

題「初秋」（二）

○ 仁川　烏居　初秋や何やら鬱る畑の鳥

○ 京城　洗東　いつになき菜汁の味や今朝の秋

○ 羅南　東牛島　初秋や鳴子忙しく日落ちたり

○ 京城　鹿樹月　はつ秋や水滑く魚の爽ふ見ゆ

○ 龍山　吼　初秋の風なき庭や夜の靜か

○ 忠州　牛歩　病む床の窓より暮れて秋に入る

○ 朱安　拍雛　初秋や湖の面なる雲の影

○ 京城　溪舟　初秋や蜘蛛巣あらく窓曇

○ 龍山　露城　旅衣月も島も秋に入る

○ 京城　一天樋　大浪の漣となりてぞ秋に入る

○ 京城　吐月　秋立つや背戸の筧の水の音

○ 京城　消湖　初秋や襷をかけて帶締めて

○ 京城　帝史　初秋や星の歌聞ふ小頃城

○ 京城　晩嵐　初秋の運出に朝の匂ひかな

○ 京城　消水　からくと粟の蔓ずれや秋に入る

○ 公州　雄心　初秋や灯にも力の見え初めて

學生俳句會（二三〇）

萬年筆のキャップ錆びし布團哉　柳誠

足音のホース濡れや火事を見る

鵲のこち向きし眼や霜の枝　休山

門桶の醉足りて寐る吹雪哉

電車下りて烈しき吹雪哉　土佐男

雪の庭旭ぬくぬくと上り鳧

大雪や道より低き朝鮮門　月棠

寄火事やほのぼのと山客

雪空や人溜りる停留所　崇見

川の宿疊み重ねし布團かな

街燈やほのかに灯り雪の宵　鐘入

ひとり寢の布團まだしく暖か鳧

初雪や病床引きて小綠迄　偉翔子

初雪を踏んで除隊や靴の音

鍛近く火事を湊くに眺め鳧

雪の日の巡査酒場に入りに鳧

川船や雪ほのぼのと朝景色　櫻兒

除雪夫や螢の廊を蔵れ通る　翠牛

湖南吟社忘年句會

三十餘名の會員を有する湖南吟社にては忘年俳句大會を六日（土曜）午後四時より春日町滿月にて催す筈なれば一般同好者多數參會を希望すると

▲蓮の花へ池塘の上手の先生は澤山ありますが其技術を見る事が肝要でやまこ的な人物の言を信ずると失敗致しますよ、天眼通

▲不遇者の兇手に斃れた故長未亡人に同情を寄られた群山の方より氏名を御知らせ下さい（平北楚山古面木村生）

▲本町署移轉式の際紛失ステッキを間違へられた方は御取換下さい代品は本町署に保管を願つてあります（京城岡崎町一ノ一藤原登久雄）

▲京日愛讀者の方で朝鮮で文藝雜誌を發行していらつしやる方又は御存じの方はその名前と住所を至急御知らせて下さいませ私も入會させていたゞきたし私共の發行している雜誌と交換していたゞきたう御座います（京畿道楊平邑内佃藤ヒサ）

▲先年興業共進會の際に陳列しあつた石油瓦斯發生器（保溫の反射鏡付）の商店は何處でせうか昨冬は明治町の角にあると云ふ廣告も見ましたが　阿峴北里生

新年文藝　投稿歡迎

短歌　題「牛」　尾上柴舟先生選　▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同短册

俳句　題「初鷄」　内藤鳴雪先生選　▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同短册

川柳　題「寶」　井上劍花坊先生選　▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同短册

締切　十二月十日

注意　▲一人一題三句以内▲用紙は葉書に限る▲住所姓名明記して『京城日報社新年文藝係』宛のこと

京城日報社

演藝案内

黄金館　帝キネ共營　毎日晝夜　常る三日より謝恩特別大提供　連續神勝浪員ゆ迫中上映　コンサアーサル會社製作　通俗活劇鐵路の遺書第一編第二編　ウキリアム・ダンカン氏主演　大阪朝日新聞連載大好評の　特作時代劇　白藤權八郎　前編七卷　紋十郎、瑞穗、玉枝主演　伊藤大輔傑作中の傑作　現代劇　城ケ島　全六卷　文藝小唄入、歌川、高堂、里見主演

喜樂館　京城本町一　電話本局二二番　十二月二日より三大欲題封切　▲寶塚劇　犬の病氣　一卷　▲喜劇　泰山鳴動　三卷　◎米國パテー社超努級絕對冒險　連續大活劇　荒原の秘密　一五卷同　ルスローランド主演　◎日活會社京都新聞部超特作　海洋悲話　島の哀れ　全六卷　山本嘉一、高木永二、葛木香一、水島亮太郎、岸村春子、市川春衛　主演　◎日活會社京都第一部超特作　時代劇　松之助、吉十郎、辻斬の達人　全七卷　小栗武雄主演　松燕、延一郎

大正館　松竹共營　毎日晝夜　ブリファード映畫　▲正喜活劇　女房崇拜　全六卷　ンネス・ヘーテン氏　コーリン・ムーア嬢　主演　日活會社京都派超特作　尾上松之助　▲佐賀騒動　鍋島猫騷動　全六卷　松竹蒲田最新大巨作　▲安樂馬賊　五月信子主演　勝見庸太郎　▲滿蒙馬賊猛闘大活劇　カルメン　全十卷

中央館　キノマ映畫　毎日晝夜　十二月二日封切特別大興行　甲州街道の雪　全一卷　東亞キネマ撮影　寫眞　米國サンヒルム特作品　中原の兎　全二卷　東亞キネマ甲陽特作品　映畫劇　新生の彼方へ　六卷　東亞新人渡邊篤中村國枝共演　獨逸最高文藝映畫大悲劇　史劇　快傑ダントン　全八卷　世界の名優エミールヤンニングス氏主演……　東亞キネマ等持院特作大映畫……　時代活劇　復讐の日　全六卷

謹告

我毎日申報江原道支局は時勢の進運に鑑み多大の犧牲を拂つて今回本支局に印刷部を設け和洋最新式の印刷機を據入し技術優秀なる職工を雇入し鮮明なる印刷の低廉を主とし注文の多少に拘らず迅速に應じます何卒御見本下さい

毎日申報社　江原道支局印刷部　電話一七〇番　春川邑　振替口座京城二三二二番

獨演會

外國名曲演奏　社會教育家　一、國境の夜嵐（佐賀男子の驚愕）　一、嗚呼東郷元帥（伊藤博文公の面影）　一、現代之烈婦（肥後の貞女）　一、義士　火防宣傳　拾壹月五日午後五時開演　國際親善活動寫眞　現代映畫作　右御大評　明治町　浪花館　電話二二六〇番

岩田病院　内科　外科（入院隨意）　附屬　淡度注射院　長谷川町廣本二二番

子宮病血の道こしけ　リウマチスに　神仙湯

筆生　日本橋　原宿　大阪市南區天王寺　電話南　七九七番　三友社

開正舍工作所　醫療器械諸機械及自家製作裝飾金具鍍金一式　京城本町二丁目五十三番地　電話本局三二二九番

ぜんそく病　仁川　吉木醬油釀造場

賜天覽台覽　特許　通信教授　講義録　バイオリン　マンドリン　ハーモニカ　尺八　琴　三絃　發行所　福岡市中島町十七　大日本家庭音樂會　電話三三番

内科小兒科　外科花柳病　仁川宮町　松本醫院　電話二二四五番

特別吟醸

呑みあきのせぬ酒　醉い心地のよき酒

ホリイズミ

釜山　醸造元　堀兄弟商會

特約店　京城府大島町二三　有馬屋酒店　電話龍山三六八番

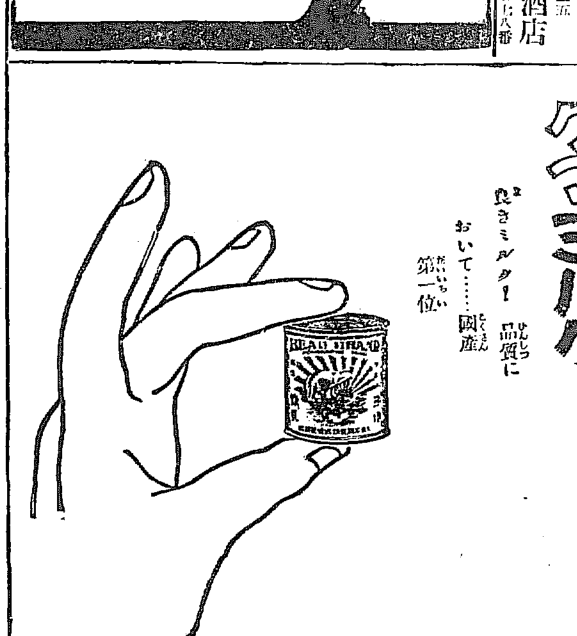
東洋で一番よい高級のしらが染　しらが赤毛染　ナイス

特長　1 二十分にて染り　2 艶々と美しく　3 襟、枕につかず　4 毛を傷めず、はげず　5 用法至極手輕

發賣元　東京・大阪　丹平商會

人生波高し　考へよ！　用意せよ！

八千代生命



クマミルク

良きミルク！　品質において……國産第一位

氣の利いた贈物

價値ある實用品こそ、時節柄最も氣の利いた贈物と云ふべきでございます。

一、價値ある實用品たるや云ふ迄もありません。從つて何れの家庭でも大ひに重寶がられます

二、しかも、貰ひ溜めても、此品に限つて置けば置く程質が良く成りますから、少しも困りません

三、そして、其多寡は思ひの儘ですし、嵩張らず、破損……從つて持運びにも至便ですから、贈答品には一番です

ミツワ石鹸は

發賣元　東京　○丸見屋商店　下谷區二長町　電話特長浪草六二七七番　振替口座東京七一〇番

12.9

英外相羅馬行き

善後會議組織大綱　段氏が同意すれば發表する

英埃紛爭は聯盟で……

英露交渉

殖銀調査役新任